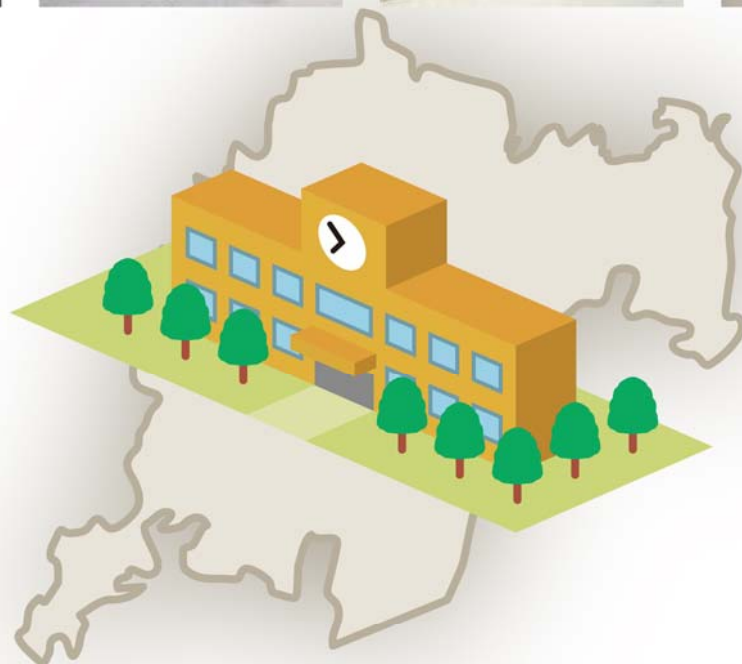


# 小山市学校施設長寿命化計画



令和2年3月  
栃木県 小山市

## はじめに



2020年3月

小山市長 大久保 寿夫

小山市は、「水と緑と大地」の豊かな「自然」と「古い文化と歴史」を有し、戦国の乱世に終止符を打ち徳川幕府成立を決定付けたといわれる天下分け目の軍議「小山評定」の開かれた「開運のまち」です。

当市は今年度、市政施行65周年を迎え、「夢」・「希望」・溢れる「小山創り」のため、小山市の豊かな「人」・「自然」・「文化」・「立地利便性」を最大限に活用し、「人と企業を呼び込む施策」の推進、「おやまブランド」の創生、「開運のまちおやま」の全国発信、「行財政改革」を進めています。

学校については子どもたちにとって効果的な教育環境づくりのため、学校適正配置等や小中一貫教育及び小中一貫校の推進に向けた検討などを進めており、平成29(2017)年度に県内初の「絹義務教育学校」を設立し、平成31(2019)年度には小山市で35年ぶり、栃木県でも24年振りとなる新設校「東城南小学校」を開校致しました。

また現在、令和4(2022)年度開校に向け、小中一貫教育を目的とした豊田南小学校と豊田北小学校の統合小学校「豊田中学区新設小学校」の整備を進めているところです。

この度、策定しました「小山市学校施設長寿命化計画」は平成25(2013)年11月に国が策定したインフラ長寿命化基本計画に基づき、文部科学省が平成27(2015)年3月に文部科学省インフラ長寿命化計画(行動計画)を策定し、令和2(2020)年度までに各地方公共団体において個別計画を策定することが求められているものです。

小山市の学校施設は高度経済成長期に整備された物が多く、全体の8割以上が築年数30年を超えており、老朽化が進んでいる現状です。今後も小山の未来を担う子どもたちが安全・安心で快適な環境の中で、心身ともに健やかに楽しく日々の学習・生活を送ることができるよう、計画的な改修を実施し、元気で明るい笑顔が溢れる学校づくりを目指してまいりますので、皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

# 目 次

<b>第1章 長寿命化計画の背景・目的</b>	<b>1</b>
1 - 1 計画の背景	1
1 - 2 計画の目的	1
1 - 3 計画の位置づけ	2
1 - 4 計画期間	2
1 - 5 対象施設	3
<b>第2章 学校施設の現状と課題</b>	<b>5</b>
2 - 1 学校施設の保有状況	5
2 - 2 学校施設の現況	8
2 - 3 構造躯体の健全性の把握	12
2 - 4 学校施設の老朽化状況の実態	17
2 - 5 長寿命化コストの見通しと効果	28
<b>第3章 学校施設の目指すべき姿</b>	<b>31</b>
3 - 1 学校施設の基本的考え方	31
3 - 2 基本目標	31
<b>第4章 学校施設整備の基本方針</b>	<b>33</b>
4 - 1 学校施設の規模・配置計画等の方針	33
4 - 2 施設の目標耐用年数	35
4 - 3 大規模改造及び長寿命化改修の周期	36
<b>第5章 施設整備の水準等</b>	<b>37</b>
5 - 1 改修等の整備水準	37
5 - 2 維持管理の手法等	45
<b>第6章 長寿命化の実施計画</b>	<b>46</b>
6 - 1 長寿命化に向けた基本的考え方	46
6 - 2 改修等の優先順位の位置づけ	49
6 - 3 改修の実施計画	55
6 - 4 学校施設別の整備方針	59
<b>第7章 長寿命化に向けた継続的運用方針</b>	<b>134</b>
7 - 1 計画の推進・運用体制	134
7 - 2 適正な計画管理	137
7 - 3 今後の課題	138



# 1 長寿命化計画の背景・目的

## 1-1 計画の背景

小山市においては、子どもたちにとって効果的かつ魅力的な教育環境づくりのため、学校適正配置等や小中一貫教育及び小中一貫校の推進に向けた検討などが進められてきました。

平成25(2013)年度には、「小山市学校適正配置等検討懇話会」や「小山市小中一貫教育及び小中一貫校推進協議会」によって基本方針等に関する検討が行われるとともに、「学校適正配置等に関する提言書」及び「小山市小中一貫教育及び小中一貫校に関する提言書」としてとりまとめられ、市に提出されました。

一方、小中学校の校舎・屋内運動場の多くが昭和40年以降の高度経済成長期等に整備され、老朽化が進んでいることから、学校施設の現状と課題を踏まえ、建築物の耐用年数や市の財政状況を鑑みながら、施設を長期間にわたって効率的かつ計画的に維持していく必要があります。

このような中、国においても、国民の安全・安心を確保し、中長期的な維持管理・更新に係るトータルコストの縮減や予算の平準化を図るため、平成25(2013)年11月にインフラ長寿命化基本計画が策定されるとともに、文部科学省では、所管又は管理する施設の維持管理等を着実に推進するための中期的な取組の方向性を明らかにするため、平成27(2015)年3月に「文部科学省インフラ長寿命化計画(行動計画)」が策定されました。

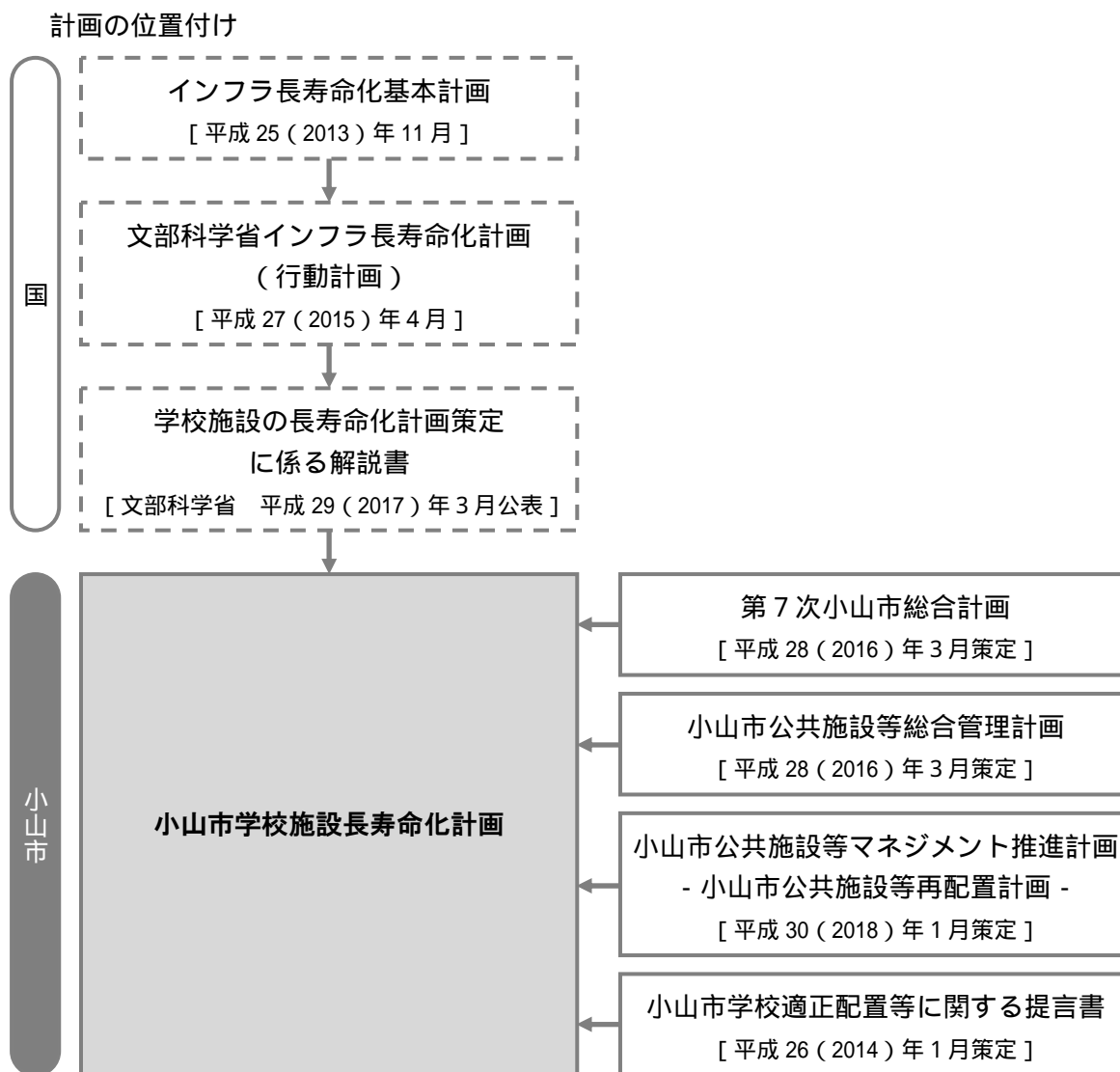
併せて、各地方公共団体において学校施設を対象とした長寿命化計画ができるだけ早期に策定されるよう、平成27(2015)年4月に「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引」が作成されるとともに、手引きに示された盛り込むべき事項に基づき、標準的な学校施設の長寿命化計画の様式や、より具体的な留意点等を示すため、平成29(2017)年3月には「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」が作成されました。

## 1-2 計画の目的

小山市が所管する学校施設について、学校施設の現況や、構造躯体の健全性の把握、劣化状況調査等を踏まえ、劣化診断、施設評価を行い、今後の維持保全の方向性を検討するとともに、ライフサイクルコスト、優先順位の考え方など、各学校施設の効率的な維持管理を推進するため、「小山市学校施設長寿命化計画」を策定するものです。

### 1-3 計画の位置づけ

「小山市学校施設長寿命化計画」の策定にあたっては、「第7次小山市総合計画」(平成28(2016)年3月策定)等の上位関連計画と整合性を図るとともに、文部科学省の「インフラ長寿命化計画(行動計画)」(平成27(2015)年4月策定)や「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」(平成29(2017)年3月公表)における計画、指針等の内容に基づくこととします。



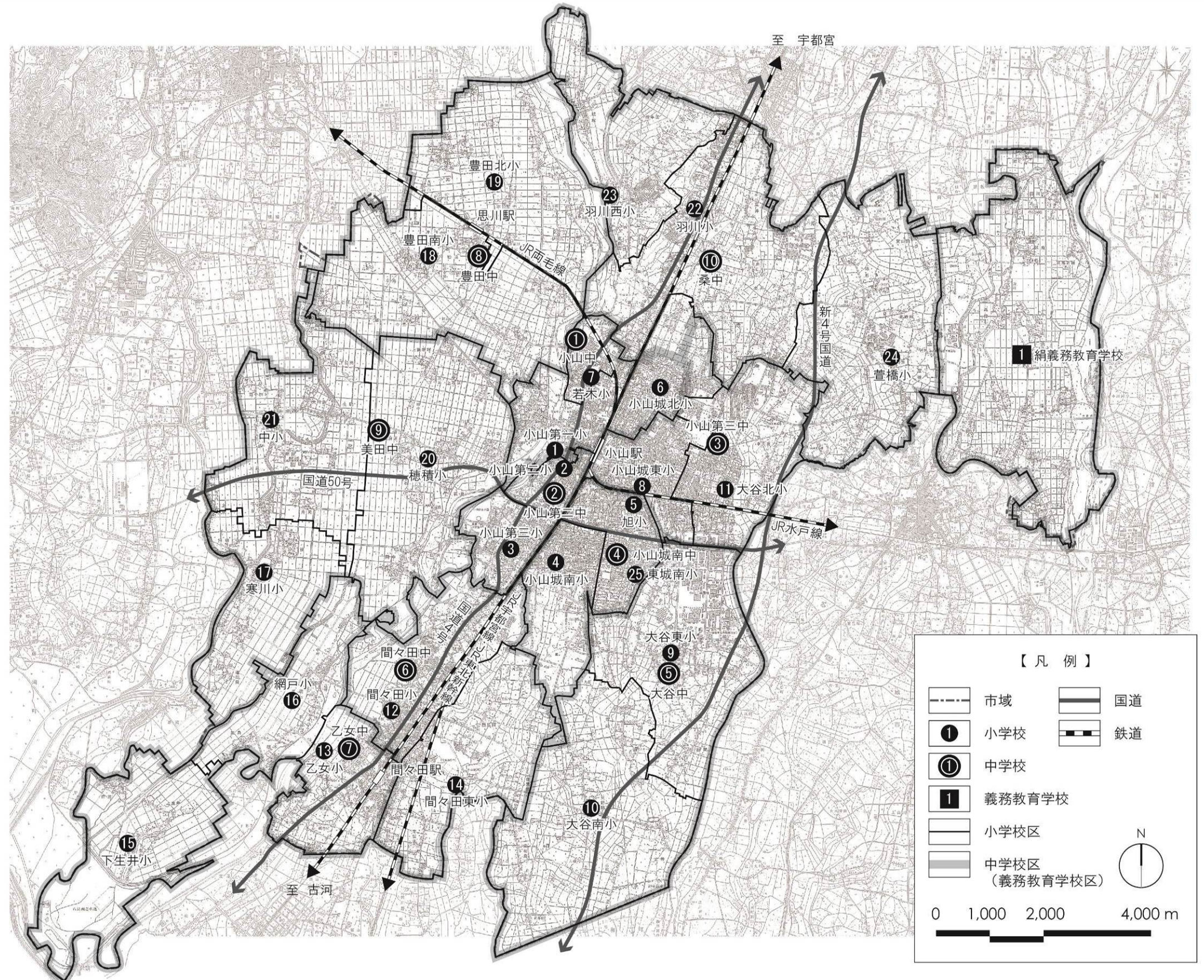
### 1-4 計画期間

計画期間は、令和2(2020)年度から令和41(2059)年度までの40年間とします。なお、必要に応じて、10年ごとに整備計画等の見直しを行います。

# 1-5 対象施設

本計画の対象施設は、市立小学校25校、中学校10校、義務教育学校1校の校舎、屋内運動場等の設備とします。

対象施設図







## 2 学校施設の現状と課題

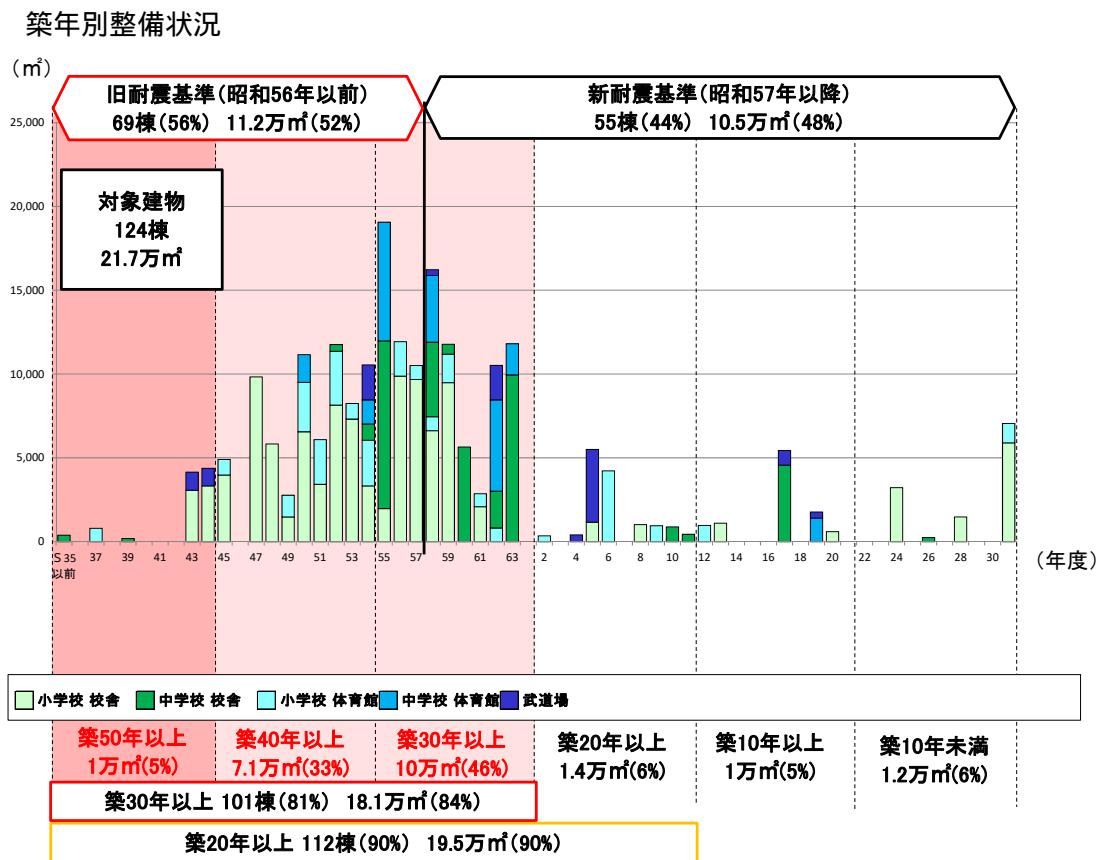
### 2-1 学校施設の保有状況

#### 1) 保有量

学校施設の築年数は、築30年以上の建物が18.1万㎡（84%）で、全体の8割以上を占めており、老朽化が進んでいます。

また、築20年以上の建物が19.5万㎡（90%）であることから、10年後には、さらに老朽化が進行することになります。

なお、旧耐震基準の建物においても、耐震診断により必要に応じて耐震補強を行っていることなどから、長寿命化の可能性を検討する必要があると考えられます。



グラフは「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成29（2017）年、文部科学省）」の付属エクセルソフトにより、計画策定の令和元（2019）年度を基準年として作成

## 2) 個別状況

### 立地状況

市内の学校施設は、令和元（2019）年5月現在で、小学校が25校、中学校が10校、義務教育学校が1校の計36校となっています。

### 児童生徒数

#### (1) 小学校

小学校の児童数は、市全体で8,681人、平均で347人となっています。

学校別に見ると、児童数が最も多いのは大谷東小の867人で、最も少ないのは下生井小の30人となっています。

#### (2) 中学校

中学校の生徒数は、市全体で4,190人、平均で419人となっています。

学校別に見ると、生徒数が最も多いのは小山第三中の764人で、最も少ないのは美田中の118人となっています。

#### (3) 義務教育学校

義務教育学校の児童生徒数は、268人となっています。

### 学級数

#### (1) 小学校

小学校の学級数は、379学級となっています。

#### (2) 中学校

中学校の学級数は、171学級となっています。

#### (3) 義務教育学校

義務教育学校の学級数は、11学級となっています。

## 敷地面積（建物敷地）

### （１）小学校

小学校の建物敷地は、市全体の平均が約9,753㎡となっており、学校別にみると、羽川小の16,867㎡が最も大きく、小山第二小の4,460㎡が最も小さくなっています。

### （２）中学校

中学校の建物敷地は、市全体の平均が約14,499㎡となっており、学校別にみると、小山中の18,268㎡が最も大きく、小山第二中の8,740㎡が最も小さくなっています。

### （３）義務教育学校

義務教育学校の建物敷地は、19,166㎡となっています。

## 立地状況

建築年月については、小学校では昭和40年代、50年代に建築されたものが多く、中学校では昭和50年代のものが増えており、築40年以上経過するものが目立ちます。

一方、大谷東小学校や美田中学校など平成年代に改修、増築された新しい小・中学校も見られます。

## 2-2 学校施設の現況

### 1) 構造

小学校、中学校、義務教育学校の校舎及び屋内運動場の構造は次のとおりです。

校舎の構造については、鉄筋コンクリート造が大半を占め、屋内運動場の構造については、鉄骨造が大半を占めています。

学校施設の校舎及び屋内運動場の構造

平成31(2019)年3月現在

構造		鉄筋 コンクリート造	鉄骨・鉄筋 コンクリート造	鉄骨造
小学校	校舎	右記以外の小学校	なし	寒川小(特別教室棟、 食堂・給食棟)
	屋内運動場	なし	なし	全ての小学校
中学校	校舎	右記以外の中学校	なし	小山第二中(西館)
	屋内運動場	小山城南中、美田中	間々田中	左記以外の中学校
義務教育 学校	校舎	全ての義務教育学校	なし	なし
	屋内運動場	なし	なし	全ての義務教育学校

## 2) 階数

小学校、中学校、義務教育学校の校舎及び屋内運動場の階数（建物によって階数が異なる場合は、最大の階数）は次のとおりです。

校舎の階数については、3階が最も多く、屋内運動場の階数については、2階が最も多くなっています。

学校施設の校舎及び屋内運動場の階数

平成31年（2019）3月現在

施設名	校舎				屋内運動場		
	1階	2階	3階	4	1階	2階	3階
小山第一小	-	-	-		-	-	
小山第二小	-	-		-	-	-	
小山第三小	-	-		-	-		-
小山城南小	-		-	-	-		-
旭小	-	-		-	-		-
小山城北小	-	-		-	-		-
若木小	-	-		-	-		-
小山城東小	-	-		-	-		-
大谷東小	-	-		-	-		-
大谷南小	-	-		-		-	-
大谷北小	-	-	-		-		-
間々田小	-	-		-	-	-	
乙女小	-	-		-	-		-
間々田東小	-	-		-	-		-
下生井小	-	-		-	-		-
網戸小	-		-	-	-		-
寒川小	-	-		-	-		-
豊田南小	-	-		-	-		-
豊田北小	-	-		-	-		-
穂積小	-	-		-		-	-
中小	-	-		-	-		-
羽川小	-	-		-	-		-
羽川西小	-	-		-	-		-
萱橋小	-	-		-	-		-
小山中	-	-		-	-		-
小山第二中	-	-	-		-		-
小山第三中	-	-		-	-		-
小山城南中	-	-	-		-	-	
大谷中	-	-		-	-		-
間々田中	-	-		-	-		-
乙女中	-	-		-	-		-
豊田中	-	-		-	-		-
美田中	-	-	-		-		-
桑中	-	-		-	-		-
絹義務教育	-	-		-	-		-
合計	0	2	28	5	2	29	4

### 3) 建築年度

#### 校舎

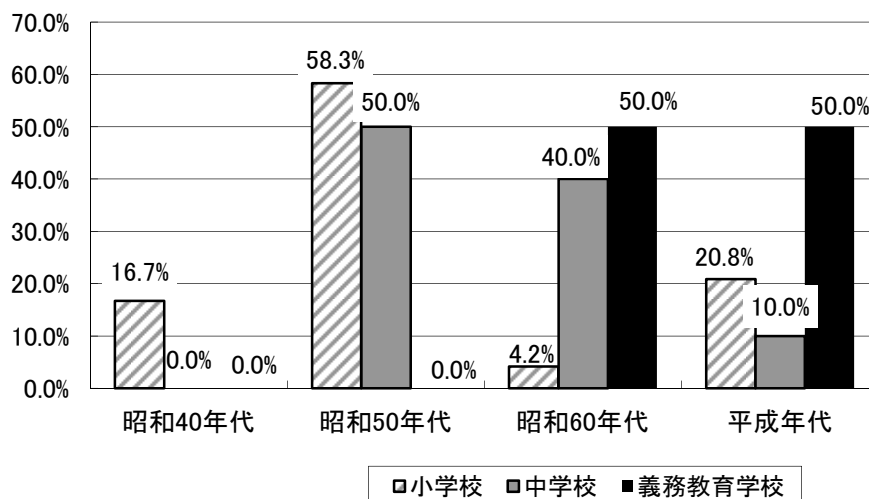
校舎の建築年度の割合を見ると、小学校では、昭和50年代の整備が最も多く、全体の約58%を占めています。次いで平成年代が約21%、昭和40年代が約17%、昭和60年代が約4%となっています。

中学校では昭和40年代のものはなく、昭和50年代が最も多く約50%、次いで昭和60年代が約40%、平成年代が約10%となっています。

小学校は、中学校に比べて建築年度が早く、中学校よりも築年数の古い校舎が多くなっています。

校舎の建築年度

平成31(2019)年3月現在



## 屋内運動場

屋内運動場の建築年代の割合を見ると、小学校、中学校ともに昭和50年代に集中して建築されており、小学校では全体の約75%が、中学校では約50%を占めています。

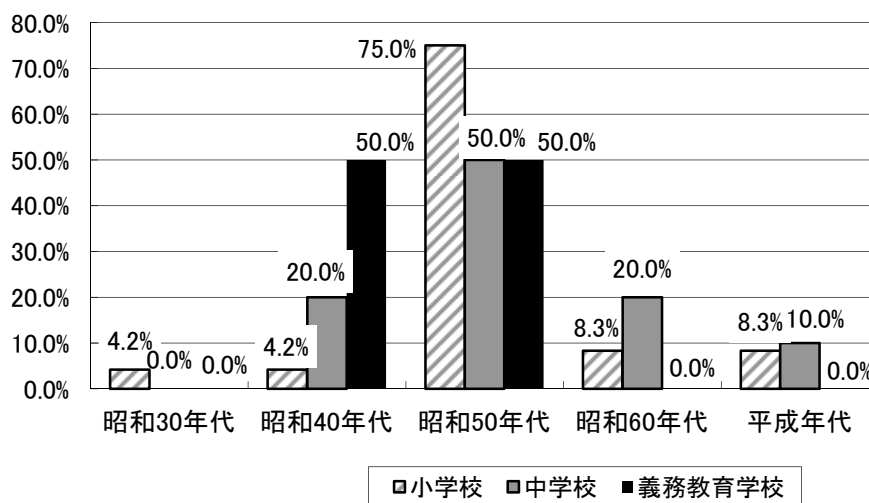
小学校では屋内運動場が校舎の後に整備されているものが多く、校舎は昭和40年代に建築されたものも見られますが、屋内運動場は昭和50年代に集中しています。

一方、中学校においては、屋内運動場が先行的に整備されたものがあるため、校舎は昭和40年代に建築されたものが見られませんが、屋内運動場は20%となっています。

また、絹義務教育学校（旧絹中）のように、校舎は平成年代に改築されたものの、屋内運動場は昭和40年代建築当初のままという状況にあり、校舎に比べ平成年代の割合が低くなっています。

屋内運動場の建築年度

平成31（2019）年3月現在



## 2-3 構造躯体の健全度の把握

### 1) 小学校

小学校については、耐震診断が必要な旧耐震基準の建物に対して耐震診断を実施し、必要に応じて補強を行っており、基本的にはすべての建物で長寿命化を図ることが可能となっています。

構造躯体の健全性（小学校）

基準年：2020年度

施設名	建物名	用途区分		構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性		
		学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強
小山第一小	管理教室棟（北棟）	小学校	校舎	RC	4	3,323	1969	S44	51	旧	済	済
"	教室棟（南棟）	小学校	校舎	RC	4	3,074	1968	S43	52	旧	済	済
"	屋内運動場	小学校	体育館	RC	3	1,355	1976	S51	44	旧	済	済
小山第二小	管理教室棟（東棟）	小学校	校舎	RC	3	2,155	1973	S48	47	旧	済	済
"	特別教室棟（西棟）	小学校	校舎	RC	3	1,475	1974	S49	46	旧	済	済
"	屋内運動場	小学校	体育館	RC	3	939	1978	S53	42	旧	済	済
小山第三小	普通教室棟（南棟）	小学校	校舎	RC	3	1,788	1981	S56	39	旧	済	不要
"	管理教室棟（北棟）	小学校	校舎	RC	3	1,576	1981	S56	39	旧	済	不要
"	屋内運動場	小学校	体育館	S	2	833	1981	S56	39	旧	済	不要
小山城南小	特別教室棟（北棟）	小学校	校舎	RC	2	1,575	1982	S57	38	新	-	-
"	普通・特別教室棟（東棟）	小学校	校舎	RC	2	898	1993	H5	27	新	-	-
"	普通教室棟（中央棟）	小学校	校舎	RC	2	1,575	1982	S57	38	新	-	-
"	特別教室棟（南棟）	小学校	校舎	RC	2	1,102	2001	H13	19	新	-	-
"	屋内運動場	小学校	体育館	S	2	828	1982	S57	38	新	-	-
旭小	教室棟（北棟）	小学校	校舎	RC	3	1,323	1972	S47	48	旧	済	済
"	特別教室棟（西棟）	小学校	校舎	RC	2	1,403	1972	S47	48	旧	済	済
"	管理教室棟（南棟）	小学校	校舎	RC	3	2,315	1973	S48	47	旧	済	済
"	増築校舎（東棟）	小学校	校舎	RC	3	598	2008	H20	12	新	-	-
"	屋内運動場	小学校	体育館	S	2	848	1979	S54	41	旧	済	済
小山城北小	校舎棟（南棟）	小学校	校舎	RC	3	3,192	1983	S58	37	新	-	-
"	教室棟（北棟）	小学校	校舎	S	1	354	1983	S58	37	新	-	-
"	屋内運動場	小学校	体育館	S	2	834	1983	S58	37	新	-	-
若木小	管理及び普通教室棟	小学校	校舎	RC	3	3,702	1984	S59	36	新	-	-
"	屋内運動場	小学校	体育館	S	2	795	1962	S37	58	旧	済	済
小山城東小	教室棟・管理棟（南棟）	小学校	校舎	RC	3	2,800	1977	S52	43	旧	済	済
"	特別教室棟（中央棟）	小学校	校舎	RC	3	1,444	1977	S52	43	旧	済	済
"	教室棟（北棟）	小学校	校舎	RC	3	2,272	1977	S52	43	旧	済	済
"	屋内運動場	小学校	体育館	S	2	1,019	1979	S54	41	旧	済	済

構造：S = 鉄骨造、RC = 鉄筋コンクリート造、W = 木造



施設名	建物名	用途区分		構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性		
		学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強
大谷東小	管理教室棟(南棟)	小学校	校舎	RC	3	3,223	2012	H24	8	新	-	-
"	特別教室棟(北棟)	小学校	校舎	RC	3	3,050	1975	S50	45	旧	済	済
"	管理普通教室棟(西棟)	小学校	校舎	RC	2	1,479	2016	H28	4	新	-	-
"	屋内運動場	小学校	体育館	S	2	849	1979	S54	41	旧	済	済
大谷南小	管理教室棟(西棟)	小学校	校舎	RC	3	2,086	1970	S45	50	旧	済	済
"	教室棟(東棟)	小学校	校舎	RC	3	1,014	1996	H8	24	新	-	-
"	屋内運動場	小学校	体育館	S	1	950	1997	H9	23	新	-	-
大谷北小	教室棟(南棟)	小学校	校舎	RC	3	3,438	1972	S47	48	旧	済	済
"	管理及び特別教室棟(北棟)	小学校	校舎	RC	4	2,817	1972	S47	48	旧	済	済
"	屋内運動場	小学校	体育館	S	2	833	1978	S53	42	旧	済	済
間々田小	管理普通教室棟(東棟)	小学校	校舎	RC	3	4,228	1994	H6	26	新	-	-
"	普通教室棟(西棟)	小学校	校舎	RC	3	1,979	1980	S55	40	旧	済	済
"	屋内運動場	小学校	体育館	RC	3	1,110	1982	S57	38	新	-	-
乙女小	管理普通教室棟(東棟)	小学校	校舎	RC	2	2,328	1975	S50	45	旧	済	済
"	普通教室棟・特別教室棟(西棟)	小学校	校舎	RC	3	3,509	1975	S50	45	旧	済	済
"	屋内運動場	小学校	体育館	S	2	840	1979	S54	41	旧	済	済
間々田東小	教室棟	小学校	校舎	RC	3	3,700	1984	S59	36	新	-	-
"	屋内運動場	小学校	体育館	S	2	894	1984	S59	36	新	-	-
下生井小	管理・教室棟	小学校	校舎	RC	3	2,082	1986	S61	34	新	-	-
"	屋内運動場	小学校	体育館	S	2	779	1986	S61	34	新	-	-
網戸小	校舎棟	小学校	校舎	RC	2	2,088	1984	S59	36	新	-	-
"	屋内運動場	小学校	体育館	S	2	799	1984	S59	36	新	-	-
寒川小	教室棟(北棟)	小学校	校舎	RC	3	1,889	1970	S45	50	旧	済	済
"	特別教室棟(南棟)	小学校	校舎	S	2	345	1990	H2	30	新	-	-
"	屋内運動場	小学校	体育館	S	2	630	1978	S53	42	旧	済	済
豊田南小	管理教室棟(北棟)	小学校	校舎	RC	3	3,422	1976	S51	44	旧	済	済
"	特別教室棟(南棟)	小学校	校舎	RC	3	1,312	1976	S51	44	旧	済	不要
"	屋内運動場	小学校	体育館	S	2	738	1979	S54	41	旧	済	済
豊田北小	管理特別教室棟(北棟)	小学校	校舎	RC	3	1,353	1973	S48	47	旧	済	済
"	普通教室棟(南棟)	小学校	校舎	RC	3	1,292	1974	S49	46	旧	済	済
"	屋内運動場	小学校	体育館	S	2	734	1979	S54	41	旧	済	済
穂積小	管理教室棟(南棟)	小学校	校舎	RC	3	769	1978	S53	42	旧	済	不要
"	教室棟(北棟)	小学校	校舎	RC	3	1,955	1978	S53	42	旧	済	済
"	屋内運動場	小学校	体育館	S	1	963	2000	H12	20	新	-	-
中小	管理教室棟(北棟)	小学校	校舎	RC	3	1,352	1978	S53	42	旧	済	済
"	教室棟(南棟)	小学校	校舎	RC	3	1,575	1978	S53	42	旧	済	済
"	屋内運動場	小学校	体育館	S	2	820	1987	S62	33	新	-	-

構造：S = 鉄骨造、RC = 鉄筋コンクリート造、W = 木造

施設名	建物名	用途区分		構造	階数	延床面積 (m <sup>2</sup> )	建築年度		築年数	耐震安全性		
		学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強
羽川小	校舎棟	小学校	校舎	RC	3	5,420	1982	S57	38	新	-	-
"	屋内運動場	小学校	体育館	S	2	848	1972	S47	48	旧	済	済
羽川西小	管理教室棟(南棟)	小学校	校舎	RC	3	2,146	1977	S52	43	旧	済	済
"	教室棟(北棟)	小学校	校舎	RC	3	1,634	1977	S52	43	旧	済	済
"	管理教室・教室棟 (東棟)	小学校	校舎	RC	3	1,069	1977	S52	43	旧	済	済
"	屋内運動場	小学校	体育館	S	2	1,019	1979	S54	41	旧	済	済
萱橋小	管理及び普通教室棟 (東棟)	小学校	校舎	RC	3	3,075	1983	S58	37	新	-	-
"	特別教室棟(西棟)	小学校	校舎	S	1	196	1978	S53	42	旧	未	未
"	屋内運動場	小学校	体育館	S	2	626	1975	S50	45	旧	済	済

構造：S = 鉄骨造、RC = 鉄筋コンクリート造、W = 木造

## 2) 中学校

中学校については、旧耐震基準の建物に対して耐震診断を実施し、必要に応じて補強を行っており、すべての建物で長寿命化を図ることが可能となっています。

### 構造躯体の健全性（中学校）

施設名	建物名	用途区分		構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性		
		学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強
小山中	教室棟（北棟）	中学校	校舎	RC	3	3,841	1981	S56	39	旧	済	不要
"	管理教室棟（南棟）	中学校	校舎	RC	3	2,673	1981	S56	39	旧	済	不要
"	屋内運動場	中学校	体育館	S	2	1,215	1981	S56	39	旧	済	済
"	武道場	中学校	武道場	S	1	420	1998	H10	22	新	-	-
小山第二中	校舎棟（東棟）	中学校	校舎	RC	4	4,197	1988	S63	32	新	-	-
"	特別教室棟（西棟）	中学校	校舎	RC	4	1,643	1975	S50	45	旧	済	不要
"	屋内運動場	中学校	体育館	S	2	1,080	1968	S43	52	旧	済	済
"	武道場	中学校	武道場	S	2	461	1998	H10	22	新	-	-
小山第三中	管理教室棟（南棟）	中学校	校舎	RC	3	3,920	1980	S55	40	旧	済	済
"	特別教室棟（北棟）	中学校	校舎	RC	3	2,323	1980	S55	40	旧	済	済
"	東教室（東棟）	中学校	校舎	RC	2	404	1992	H4	28	新	-	-
"	技術教室棟	中学校	校舎	RC	1	353	1980	S55	40	旧	未	未
"	屋内運動場	中学校	体育館	S	2	1,222	1980	S55	40	旧	済	済
"	武道場	中学校	武道場	S	1	300	1984	S59	36	新	-	-
"	柔道場	中学校	武道場	S	1	240	2014	H26	6	新	-	-
小山城南中	校舎棟（東棟）	中学校	校舎	RC	4	5,444	1987	S62	33	新	-	-
"	校舎棟（西棟）	中学校	校舎	RC	3	861	2005	H17	15	新	-	-
"	屋内運動場	中学校	体育館	RC	3	2,059	1987	S62	33	新	-	-
大谷中	教室棟	中学校	校舎	RC	3	5,320	1985	S60	35	新	-	-
"	技術教室	中学校	校舎	S	1	394	1977	S52	43	旧	未	未
"	屋内運動場	中学校	体育館	S	2	1,039	1980	S55	40	旧	済	済
"	武道場	中学校	武道場	S	1	330	1985	S60	35	新	-	-
間々田中	教室棟（北棟）	中学校	校舎	RC	3	3,600	1980	S55	40	旧	済	済
"	管理教室棟（南棟）	中学校	校舎	RC	3	3,720	1980	S55	40	旧	済	済
"	屋内運動場	中学校	体育館	SRC	2	1,053	1969	S44	51	旧	済	済
"	武道場	中学校	武道場	RC	1	439	1999	H11	21	新	-	-
乙女中	校舎棟	中学校	校舎	RC	3	5,751	1988	S63	32	新	-	-
"	屋内運動場	中学校	体育館	S	2	1,859	1988	S63	32	新	-	-

構造：S = 鉄骨造、RC = 鉄筋コンクリート造、W = 木造

施設名	建物名	用途区分		構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性		
		学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強
豊田中	教室棟（南棟）	中学校	校舎	RC	3	2,088	1979	S54	41	旧	済	済
"	管理及び特別教室棟（北棟）	中学校	校舎	RC	3	905	1980	S55	40	旧	済	不要
"	特別教室棟（中央棟）	中学校	校舎	RC	3	698	1979	S54	41	旧	済	済
"	技術室	中学校	校舎	W	1	182	1964	S39	56	旧	未	未
"	屋内運動場	中学校	体育館	S	2	974	1979	S54	41	旧	済	済
"	講堂	中学校	講堂	W	1	384	1957	S32	63	旧	未	未
美田中	校舎棟	中学校	校舎	RC	4	4,574	2005	H17	15	新	-	-
"	屋内運動場	中学校	体育館	RC	2	1,406	2007	H19	13	新	-	-
"	武道場	中学校	武道場	S	1	359	2007	H19	13	新	-	-
桑中	特別教室棟（北棟）	中学校	校舎	RC	3	2,994	1983	S58	37	新	-	-
"	普通教室棟（南棟）	中学校	校舎	RC	3	3,989	1983	S58	37	新	-	-
"	技術教室棟（東棟）	中学校	校舎	S	1	343	1983	S58	37	新	-	-
"	屋内運動場	中学校	体育館	S	2	1,181	1983	S58	37	新	-	-
"	武道場	中学校	武道場	S	1	270	1983	S58	37	新	-	-

構造：S = 鉄骨造、RC = 鉄筋コンクリート造、W = 木造

### 3) 義務教育学校

義務教育学校については、旧耐震基準の建物に対して耐震診断を実施し、既に補強を行っており、すべての建物で長寿命化を図ることが可能となっています。

構造躯体の健全性（義務教育学校）

施設名	建物名	用途区分		構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性		
		学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強
絹義務教育（東校舎）	校舎棟	義務教育学校	校舎	RC	2	2,195	1987	S62	33	新	-	-
"	屋内運動場	義務教育学校	体育館	S	2	742	1979	S54	41	旧	済	済
絹義務教育（西校舎）	校舎棟（南棟）	義務教育学校	校舎	RC	3	4,342	1993	H5	27	新	-	-
"	技術棟（北棟）	義務教育学校	校舎	RC	1	263	1993	H5	27	新	-	-
"	屋内運動場	義務教育学校	体育館	S	2	931	1970	S45	50	旧	済	済
"	武道場	義務教育学校	武道場	S	1	300	1984	S59	36	新	-	-

## 2-4 学校施設の老朽化状況の実態

### 1) 劣化状況の把握方法

学校施設の躯体以外の劣化状況の把握にあたっては、文部科学省の「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成29（2017）年3月）」を参考にしながら、学校関係者へのヒアリングや目視による調査を行い、次の「評価基準」に基づいて実施しました。

目視による評価基準

評価	基準	
A	概ね良好	(良好)
B	部分的に劣化 [安全上、機能上、問題なし]	
C	広範囲に劣化 [安全上、機能上、不具合発生の兆し]	
D	早急に対応する必要がある [安全上、機能上、問題あり / 躯体の耐久性に影響を与えている / 設備が故障し施設運営に支障を充て得ている 等]	(劣化)

健全度の算定

$$\boxed{\text{部位の評価点}} \times \boxed{\text{部位のコスト配分}} \div \boxed{60} = \boxed{\text{健全度 (100点満点)}}$$

評価	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

部位	コスト配分
屋根・屋上	5.1
外壁	17.2
内部仕上げ	22.4
電気設備	8.0
機械設備	7.3
計	60.0

コスト配分は、文部科学省の「長寿命化改良事業」における校舎の改修比率算定表を参考に設定。

健全度の算出にあたっては、100点満点にするため、コスト配分の合計値で割っている。健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示す。

## 2) 学校施設の劣化状況の評価

健全度が低い建物は、老朽化等により、「屋根・屋上」、「外壁」、「内部仕上」、「電気設備」、「機械設備」に質的または量的に深刻な劣化が発生していることから、修繕の優先順位が高くなっていると考えられます。

### 躯体以外の劣化状況一覧（小学校）

施設名	建物の種類	建物の名称	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
小山第一小	校舎	管理教室棟（北棟）	C	A	B	B	B	79
		教室棟（南棟）	B	B	B	B	B	75
	体育館	屋内運動場	B	B	A	B	B	84
小山第二小	校舎	管理教室棟（東棟）	A	B	B	B	B	77
		特別教室棟（西棟）	A	B	B	B	B	77
	体育館	屋内運動場	A	A	A	B	B	94
小山第三小	校舎	普通教室棟（南棟）	A	B	B	B	B	77
		管理教室棟（北棟）	A	B	B	B	B	77
	体育館	屋内運動場	A	A	A	B	B	94
小山城南小	校舎	特別教室棟（北棟）	A	B	B	B	B	77
		普通・特別教室棟（東棟）	A	B	B	B	B	77
		普通教室棟（中央棟）	A	A	A	B	B	94
		特別教室棟（南棟）	A	A	A	B	B	94
	体育館	屋内運動場	B	A	A	B	B	92
旭小	校舎	教室棟（北棟）	B	B	B	B	B	75
		特別教室棟（西棟）	B	B	B	B	B	75
		管理教室棟（南棟）	C	B	B	B	B	72
		増築校舎（東棟）	B	A	A	B	B	92
	体育館	屋内運動場	B	A	B	B	A	85
小山城北小	校舎	校舎棟（南棟）	B	B	C	B	B	62
		教室棟（北棟）	B	B	C	B	B	62
	体育館	屋内運動場	B	A	A	B	B	92
若木小	校舎	管理及び普通教室棟	B	B	B	B	B	75
	体育館	屋内運動場	B	B	B	B	B	75
小山城東小	校舎	教室棟・管理棟（南棟）	C	B	B	B	B	72
		特別教室棟（中央棟）	C	B	B	B	B	72
		教室棟（北棟）	C	B	B	B	B	72
	体育館	屋内運動場	B	B	B	B	B	75
大谷東小	校舎	管理教室棟（南棟）	B	A	B	B	B	82
		特別教室棟（北棟）	B	A	B	B	B	82
		管理普通教室棟（西棟）	B	A	B	B	B	82
	体育館	屋内運動場	B	B	B	B	B	75
大谷南小	校舎	管理教室棟（西棟）	B	B	B	B	B	75
		教室棟（東棟）	B	A	B	B	B	82
	体育館	屋内運動場	A	B	B	B	B	77

施設名	建物の種類	建物の名称	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
大谷北小	校舎	教室棟（南棟）	B	B	B	B	B	75
		管理及び特別教室棟（北棟）	B	A	B	B	B	82
	体育館	屋内運動場	B	B	B	B	B	75
間々田小	校舎	管理普通教室棟（東棟）	B	A	B	B	B	82
		普通教室棟（西棟）	B	C	C	B	B	52
	体育館	屋内運動場	B	B	B	B	B	75
乙女小	校舎	管理普通教室棟（東棟）	C	C	C	B	C	45
		普通教室棟・特別教室棟（西棟）	C	C	C	B	C	45
	体育館	屋内運動場	C	C	C	B	C	45
間田東小	校舎	教室棟	B	B	B	B	B	75
	体育館	屋内運動場	B	B	B	B	B	75
下生井小	校舎	管理・教室棟	B	A	B	B	B	82
	体育館	屋内運動場	B	B	B	B	B	75
網戸小	校舎	校舎棟	B	A	A	B	B	92
	体育館	屋内運動場	B	B	A	B	B	84
寒川小	校舎	教室棟（北棟）	C	B	B	B	B	72
		特別教室棟（南棟）	C	C	A	B	B	71
	体育館	屋内運動場	B	B	B	B	B	75
豊田南小	校舎	管理教室棟（北棟）	C	B	B	B	B	72
		特別教室棟（南棟）	B	B	B	B	B	75
	体育館	屋内運動場	B	B	B	B	B	75
豊田北小	校舎	管理特別教室棟（北棟）	B	B	B	B	B	75
		普通教室棟（南棟）	B	B	B	B	B	75
	体育館	屋内運動場	B	B	B	B	B	75
穂積小	校舎	管理教室棟（南棟）	B	B	B	B	B	75
		教室棟（北棟）	A	B	B	B	B	77
	体育館	屋内運動場	A	B	B	B	C	73
中小	校舎	管理教室棟（北棟）	B	B	B	B	C	71
		教室棟（南棟）	B	B	B	B	B	75
	体育館	屋内運動場	B	B	B	B	B	75
羽川小	校舎	校舎棟	A	B	B	B	B	77
	体育館	屋内運動場	B	B	B	B	B	75
羽川西小	校舎	管理教室棟（南棟）	A	B	A	B	B	86
		教室棟（北棟）	A	B	A	B	B	86
		管理教室・教室棟（東棟）	A	B	A	B	B	86
	体育館	屋内運動場	B	B	B	B	B	75
萱橋小	校舎	管理及び普通教室棟（東棟）	A	A	B	B	B	84
		特別教室棟（西棟）	B	B	B	B	B	75
	体育館	屋内運動場	B	B	B	B	B	75

躯体以外の劣化状況一覧（中学校）

施設名	建物の種類	建物の名称	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
小山中	校舎	教室棟（北棟）	B	B	B	B	B	75
		管理教室棟（南棟）	B	B	B	B	B	75
	体育館	屋内運動場	C	B	B	B	B	72
	武道場	武道場	A	A	A	B	B	94
小山第二中	校舎	校舎棟（東棟）	B	A	B	B	B	82
		特別教室棟（西棟）	B	C	B	B	B	65
	体育館	屋内運動場	C	A	B	B	B	79
	武道場	武道場	A	A	A	B	B	94
小山第三中	校舎	管理教室棟（南棟）	B	B	B	B	B	75
		特別教室棟（北棟）	C	B	B	B	B	72
		東教室（東棟）	A	A	B	B	B	84
		技術教室棟	B	B	B	B	B	75
	体育館	屋内運動場	B	B	B	B	B	75
	武道場	武道場	B	B	B	B	B	75
		柔道場	B	B	B	B	B	75
小山城南中	校舎	校舎棟（東棟）	A	A	A	B	B	94
		校舎棟（西棟）	A	A	A	B	B	94
	体育館	屋内運動場	B	B	B	B	B	75
大谷中	校舎	教室棟	A	A	B	B	B	84
		技術教室	C	A	A	B	B	89
	体育館	屋内運動場	B	A	A	B	B	92
	武道場	武道場	B	A	A	B	B	92
間々田中	校舎	教室棟（北棟）	A	B	B	B	B	77
		管理教室棟（南棟）	A	B	B	B	B	77
	体育館	屋内運動場	A	B	B	B	B	77
	武道場	武道場	A	A	A	B	B	94
乙女中	校舎	校舎棟	B	A	A	B	C	87
	体育館	屋内運動場	B	B	B	B	C	71
豊田中	校舎	教室棟（南棟）	A	C	B	B	B	67
		管理及び特別教室棟（北棟）	A	C	B	B	B	67
		特別教室棟（中央棟）	A	C	B	B	B	67
		技術室	A	C	A	B	B	76
	体育館	屋内運動場	B	B	B	B	B	75
	その他	講堂	A	A	A	B	B	94
美田中	校舎	校舎棟	A	A	A	A	A	100
	体育館	屋内運動場	A	A	A	A	A	100
	武道場	武道場	A	A	A	A	A	100
桑中	校舎	特別教室棟（北棟）	A	B	B	B	B	77
		普通教室棟（南棟）	A	B	B	B	B	77
		技術教室棟（東棟）	B	B	B	B	B	75
	体育館	屋内運動場	A	B	A	B	B	86
	武道場	武道場	A	B	B	B	B	77



躯体以外の劣化状況一覧（義務教育学校）

施設名	建物の種類	建物の名称	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
絹義務教育 （東校舎）	校舎	校舎棟	A	A	A	A	A	100
	体育館	屋内運動場	B	A	A	A	A	98
絹義務教育 （西校舎）	校舎	校舎棟（南棟）	A	A	A	A	A	100
		技術棟（北棟）	A	A	A	A	A	100
	体育館	屋内運動場	B	A	A	A	A	98
	武道場	武道場	A	A	A	A	A	100

### 3) 学校施設の劣化状況の評価

全体

小学校、中学校、義務教育学校における学校施設の劣化状況の評価を見ると、「屋根・屋上」、「外壁」、「内部仕上」、「電気設備」、「機械設備」のすべてで「B評価(部分的に劣化[安全上、機能上、問題なし])」が最も多くなっています。

建物用途別に見ると、体育館では、他と比べて「屋根・屋上」で「A評価(概ね良好)」が少なく、「屋根・屋上」、「外壁」で「B評価(部分的に劣化[安全上、機能上、問題なし])」が多くなっており、武道場・その他では、他と比べて「屋根・屋上」、「外壁」、「内部仕上」で「A評価(概ね良好)」が多くなっています。

学校施設の劣化状況の評価(全体)

上段：棟数、下段：割合

評価	A			B			C			合計						
	建物用途別			建物用途別			建物用途別			建物用途別						
	校舎	体育館	武道場・その他	校舎	体育館	武道場・その他	校舎	体育館	武道場・その他	校舎	体育館	武道場・その他				
① 屋根・屋上	44 35.2	30 38.0	7 19.4	7 70.0	65 52.0	36 45.6	26 72.2	3 30.0	16 12.8	13 16.5	3 8.3	0 0.0	125 100.0	79 100.0	36 100.0	9 100.0
② 外壁	41 32.8	24 30.4	10 27.8	7 70.0	73 58.4	45 57.0	25 69.4	3 33.3	11 8.8	10 12.7	1 2.8	0 0.0	125 100.0	79 100.0	36 100.0	9 100.0
③ 内部仕上	35 28.0	17 21.5	11 30.6	7 70.0	83 66.4	56 70.9	24 66.7	3 33.3	7 5.6	6 7.6	1 2.8	0 0.0	125 100.0	79 100.0	36 100.0	9 100.0
④ 電気設備	9 7.2	4 5.1	3 8.3	2 22.2	116 92.8	75 94.9	33 91.7	8 80.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	125 100.0	79 100.0	36 100.0	9 100.0
⑤ 機械設備	10 8.0	4 5.1	4 11.1	2 22.2	107 85.6	70 88.6	29 80.6	8 80.0	8 6.4	5 6.3	3 8.3	0 0.0	125 100.0	79 100.0	36 100.0	9 100.0

D評価は0棟のため省略

## 小学校

小学校における学校施設の劣化状況の評価を見ると、「屋根・屋上」、「外壁」、「内部仕上」、「電気設備」、「機械設備」のすべてで「B評価(部分的に劣化[安全上、機能上、問題なし])」が最も多くなっています。

建物用途別に見ると、体育館では、他と比べて「屋根・屋上」で「B評価(部分的に劣化[安全上、機能上、問題なし])」が多くなっています。

学校施設の劣化状況の評価(小学校)

上段：棟数、下段：割合

評価	A				B				C				合計			
	建物用途別				建物用途別				建物用途別				建物用途別			
	校舎	体育館	武道場・その他		校舎	体育館	武道場・その他		校舎	体育館	武道場・その他		校舎	体育館	武道場・その他	
① 屋根・屋上	18 23.4	14 26.4	4 16.7	-	<b>47</b> <b>61.0</b>	28 52.8	<b>19</b> <b>79.2</b>	-	12 15.6	11 20.8	1 4.2	-	77 100.0	53 100.0	24 100.0	-
② 外壁	18 23.4	13 24.5	5 20.8	-	<b>53</b> <b>68.8</b>	35 66.0	18 75.0	-	6 7.8	5 9.4	1 4.2	-	77 100.0	53 100.0	24 100.0	-
③ 内部仕上	14 18.2	8 15.1	6 25.0	-	<b>56</b> <b>72.7</b>	39 73.6	17 70.8	-	7 9.1	6 11.3	1 4.2	-	77 100.0	53 100.0	24 100.0	-
④ 電気設備	0 0.0	0 0.0	0 0.0	-	<b>77</b> <b>100.0</b>	53 100.0	24 100.0	-	0 0.0	0 0.0	0 0.0	-	77 100.0	53 100.0	24 100.0	-
⑤ 機械設備	1 1.3	0 0.0	1 4.2	-	<b>70</b> <b>90.9</b>	49 92.5	21 87.5	-	6 7.8	4 7.5	2 8.3	-	77 100.0	53 100.0	24 100.0	-

D評価は0棟のため省略

中学校

中学校における学校施設の劣化状況の評価を見ると、「屋根・屋上」では「A評価(概ね良好)」が最も多く、「外壁」、「内部仕上」、「電気設備」、「機械設備」では「B評価(部分的に劣化[安全上、機能上、問題なし])」が最も多くなっています。

建物用途別に見ると、校舎では、他と比べて「内部仕上」で「A評価(概ね良好)」が少なくなっており、体育館では、他と比べて「屋根・屋上」、「外壁」で「A評価(概ね良好)」が少なく、「B評価(部分的に劣化[安全上、機能上、問題なし])」が多くなっており、武道場・その他では、他と比べて「屋根・屋上」、「外壁」、「内部仕上」で「A評価(概ね良好)」が多くなっています。

学校施設の劣化状況の評価(中学校)

上段：棟数、下段：割合

評価	A				B				C				合計			
	建物用途別				建物用途別				建物用途別				建物用途別			
	校舎	体育館	武道場・その他		校舎	体育館	武道場・その他		校舎	体育館	武道場・その他		校舎	体育館	武道場・その他	
① 屋根・屋上	22 52.4	13 56.5	3 30.0	6 66.7	16 38.1	8 34.8	5 50.0	3 37.5	4 9.5	2 8.7	2 20.0	0 0.0	42 100.0	23 100.0	10 100.0	8 100.0
② 外壁	17 40.5	8 34.8	3 30.0	6 66.7	20 47.6	10 43.5	7 70.0	3 37.5	5 11.9	5 21.7	0 0.0	0 0.0	42 100.0	23 100.0	10 100.0	8 100.0
③ 内部仕上	15 35.7	6 26.1	3 30.0	6 66.7	27 64.3	17 73.9	7 70.0	3 37.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	42 100.0	23 100.0	10 100.0	8 100.0
④ 電気設備	3 7.1	1 4.3	1 10.0	1 12.5	39 92.9	22 95.7	9 90.0	8 88.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	42 100.0	23 100.0	10 100.0	8 100.0
⑤ 機械設備	3 7.1	1 4.3	1 10.0	1 12.5	37 88.1	21 91.3	8 80.0	8 88.9	2 4.8	1 4.3	1 10.0	0 0.0	42 100.0	23 100.0	10 100.0	8 100.0

D評価は0棟のため省略

## 義務教育学校

義務教育学校における学校施設の劣化状況の評価を見ると、「屋根・屋上」、「外壁」、「内部仕上」、「電気設備」、「機械設備」のすべてで「A評価(概ね良好)」が最も多くなっており、小学校、中学校と比べて評価が高くなっています。

建物用途別に見ると、校舎、武道場・その他では、すべてが「A評価(概ね良好)」になっているのに対し、体育館では、「B評価(部分的に劣化[安全上、機能上、問題なし])」が2棟あります。

学校施設の劣化状況の評価(義務教育学校)

上段：棟数、下段：割合

評価	A				B				合計			
	建物用途別				建物用途別				建物用途別			
	校舎	体育館	武道場・その他		校舎	体育館	武道場・その他		校舎	体育館	武道場・その他	
① 屋根・屋上	4 66.7	3 100.0	0 0.0	1 100.0	2 33.3	0 0.0	2 100.0	0 0.0	6 100.0	3 100.0	2 100.0	1 100.0
② 外壁	6 100.0	3 100.0	2 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 100.0	3 100.0	2 100.0	1 100.0
③ 内部仕上	6 100.0	3 100.0	2 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 100.0	3 100.0	2 100.0	1 100.0
④ 電気設備	6 100.0	3 100.0	2 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 100.0	3 100.0	2 100.0	1 100.0
⑤ 機械設備	6 100.0	3 100.0	2 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 100.0	3 100.0	2 100.0	1 100.0

C評価、D評価は0棟のため省略

#### 4) 学校施設の健全度の評価

##### 全体

小学校、中学校、義務教育学校における学校施設の健全度の分布を見ると、最も多いのは「70～80点未満」で、合計で67棟（54.9%）となっており、全体の半数以上を占めています。

また、最も高い「100点」が7棟（5.7%）となっている一方、最も低い「50点未満」が3棟（2.5%）となっています。

建物用途別に見ると、校舎、体育館では「70～80点未満」が最も多くなっている一方で、武道場・その他では「90～100点未満」が最も多くなっています。

平均点を見ると、学校施設の合計は79.3点で、校舎は77.8点、体育館が79.7点、武道場・その他は89.5点となっており、武道場・その他の健全度が他と比べて高くなっています。

##### 小学校

小学校における学校施設の健全度の分布を見ると、最も多いのは「70～80点未満」で、合計で46棟（62.2%）となっており、全体の6割以上を占めています。

また、最も高いのは「90～100点未満」で、合計で8棟（10.8%）となっている一方、最も低い「50点未満」が3棟（4.1%）となっています。

建物用途別に見ると、校舎、体育館では、全体と同様に「70～80点未満」が最も多くなっています。

平均点を見ると、学校施設の合計は76.6点で、校舎は76.0点、体育館が77.9点となっており、校舎よりも体育館の方がやや高くなっています。

##### 中学校

中学校における学校施設の健全度の分布を見ると、最も多いのは「70～80点未満」で、合計で21棟（50.0%）となっており、全体の半数を占めています。次いで、「90～100点未満」が8棟（19.0%）で、全体の2割近くを占めています。

また、最も高いのは「100点」で、合計で3棟（7.1%）となっている一方、最も低い「60点～70点未満」が4棟（9.5%）となっています。

建物用途別に見ると、校舎、体育館は「70～80点未満」が最も多くなっている一方で、武道場・その他は「90～100点未満」が最も多くなっています。

平均点を見ると、学校施設の合計は81.1点で、校舎は78.7点、体育館が80.2点、武道場・その他は88.3点となっており、武道場・その他が他と比べて高くなっています。

また、小学校の学校施設の平均点と比べると、校舎、体育館ともにやや高くなっています。

#### 義務教育学校

義務教育学校における学校施設の健全度の分布を見ると、「100点」が4棟（66.7%）、次いで「90～100%」が2棟（33.3%）となっており、すべての建物で90点以上となっています。

建物用途別に見ると、校舎、武道場・その他はすべての棟が「100点」、体育館はすべての棟が「90～100点未満」となっています。

平均点を見ると、全体は99.3点で、校舎と武道場・その他は100点、体育館は98.0点となっており、すべての建物用途で高くなっています。

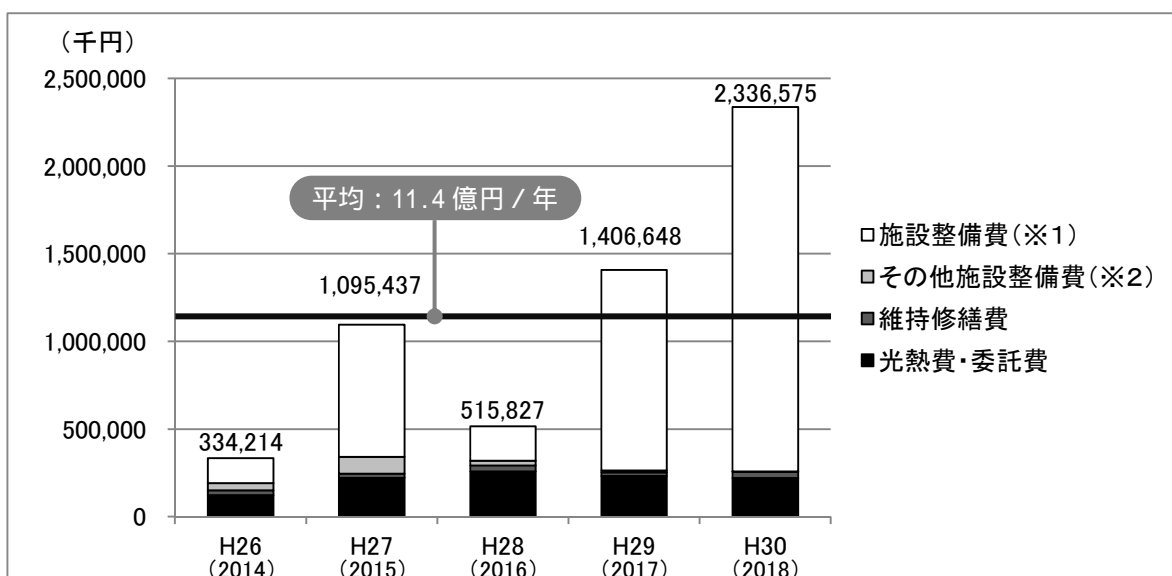
## 2-5 長寿命化コストの見通しと効果

### 1) 学校施設の施設関連経費

学校施設の施設関連経費は、平成30(2018)年度の2,336,575千円が最も多く、平成26(2014)年度から平成30(2018)年度の5年間の推移を見ると概ね増加傾向にあり、平成30(2018)年度は平成26(2014)年度の7倍となっています。

また、投資的経費(施設関連経費の5年間の平均)は、約11.4億円/年となります。

施設関連経費の推移



(単位：千円)

	平成 26 (2014) 年度	平成 27 (2015) 年度	平成 28 (2016) 年度	平成 29 (2017) 年度	平成 30 (2018) 年度	平均
施設整備費 ( 1 )	143,413	754,584	196,366	1,143,864	2,078,882	863,422
その他施設整備費 ( 2 )	41,345	95,839	28,042	11,065	2,484	35,755
維持修繕費	26,539	22,791	34,475	19,240	35,852	27,779
光熱費・委託費	122,917	222,223	256,943	232,479	219,357	210,784
<b>合 計</b>	<b>334,214</b>	<b>1,095,437</b>	<b>515,827</b>	<b>1,406,648</b>	<b>2,336,575</b>	<b>1,137,740</b>

1 施設整備費：新增築事業、改築事業、耐震化事業、長寿命化改修事業、大規模改造(老朽)、防災関連事業、トイレ整備、空調整備、障がい児等対策、部位修繕 等

2 その他施設整備費：プール、グラウンド及び共用設備(受変電、自家発電、受水、排水)等の施設整備費に含まれない整備費



## 2) 今後の維持・更新コスト

### 従来型の維持・更新コスト

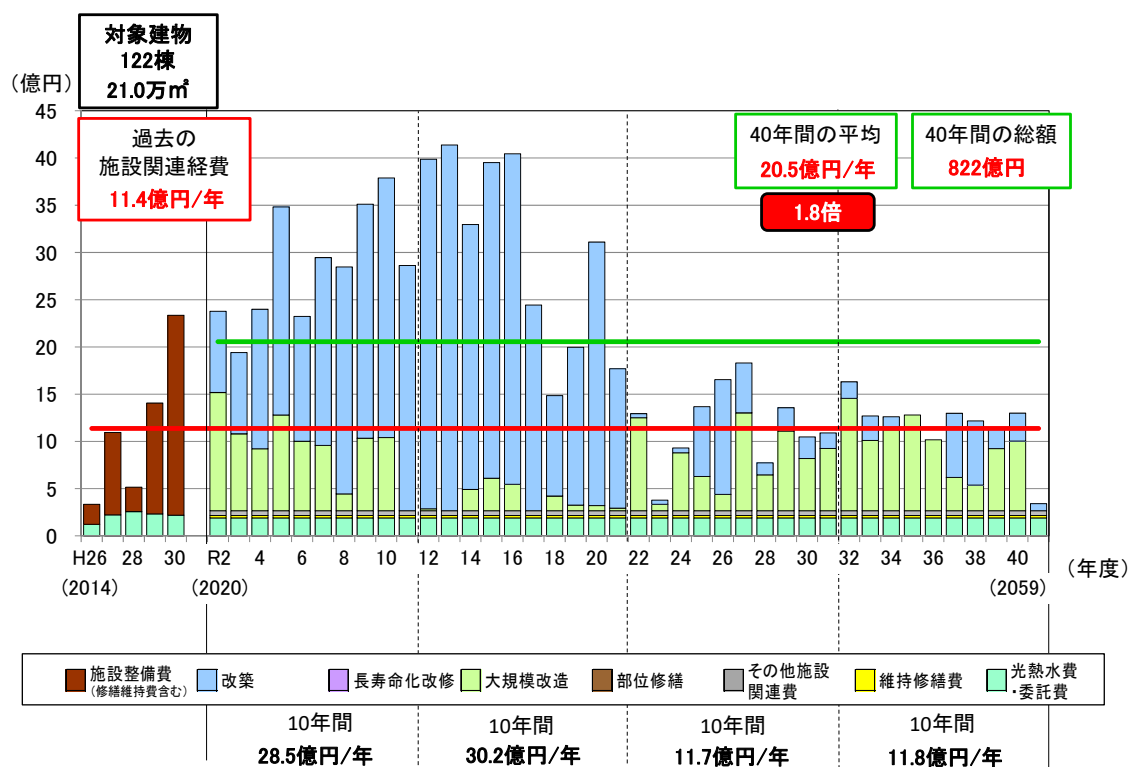
今後も、文部科学省の「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成29（2017）年）」に基づき、築50年で建て替えることを前提にした従来型の修繕・改修を続けた場合、今後40年間の維持・更新コストは約822億円（20.5億円/年）掛かると予想されます。

これは、投資的経費（過去の施設関連経費）11.4億円/年の2倍近くになります。

また、令和2（2020）年度から令和21（2039）年度までの期間に改築が集中し、毎年、投資的経費の1.5倍～3.5倍のコストが発生します。

従来型の建て替えを前提とした修繕・改修を継続することは、今後の財政状況を鑑み、不可能であると考えられます。

### 維持・更新コスト（従来型）



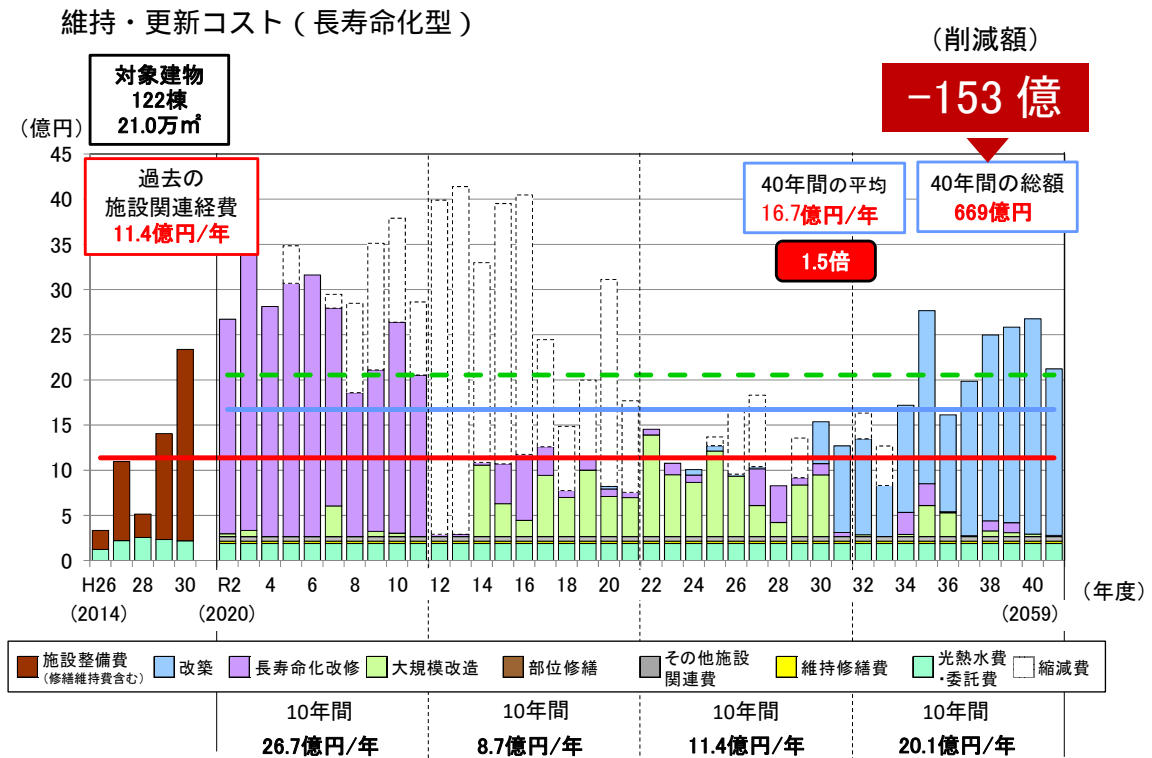
グラフは「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成29（2017）年、文部科学省）」の付属エクセルソフトにより、計画策定年次の令和2（2020）年度を基準年として作成

改築単価は「学校施設を取り巻く状況」（平成26（2014）年、文部科学省）を参考に250,000円/㎡と仮定  
過去の維持整備費に維持修繕費、その他施設関連費を含む

## 長寿命化型の維持・更新コスト

文部科学省の「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成29（2017）年）」に基づき、長寿命化型の修繕・改修により、建物の使用年数を50年から80年に長寿命化した場合、今後40年間の維持・更新コストは総額で約669億円（17億円/年）となり、従来型の約822億円（20.5億円/年）と比べて、約19%の削減となります。

一方、投資的経費の11.4億円/年と比べると、1.5倍のコストが掛かることや、令和11（2029）年度までに長寿命化改修が集中することから、学校適正配置による学校の統廃合を含め、費用を圧縮する方法を検討する必要があります。



グラフは「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成29（2017）年、文部科学省）」の付属エクセルソフトにより、計画策定年次の令和2（2020）年度を基準年として作成  
 改築単価は「学校施設を取り巻く状況」（平成26（2014）年、文部科学省）を参考に250,000円/㎡、長寿命化改修は150,000円/㎡（改築の60%）、大規模改造は120,000円/㎡と仮定  
 過去の維持整備費に維持修繕費、その他施設関連費を含む

### 3 学校施設の目指すべき姿

#### 3-1 学校施設の基本的考え方

学校施設は本市の子どもたちの学習・生活の場として日常的に利用する身近な施設であることから、子どもたちの安全を確保し、快適に学習・生活できる環境の維持・向上を図っていくことが重要です。

あわせて、学校施設としての建築物は、比較的規模が大きく、ハードな仕様となることが多いことから、ライフサイクルコストや環境面等に配慮することも必要です。

本計画における学校施設の目指すべき姿としては、上記のことを前提としながら、現状における学校施設の状況等を踏まえつつ、国が求める「学校施設長寿命化計画」に必要な記載事項や本市の公共施設等総合管理計画等との整合を基本に、持続可能な学校施設の長寿命化に向けた基本目標を設定するものです。

#### 3-2 基本目標

基本的考え方を踏まえ、本計画における学校施設の長寿命化に向けた基本目標を以下の通り設定します。

##### 【基本目標】

### 安全・快適な学校として持続的利用を目指す おやまサステナブルスクールづくり

#### 【安全・快適な学校として】

- 小山市の未来を担う子どもたちが日々学び、生活をする場所としての学校施設について、子どもたちの安全を確保し、快適に学習、生活できる場所とすること。

#### 【持続的利用を目指す】

- 小山市の未来を担う子どもたちに、今あるものを大切に使い続けていくというメッセージを伝えるためにも、学校施設を既存ストックとして長寿命化等により、持続的な利用を図っていくこと。

#### 【おやまサステナブルスクールづくり】

- 小山市立小・中・義務教育学校施設の長寿命化により、サステイナブル＝持続的な学校づくりを目指すこと。

## 1) 安全性・耐用性の確保

現状調査及び劣化診断等でも明らかなように、市内の小中学校施設においては、築年数が40年以上経過し、経年的な老朽化が目立つものが多くなっています。

全ての小中学校で耐震補強は完了し、基本的な安全性は確保されているものの、外壁等の経年的劣化から、ひび割れや剥離などが起こり、子どもたちの安全が脅かされている学校も見られます。

このような状況等を踏まえ、何より子どもたちが安心して利用できる学習・生活環境の確保を目指すとともに、貴重な公共ストックとして、本市の財政状況等も加味しながら、できる限り長期間使用できる耐用性を確保するものとします。

## 2) 機能性・快適性の確保

本市も積極的に進めている小中一貫教育への流れをはじめ、ICTの活用など多様な学習形態への対応が求められるなど、学校教育を取り巻く環境は大きく変化しています。

本市においても、それらに対応すべく、必要な施設の整備や設備機器の設置等を進めていますが、既存の学校施設の多くは築年数が古く、総合的かつ計画的な対応が困難な場合もあります。

今後、子どもたちへの効果的・効率的な学習の提供とともに、教師もより快適に使いやすい職場とするため、学校施設の機能性・快適性の確保を目指すものとします。

## 3) 環境性・省エネ性の確保

大規模でハードな仕様となる場合が多い学校施設については、その分環境に対する負荷も大きくなります。

子どもたちの環境学習という観点においても、既存施設の長寿命化によるライフサイクルコストの低減を図るとともに、設備や仕様等の機能向上により、子どもたちの学習・生活環境に係る衛生環境の向上や、省エネ性の確保を目指すものとします。

## 4 学校施設整備の基本方針

### 4-1 学校施設の規模・配置計画等の方針

学校施設の規模・配置計画については、「小山市学校適正配置等に関する提言書（平成26（2014）年1月）」における位置づけを基本とします。

#### 1) 学校の適正規模

##### 小学校

小学校では、全学年でクラス替えやグループ学習等の充実を図ることができ、学年に複数の教員が配置できる12学級以上18学級以下（1学年2～3学級）が望ましいと考えられます。

##### 中学校

中学校では、小学校とは異なり、教科担任制となるため、教員配置の視点から主要5教科に複数の教員が配置でき、全教科に専任教員が配置できる9学級以上18学級以下（1学年3～6学級）が望ましいと考えられます。

ただし、9学級を下回る場合においても、一定の規模が確保できれば、様々な工夫や努力を行い、特色ある学校・教育づくりを推進することにより、学校教育本来の機能を発揮できるものと考えられます。

#### 2) 学校の適正配置

学校の適正配置については、各小中学校における大規模化や小規模化等の課題を踏まえながら、学区の再編から学校の再編の順に検討を進めるものとします。

その際には、学校の歴史や文化などの学校の特性、地域の伝統などの地域性、保護者や地域住民などの地元の意向、学校の要望など、学校や地域に十分配慮することが大切です。

さらに、各地域及び学校の状況等に応じながら、小中一貫教育及び小中一貫校の配置を推進するものとします。

### 3) 学校適正配置等の基本体系

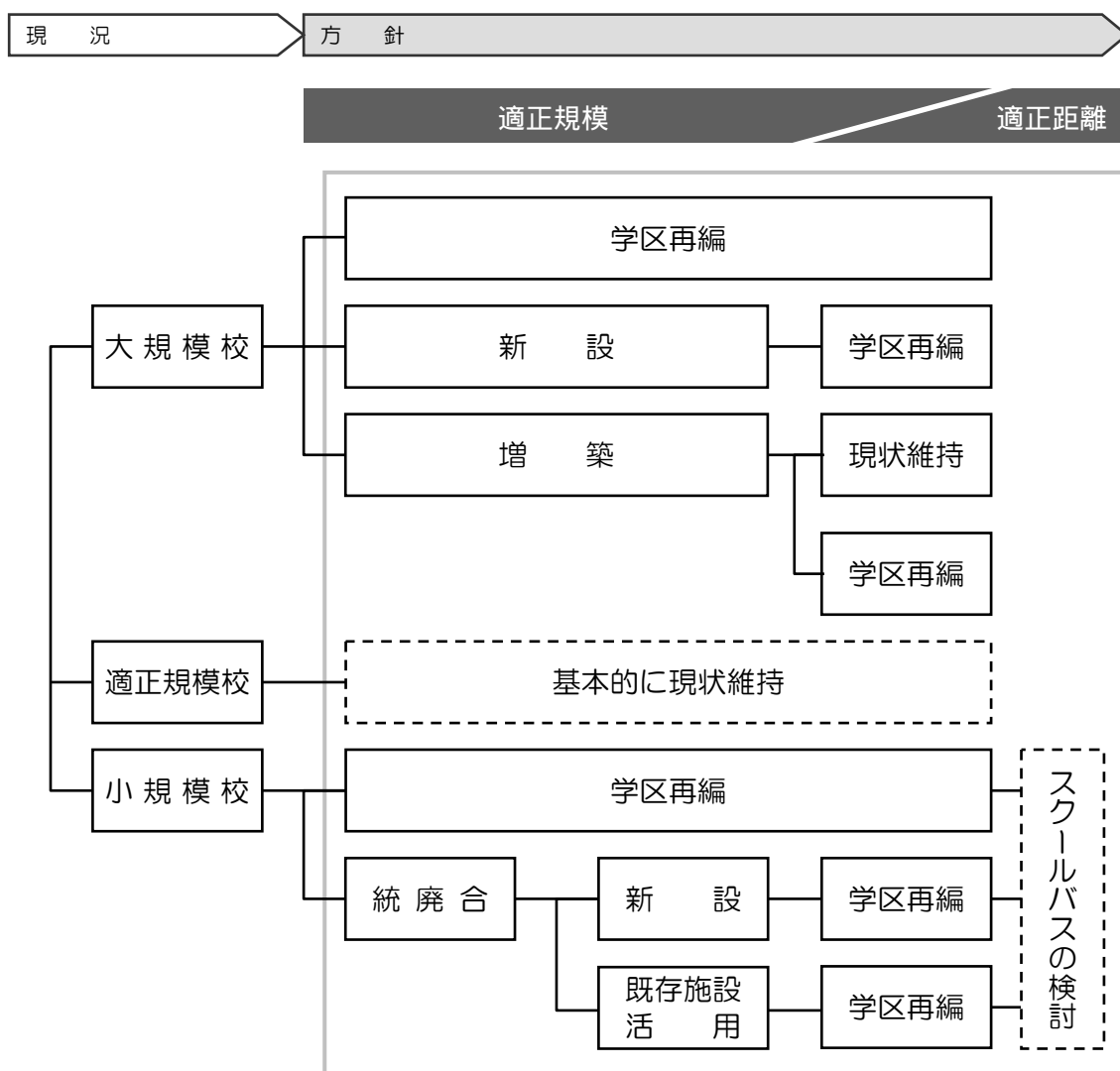
学校適正配置は、各小中学校における大規模化や小規模化等の課題を踏まえ、基本的考え方に基づき、学区の再編や学校の再編によって進めていきます。

大規模校については、新設、増築、学区再編による適正規模化が考えられます。また、新設校の設置に併せた学区の新設、増築にあたっては、必要に応じて、隣接する小中学校との学区再編を検討します。

適正規模校については現状維持を基本とするが、隣接する小中学校を適正規模化するために学区再編が必要となる場合があります。

小規模校については、統廃合や学区再編による適正規模化が考えられます。また、統廃合にあたっては、小中一貫校の推進を見据えた中学校の隣接地等を活用した新設校への統廃合及び学区再編と、既存校への統廃合及び学区再編を検討します。

学校適正配置等の基本体系図



## 4-2 施設の目標耐用年数

目標耐用年数は「建築物の耐久計画に関する考え方」(日本建築学会)を参考とし、構造別に以下のように設定します。

建物全体の望ましい目標耐用年数の級(出典:日本建築学会)

構造	目標耐用年 (従来型)	目標耐用年 (長寿命化型)
鉄筋コンクリート造	おおよそ60年	おおよそ80年
鉄骨造	おおよそ60年	おおよそ80年

上記資料によると、学校施設の目標耐用年数は、鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造の場合、その代表値は高品質の場合で100年、普通品質の場合で60年と示されています。

本市においては、鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造及び鉄骨造では、長寿命化改修等を行った場合、品質の違いによらず、高品質、普通品質の中間値として80年、長寿命化改修等を行わなかった場合は普通品質の60年を採用するものとします。

ただし、設定する目標耐用年数については、あくまで数値的な目安として設定するもので、各学校の経年的な状況等に応じながら、最終的な建替えなどの時期について、その都度調査・検討し、計画的に実施していくものとします。

建物全体の望ましい目標耐用年数の級(出典:日本建築学会)

用途	鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造		鉄骨造			ブロック造 煉瓦造	木造
	高品質の場合	普通品質の場合	高品質の場合	普通品質の場合	軽量鉄骨		
学校 官庁	Yo100以上	Yo60以上	Yo100以上	Yo60以上	Yo40以上	Yo60以上	Yo60以上
住宅 事務所 病院	Yo100以上	Yo60以上	Yo100以上	Yo60以上	Yo40以上	Yo60以上	Yo40以上
店舗 旅館 ホテル	Yo100以上	Yo60以上	Yo100以上	Yo60以上	Yo40以上	Yo60以上	Yo40以上
工場	Yo40以上	Yo25以上	Yo40以上	Yo25以上	Yo25以上	Yo25以上	Yo25以上

高品質、普通品質とはコンクリートの品質のことを指します。

目標耐用年数の級の区分例(出典:日本建築学会)

級	目標耐用年数	代表値	範囲	下限値
	Yo150	150年	120~200年	120年
	Yo100	100年	80~120年	80年
	Yo60	60年	50~80年	50年
	Yo40	40年	30~50年	30年
	Yo25	25年	20~30年	20年

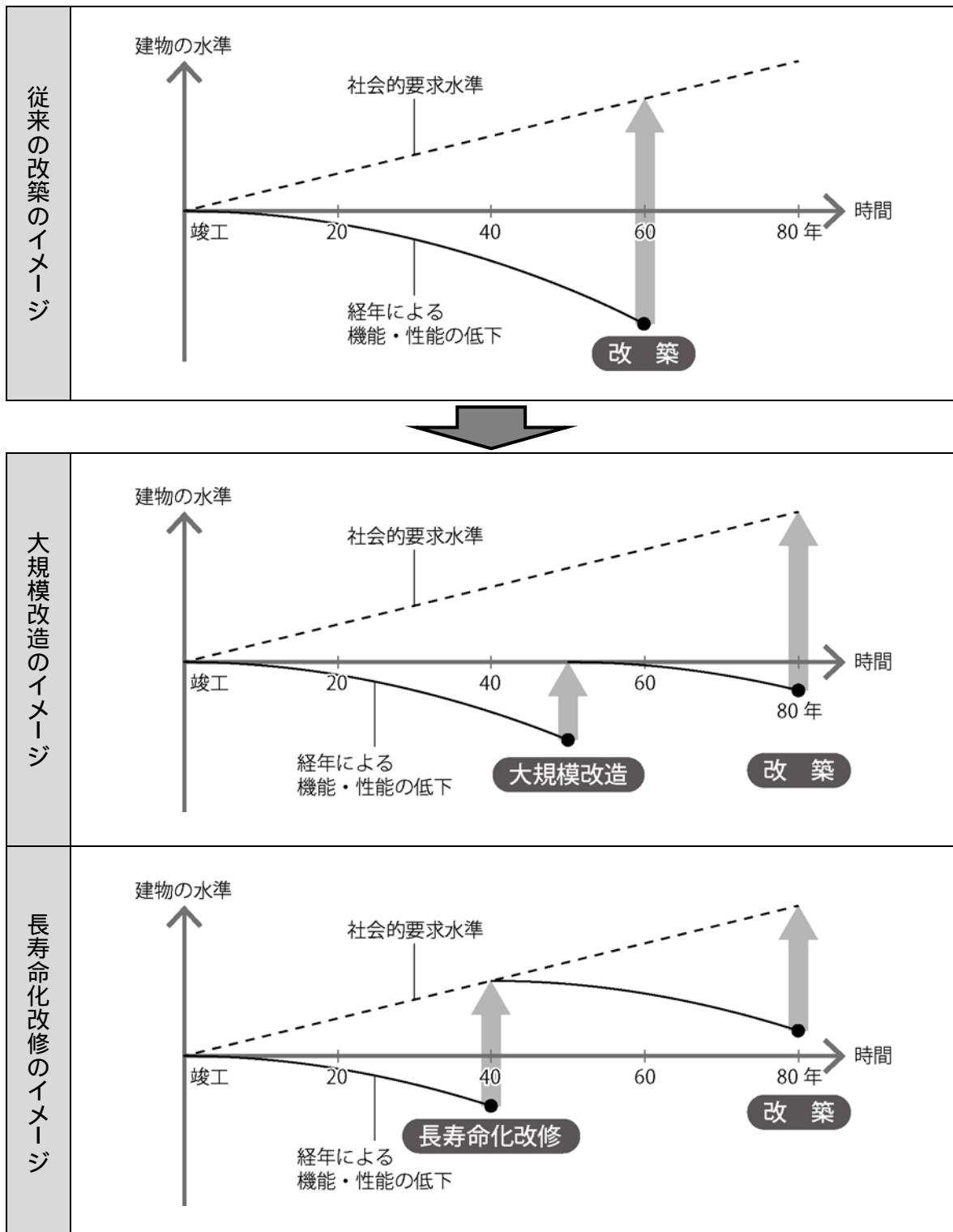
Yoとは、目標耐用年数の級を表す記号です。

### 4-3 大規模改造及び長寿命化改修の周期

建替えから長寿命化改修による建物の長寿命化に切り替え、部位改修を併用した整備を行うものとします。

以下に長寿命化改修を実施した場合の修繕・改修周期のイメージを示します。

大規模改造及び長寿命化改修の周期イメージ





## 5 施設整備の水準等

### 5-1 改修等の整備水準

改修の実施にあたっては、単に建築時に近い状態に戻すのではなく、構造体の長寿命化やライフラインの更新等により建物の耐久性を高めるとともに、省エネ化や多様な学習形態による活動が可能となる環境の提供など現代の社会的要請に応じるための改修を行うことが重要です。

本市の学校施設を長期的に使用するため、学校施設の老朽化状況の実態で把握した施設の現状から、今後の改修等によりどの水準まで引き上げるか、施設の部位毎に検討し、学校施設に関する統一的な方針を設定します。

#### 整備水準の設定項目例

整備水準を検討する項目（部位）としては、以下のものが考えられます。

##### （安全面）

- ・内装
- ・外装
- ・非構造部材の耐震対策
- ・防災、防犯対策
- ・事故防止の対策
- ・アスベストの対策

##### （機能面）

- ・設備（空調，給排水等）
- ・学習環境（少人数学習等）
- ・ICT 設備
- ・バリアフリー
- ・トイレの仕様
- ・エレベータの仕様

##### （環境面）

- ・断熱性能
- ・日射遮蔽性能
- ・遮音性能
- ・設備の高効率化
- ・木材利用

<外装の整備水準例>

- ・外壁については、劣化による剥離・落下などが発生すると、児童生徒に危害を加える原因となるばかりでなく、建物の中でも最も人目につきやすい部分であることから、建物の美観に大きく影響するため、安全性、景観的にも劣化はできる限り軽度に抑え、重度の劣化発生の未然防止を図ります。

樹脂製塗装

基本的には、ひび割れ・浮き・剥落などが発生する前に定期的な塗装塗り直しを行います。塗り直しの目安としてはチョーキング（粉が吹いたような状態）が生じた段階などで検討します。

モルタルまたはタイル仕上げ

モルタル、タイルにひび割れが発生しているのみの場合は、エポキシ樹脂等の注入あるいはアンカーピンによる躯体への固定を図ります。

広範囲でモルタル、タイルに浮き・剥落が生じている場合はその箇所を張替えます。



樹脂製塗絵のチョーキング



モルタルの浮き・剥落

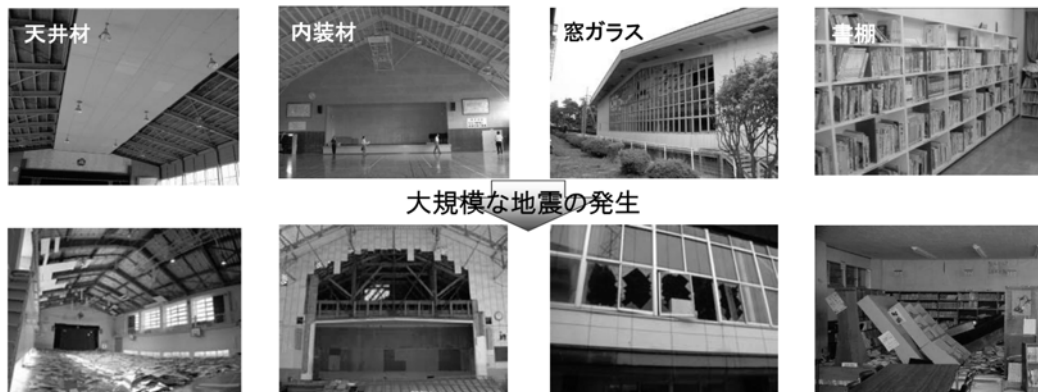
劣化の程度別補修・改修方法例（資料：「学校施設の長寿命化改修の手引」）

項目	軽度	中度	重度
劣化状況	・タイル単体浮きやタイル目地のひび割れが見られる。著しい機能低下はない。	・打診等によりタイルあるいはタイル下地の面的な浮きが確認できる。躯体のひび割れによるタイルのひび割れが見られる。	・タイルあるいはモルタル下地の欠損・落下が発生している。
主な適用技術	・張替工法(部分) ・アンカーピンニング 注入併用工法	・張替工法(部分) ・アンカーピンニング 注入併用工法	・張替工法(全面) ・アンカーピンニング 注入併用工法 ・外壁複合改修工法
補修範囲等	・タイル単体での補修	・面的なタイルの補修	・外壁タイル面積の30%～全面補修

### <非構造部材の耐震対策例>

・震災における学校施設の非構造部等（建物全体の構造設計・構造計算の対象になる構造体以外の部材で設備機器や家具等を含める。）は、構造体が致命的な被害に至らない場合であっても、落下・転倒・移動により児童生徒に多大な障害を与える可能性があることから、それらの耐震化を図ります。

非構造部の地震被害例（資料：学校施設の非構造部材の耐震化ガイドブック）



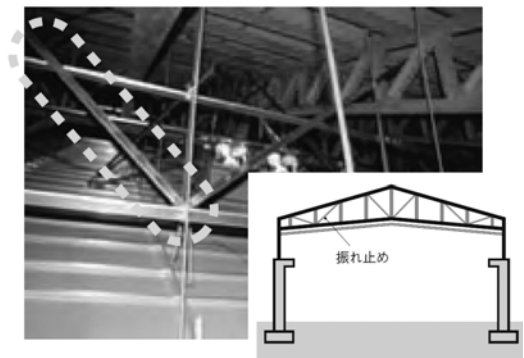
#### 天井材

吊ボルトを適切な間隔で設置し支持材に緊結します。

両方向に振れ止めを設置します。

天井材端部と壁面間に一定のクリアランスを確保します。

天井材のずれ・ひび割れ・水漏れ跡等を確認します。



#### 内装材

高所のモルタル仕上げは避けます。

大面積の壁等の設置は避けます。

壁面のひび割れ・剥落・欠損等を確認します。

タイル、ボードなど仕上材のはらみ・ずれ等を確認します。

## 窓ガラス

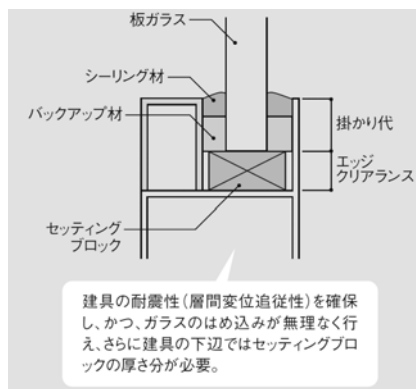
地震時にガラスが損傷するような拘束を生じないように、建具の溝の寸法が十分にあり、ガラスの掛かり代とエッジクリアランスを確保します。

はめごろし窓の固定に硬化性パテが使用されている場合、あるいはクッション材が硬化している場合は、弾性シーリング材に改修します。

ガラスが割れた場合でも飛散しないようガラス飛散防止フィルムを貼ります。

ガラス面のひび割れ、建具等のゆがみ等を確認します。

ガラス破片等が落下する位置への植栽を設置します。



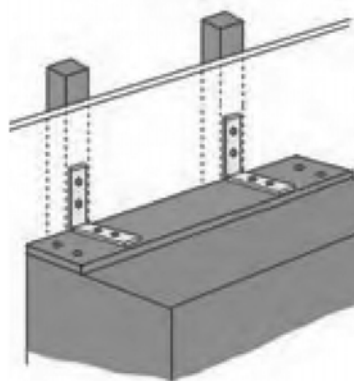
ガラスの掛かり代エッジクリアランス



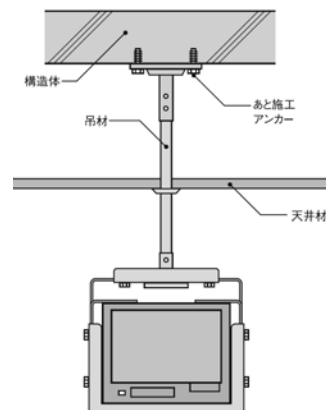
ガラス飛散防止フィルムの貼付

## 書棚等家具

書棚やロッカー、取り付けスピーカー、エアコン、室外機、テレビ台、パソコン、薬品棚など、地震による転倒、落下、移動などの危険があるものに対しては、真柱への固定、棚同士の緊結、収納物の飛び出し防止、転倒・落下防止策等を適切に講じます。



L字金物による固定イメージ



天吊テレビの取り付けイメージ

## < 防災・防犯対策例 >

- ・災害発生時の避難場所としての役割を担う学校施設は、基本的な耐震化を前提に、避難所としての機能充実が求められます。

### 施設の耐震性など安全性の確保

学校施設の耐震性を維持するとともに、天井等の内外装材や設備機器、家具等の非構造部材等についても、地震等の災害時に備えた点検を実施し、必要な安全対策を講じていきます。

### 避難所として施設に必要な諸機能の確保

災害時に地域住民の避難生活や避難所の運営に必要なスペースを確保するとともに、ライフラインが被災した場合に備え、トイレ、電気・水・ガス、情報伝達手段等の機能を保持するための対策や、避難住民に対する健康で衛生的な室内環境の確保、バリアフリー化などの適切な要援護者対策等を行うことが重要です。特に屋内運動場については、多くの避難者の利用が想定されることから十分な対策を講じます。



マンホールトイレの設置例



普段は駐輪場や備蓄倉庫として利用できる災害用トイレ設置例



屋内運動場への接続用端子盤設置例



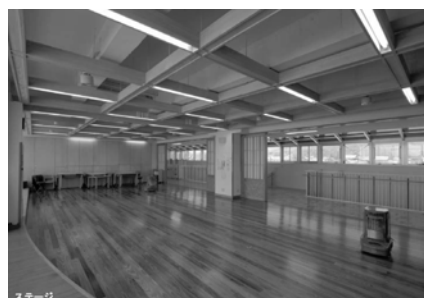
応急給水栓の設置例

< 学習環境例 >

- ・長寿命化は単に施設の延命を図るのみでなく、質的・機能的向上を目指すものであることを踏まえ、より多様な学習・学習形態による活動が可能となるよう、長寿命化改修にあわせて余裕教室等の空きスペースの活用も検討します。
- ・少人数指導や発表・討論の場などに活用できる多目的スペース、特別教室の高度化、図書室機能の充実など、学校の特性や児童生徒の利用・利便性等を考慮しながら適切な改修を図ります。



少人数指導に対応可能な改修例



間仕切壁を撤去して設けられた多目的スペース例



校舎の中心に図書室を再配置した改修例



新たにメディアセンターを配置した改修例

< 断熱性能例 >

- ・ 児童生徒が快適な環境の中で学習できるよう、教室内の温熱環境を改善することが求められます。
- ・ 先ず教室内の断熱効果を高めるため、外気に直接接する窓の断熱効果を高めることが効果的です。さらに、廊下側と教室との間にある窓、パーティション、壁の断熱化を図ります。
- ・ 断熱効果を高めるため、ペアガラス、高气密のサッシ、断熱材を入れた腰壁などの設置を図り断熱効果の向上を図ります。
- ・ 校舎全体の場合、壁面の断熱化が最も効果が高いですが、改修規模が大きくなることやコスト等のバランスを考慮しながら検討するものとしします。また、その際には断熱効果が高く室内への影響がほとんどない外断熱改修が効果的です。



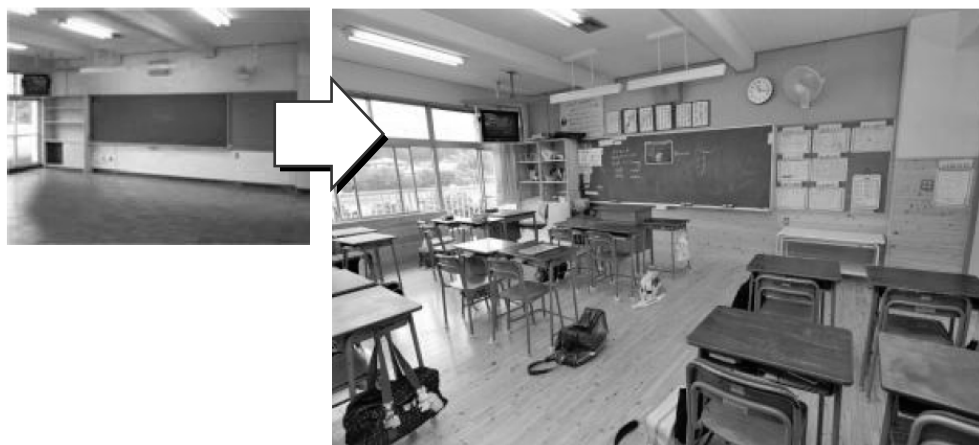
腰壁への断熱化



外断熱改修例

< 木材利用例 >

- ・長寿命化改修にあわせ、内装の木質化を図ります。
- ・木材を採用することにより、児童生徒への心理的効果、調湿作用による快適な学習環境の形成など豊かな教育環境づくりへの効果が期待できます。
- ・内装の木質化には一般的な塗装やクロス張り仕上げに比べ、コストが高くなる傾向にあるため、改修全体のバランスや間伐材等の使用によるコスト縮減に努めます。
- ・木材調達から施工の各過程において、児童生徒や地域住民などが参加したり、児童生徒の学習題材としての活用を図ります。



改修による内装木質化の例



## 5-2 維持管理の手法等

学校施設については、全体的に築年数が古いものが多く、長寿命化等の改修のみではなく、築年数の浅いものも含め、日常的な維持管理を適切に実施していくことが、効果的な施設の長寿命化に繋がります。

そのことを念頭に、以下に維持管理の手法について基本的な考え方を示します。

### 1) 日常的な点検・清掃

- ・施設を未永く使用していくための基本的事項として、日常的な点検及び清掃は必要不可欠であり、衛生面からも重要です。
- ・児童生徒による清掃活動を継続的に推進していくとともに、教員による破損、老朽化の点検活動を促進します。



日常的な清掃活動

### 2) 定期的な保守点検

- ・日常的な点検や清掃では対応しきれない躯体、設備等に係る保守点検については、専門業者に委託しながら定期的な保守点検を行います。



専門業者による定期的な点検

### 3) 点検結果の蓄積

- ・特に定期的な保守点検の結果については、点検経緯等を含め、点検箇所、今後の修繕等の必要性やコスト等をデータ化し、担当課及び学校双方で情報を共有化し、効率的な維持管理を図ります。

点検結果等データ整理イメージ

学 校 名	小学校					
点 検 業 者	業 者 名	会社(担当者: )				
	住 所	小山市	連 絡 先	-		
点 検 年 月 日	点 検 箇 所	点 検 内 容	点 検 結 果	修 繕 等 の 必 要 性	費 用	備 考
平成 年 月 日	階 トイレ配管	水 漏 れ 点 検	水 漏 れ 箇 所 な し	無 し	円	錆 等 発 生 あ り

## 6 長寿命化の実施計画

### 6-1 長寿命化に向けた基本的考え方

#### 1) 長寿命化改修(\*1)の対象

学校施設の保有状況等において整理したとおり、本市は多くの小中学校が立地する中、経年的な老朽化等から、安全・快適な児童生徒の学習・生活の場の確保が課題として挙げられています。

しかしながら、健全度等の結果を踏まえたとしても、全ての学校施設について、長寿命化改修を実施していくことは、財政的にも費用対効果的にも現実的ではないと考えられます。

そのため、本計画において長寿命化改修を図るべき学校施設について、以下に示す一定の条件のもと絞り込みを行い、現実的かつ効果的な長寿命化を図っていくこととします。

一方、長寿命化改修の対象とならないものについては、大規模改造(\*2)や部位修繕(\*3)等により、目標耐用年数まで延命化を図るものとします。

(\*1)長寿命化改修：**建物全体**について、単に物理的な不具合を直すのみではなく、現在の学校が求められている水準まで**機能向上**させることを言います。

(\*2)大規模改造：**建物全体**について、一定の年数が経過することにより通常発生する学校建物の損耗、機能低下に対し、従来有していた施設の機能を**原状回復**することを言います。

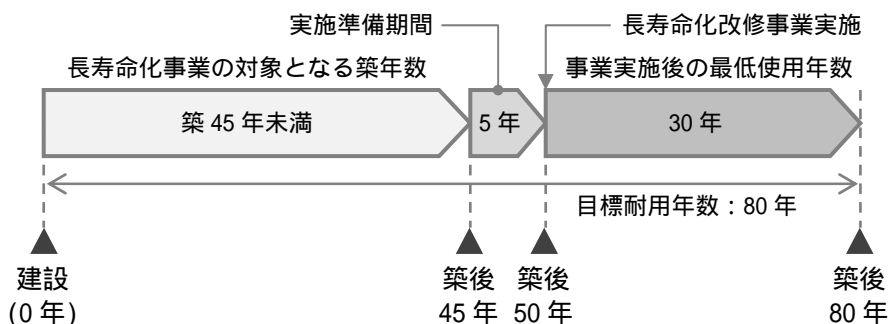
(\*3)部 位 修 繕：劣化・不具合が発生した**建物の一部分**について、修理や取り替えなどの処置を行い、問題部分の性能や機能を**原状回復**させることを言います。

#### (1) 規模

学校施設のうち、増築等により建設された特別教室棟や武道場などについては、規模の小さなものが多く、長寿命化改修のスケールメリットが得られず、対費用効果が低くなることから、延べ床面積500㎡以上の施設を長寿命化改修の対象とします。

#### (2) 築年数

長寿命化改修事業を実施した後、目標耐用年数80年に至るまでの30年間は使用することが求められるほか、事業実施までは、詳細調査、改修設計、補助申請、予算措置、各種調整等の一定の準備期間（5年程度）が必要となることから、築年数45年未満の施設を長寿命化改修の対象とします。



### (3) 耐震等安全性

児童生徒の安全な学習・生活環境を確保するためには、建築物としての耐震性及び安全性の確保は必要不可欠です。

そのため新耐震基準（昭和56年6月1日に建築基準法及び同施行令の大改正が行われた耐震基準）により建設された施設に加え、それ以前の旧耐震のもので耐震補強工事を実施している、又は耐震診断で耐震性を満たしているもの、及び十分な躯体の強度が確保されている（コンクリート圧縮強度が $13.5\text{N/mm}^2$ 以上）ものを、長寿命化改修の対象とします。

### (4) その他の取り扱いについて

長寿命化改修事業の対象とならない築45年以上経過している施設で、上記の耐震等安全性が確保されているものは、大規模改造による延命化を図り、目標耐用年数までの使用を図るものとします。

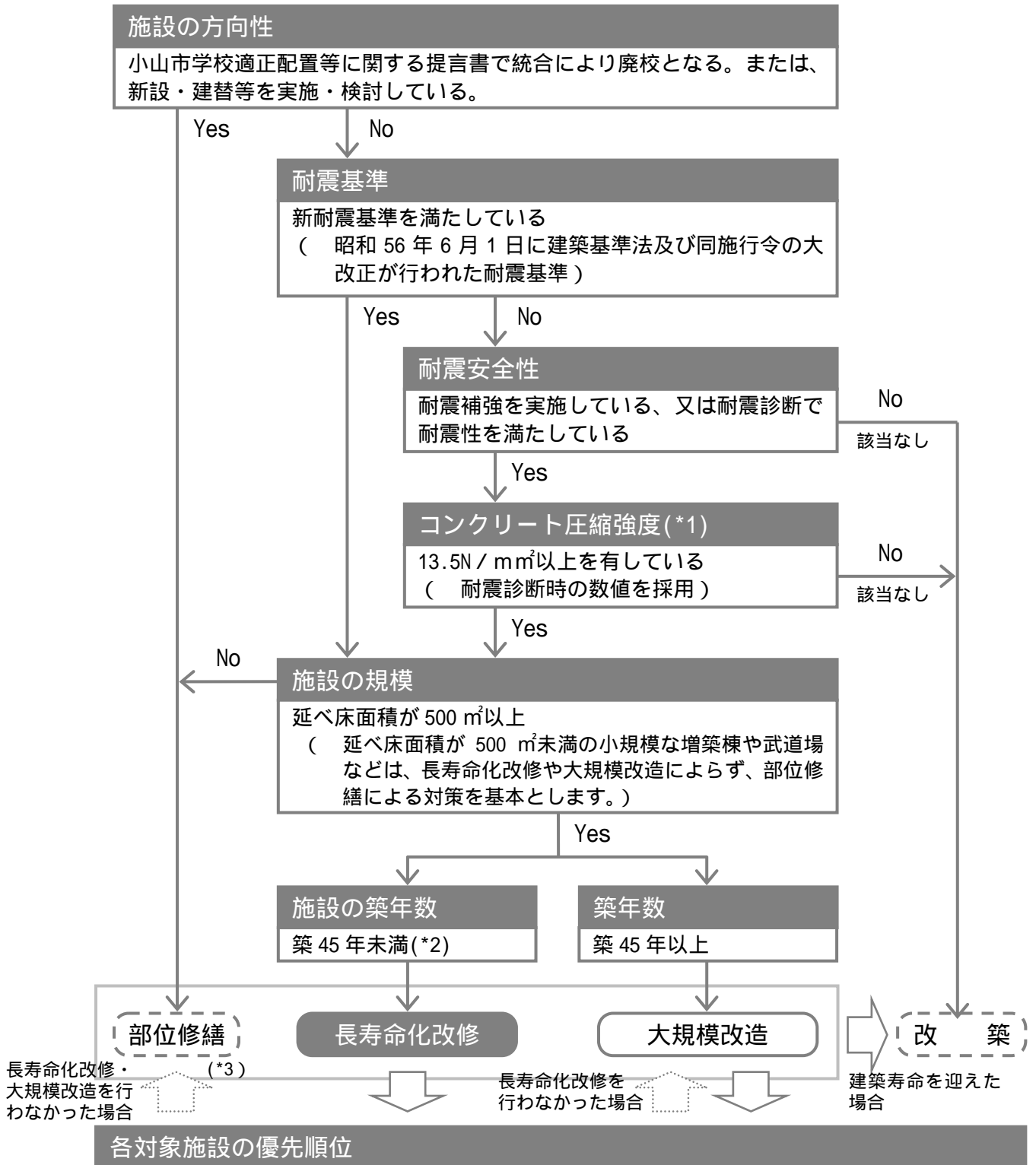
なお、築45年以上が経過し、耐震性等が確保できない学校施設は本市において立地しないことから、改築の対象はありません。（ただし、統廃合等により新設する場合は、別途必要な計画等を策定・検討しながら実施していくものとします。）

また、長寿命化改修あるいは大規模改造の対象となる学校施設についても、市全体の学校適正配置の考え方、対象施設内での築年数比較、実態調査等による劣化状況・健全度及び都度の緊急性等を総合的に勘案した結果、長寿命化改修あるいは大規模改造に至らない施設については、必要な部位修繕を実施しながら、学校施設の適正な維持管理を図っていくものとします。

## 2) 長寿命化の判定フロー

1) に示した各種考え方に基づく長寿命化の判定フローを次頁に示します。

## 長寿命化の判定フロー



(\*1) コンクリートがどれだけの力(重さ)に耐えられるかを示すもので、その値が13.5N/mm<sup>2</sup>未満の場合、コンクリートの強度が著しく低く、建物の耐震性能が適切に評価できず、長寿命化に適さないこととなります。

(\*2) 目標耐用年数80年 - 長寿命化改修後の使用最低年数要件30年 - 実際の長寿命化改良事業開始までの詳細調査、設計期間等5年 = 45年(ただし、10年間ごとの整備計画等の見直しに合わせて、必要に応じて見直す)

(\*3) 延べ床面積が500m<sup>2</sup>未満あるいは、優先順位の検討から、長寿命化改修及び大規模改造いずれも対象とならない施設については、劣化状況・健全度及び都度の緊急性等を総合的に勘案し、適宜適切に実施していくものとなります。

## 6-2 改修等の優先順位の位置づけ

改修等の優先順位の検討にあたっては、長寿命化に向けた基本的考え方に基づき、学校施設の規模によって改修等の対象かどうかを判定するとともに、築年数によって、整備時期・内容を位置付ける必要があります。そのため、規模、築年数、学校適正配置の考え方を踏まえ、築年数のグループを以下のA～Fの6つに分類するとともに、それぞれのグループの整備時期・方針を以下のように整理します。

規模・築年数等に応じた整備時期・方針（校舎）

[ ]内の数字は築年数、( )内の名称は棟名（棟名の記載のないものは全棟）

整備時期	令和2年度 (2020)	7年度 (2025)	12年度 (2030)	17年度 (2035)	22年度 (2040)	27年度 (2045)	32年度 (2050)	37年度 (2055)	41年度 (2059)
Aグループ	築50年以上	大規模改造							
	築45～50年未満	大規模改造				改築			
B	築40～45年未満	長寿命化改修		大規模改造					
	築35～40年未満	長寿命化改修		大規模改造 ※長寿命化改修を行わなかった建物が対象			改築		
C	築30～35年未満			長寿命化改修	大規模改造				
	築25～30年未満			長寿命化改修	※長寿命化改修を行わなかった建物が対象				
D	築20～25年未満				長寿命化改修		大規模改造		
	築15～20年未満				長寿命化改修		※長寿命化改修を行わなかった建物が対象		
E	築10～15年未満							長寿命化改修	
	築5～10年未満							長寿命化改修	
F	築5年未満								
—	—	統合により豊田地区新設小学校を建設予定							
—	—	学校適正配置により統合を進めている為、計画決定次第、整備内容を追記							
—	—	学校適正配置の検討対象校の為、計画を進めた後、整備方針を追記							

面積が500㎡以下の豊田中（技術室）、大谷中（技術教室） 萱橋小（特別教室棟（東棟）） 小山第三中（技術教室棟） 小山城北小（教室棟（北棟）） 桑中（技術教室棟） 寒川小（特別教室棟（南棟）） 小山第三中（東教室（東棟）） 絹義務教育【西校舎】（技術棟（北棟））は部位修繕対象となるため省略



規模・築年数等に応じた整備時期・方針（屋内運動場）

[ ]内の数字は築年数

整備時期	令和2年度 (2020)	7年度 (2025)	12年度 (2030)	17年度 (2035)	22年度 (2040)	27年度 (2045)	32年度 (2050)	37年度 (2055)	41年度 (2059)
Aグループ	築50年以上	大規模改造					改 築		
	築45～50年未満								
B	築40～45年未満	長寿命化改修			大規模改造 ※長寿命化改修を行わなかった建物が対象			改 築	
	築35～40年未満								
C	築30～35年未満			長寿命化改修	大規模改造				
	築25～30年未満				※長寿命化改修を行わなかった建物が対象				
D	築20～25年未満				長寿命化改修	大規模改造			
	築15～20年未満					※長寿命化改修を行わなかった建物が対象			
E	築10～15年未満						長寿命化改修		
	築5～10年未満								
F	築5年未満								
—	—	・豊田南小 [41] 豊田北小 [41]		統合により豊田地区新設小学校を建設予定					
—	—	・乙女小 [41] 網戸小 [36] 下生井小 [34]		学校適正配置により統合を進めている為、計画決定次第、整備内容を追記					
—	—	・寒川小 [42] 穂積小 [20] 中小 [33]		学校適正配置の検討対象校の為、計画を進めた後、整備方針を追記					

面積が500㎡以下の豊田中（講堂） 桑中（武道場） 小山第三中（武道場） 絹義務教育【西校舎】（武道場） 大谷中（武道場） 小山中（武道場） 小山第二中（武道場） 間々田中（武道場） 美田中（武道場） 小山第三中（柔道場）は部位修繕対象となるため省略





## 2) 学校施設の健全度や予算状況を踏まえた優先順位の検討

長寿命化計画の策定にあたっては、国の長寿命化改良事業や大規模改造等の地方財政措置等を最大限に活用するため、それらの補助金の条件を前提としながら、学校適正配置を念頭に置きつつ、学校施設の築年数、劣化状況、児童生徒の滞在時間などの学校施設の現況を踏まえ、優先順位を検討します。

### 【A】長寿命化改修の優先順位の考え方

長寿命化に関連する項目		優先順位			
		高	中	低	対象外
学校適正配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統合により存続する（小中一貫校を含む）</li> <li>・統合せずに存続する</li> <li>・統合により新設・建替等を実施・検討している</li> <li>・統合により廃校となる</li> </ul>				
築年数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・築年数が45年以上である</li> <li>・築年数が40年以上45年未満である</li> <li>・築年数が40年未満である</li> </ul>				
劣化状況・健全度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・劣化状況の評価が低い</li> </ul> （全体的に劣化状況の評価が低く、雨漏り、外壁の剥がれ等が多数発生している）				
滞在時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の滞在時間が長い（普通教室等）</li> <li>・児童生徒の滞在時間が短い（特別教室等）</li> </ul>				

### 【B】大規模改造の優先順位の考え方

大規模改造に関連する項目		優先順位			
		高	中	低	対象外
学校適正配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統合により存続する（小中一貫校を含む）</li> <li>・統合せずに存続する</li> <li>・統合により新設・建替等を実施・検討している</li> <li>・統合により廃校となる</li> </ul>				
築年数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・築年数が45年以上経過している</li> <li>・築年数が40年以上45年未満である</li> <li>・築年数が40年未満である</li> </ul>				
劣化状況・健全度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・劣化状況の評価が低い</li> </ul> （全体的に劣化状況の評価が低く、雨漏り、外壁の剥がれ等が多数発生している）				
滞在時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の滞在時間が長い（校舎等）</li> <li>・児童生徒の滞在時間が短い（特別教室等）</li> </ul>				
学校規模	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年単学級校ではない</li> </ul> （一定の整備効果を得られる）				



### 6-3 改修の実施計画

#### 1) 計画期間における長寿命化改修及び大規模改造等の実施計画

計画期間（40年間）における長寿命化改修及び大規模改造の整備計画、並びに概算費用については、長寿命化に向けた基本的考え方や改修等の優先順位の位置づけ、市の財政状況、学校施設の一体性や整備の効率性等の諸条件を総合的に鑑み、対象外の建物や築年数の浅い建物を除く全棟で整備を行うことを基本として、次のように設定します。

ただし、計画第1期以降の整備対象については、計画の改定時に再検討することとします。

計画期間における長寿命化改修及び大規模改造等の実施計画

単位：億円

整備時期		令和2年度 2020	7年度 2025 計画第1期	12年度 2030	17年度 2035 計画第2期	22年度 2040	27年度 2045 計画第3期	32年度 2050	37年度 2055 計画第4期	41年度 2059	合計	
グループ	築年数	学校名										
Aグループ	築50年以上	・小山第一小 [51-52] ・大谷南小 (管理教室棟、屋内運動場) [50] ・旭小 (増築校舎以外) [47-48]										128.6
	築45～50年未満	・大谷北小 [48] ・小山第二小 [46-47] ・大谷東小 (特別教室棟、屋内運動場) [45] ・小山第二中 (特別教室棟、屋内運動場) [45]										
Bグループ	築40～45年未満	・小山城東小 [43] ・羽川西小 [43] ・豊田中 (技術室以外) [40-41] ・間々田小 (普通教室棟、屋内運動場) [40] ・小山第三中 (管理教室棟、特別教室棟、屋内運動場) [40] ・間々田中 [40]										267.6
	築35～40年未満	・小山第三小 [39] ・小山中 [39] ・小山城南小 (特別教室棟、普通教室棟、屋内運動場) [38] ・羽川小 [38] ・小山城北小 (校舎棟、屋内運動場) [37] ・菅橋小 (管理及び普通教室棟、屋内運動場) [37] ・桑中 (特別教室棟、普通教室棟、屋内運動場) [37] ・若木小 [36] ・間々田東小 [36] ・大谷中 (教室棟、屋内運動場) [35]										
Cグループ	築30～35年未満	・小山城南中 (校舎棟A、屋内運動場) [33] ・絹義務教育【東校舎】 [33] ・小山第二中 (校舎棟) [32] ・乙女中 [32]										49.0
	築25～30年未満	・小山城南小 (普通・特別教室棟) [27] ・絹義務教育【西校舎】 (校舎棟、屋内運動場) [27] ・間々田小 (管理普通教室棟) [26]										
Dグループ	築20～25年未満	・大谷南小 (教室棟) [24]										13.4
	築15～20年未満	・小山城南小 (特別教室棟) [19] ・小山城南中 (校舎棟B) [15] ・美田中 [15]										
Eグループ	築10～15年未満	・旭小 (増築校舎) [12]										8.0
	築5～10年未満	・大谷東小 (管理教室棟) [8]										
Fグループ	築5年未満	・大谷東小 (管理普通教室棟) [4] ・東城南小 [1]										20.0
—	—	・豊田南小 [44]、豊田北小 [46-47]										
—	—	・乙女小 [45]、網戸小 [36]、下生井小 [34]										20.0
—	—	・寒川小 [50]、穂積小 [42]、中小 [42]										
新築 合計			20.0								20.0	
改築 合計							86.9		147.9		234.8	
長寿命化改修 合計			55.5		49.0		13.4		8.0		125.8	
大規模改造 合計			41.7		64.2						105.9	
施設整備費 合計			117.2		113.2		100.3		155.9		486.6	

【凡例】 赤字 … 長寿命化改修概算費用  
 青字 … 大規模改造概算費用  
 緑字 … 改築概算費用  
 紫字 … 新築概算費用  
 [数字] … 築年数

（名称） … 長寿命化改修実施予定※  
 … 大規模改造実施予定※  
 … 改築予定※  
 … 新築工事中  
 … 棟名 (棟名の記載のないものは全棟)



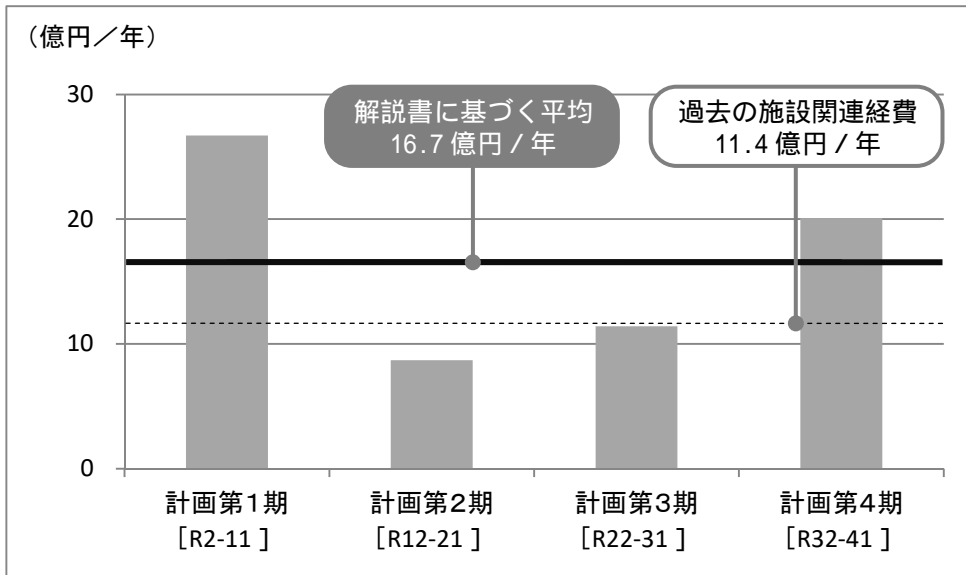
## 2) 維持・更新コストの圧縮・平準化

長寿命化の判定フローや実施計画に基づき、費用を圧縮・平準化した場合、計画期間（40年間）における維持・更新コストは「約12.2億円/年」となり、文部科学省の「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成29（2017）年）」に基づく長寿命化型の年間のコストである「約16.7億円/年」から約4.5億円/年の圧縮が見込まれ、投資的経費（施設関連経費の5年間の平均）の11.4億円程度に抑えることが可能となります。

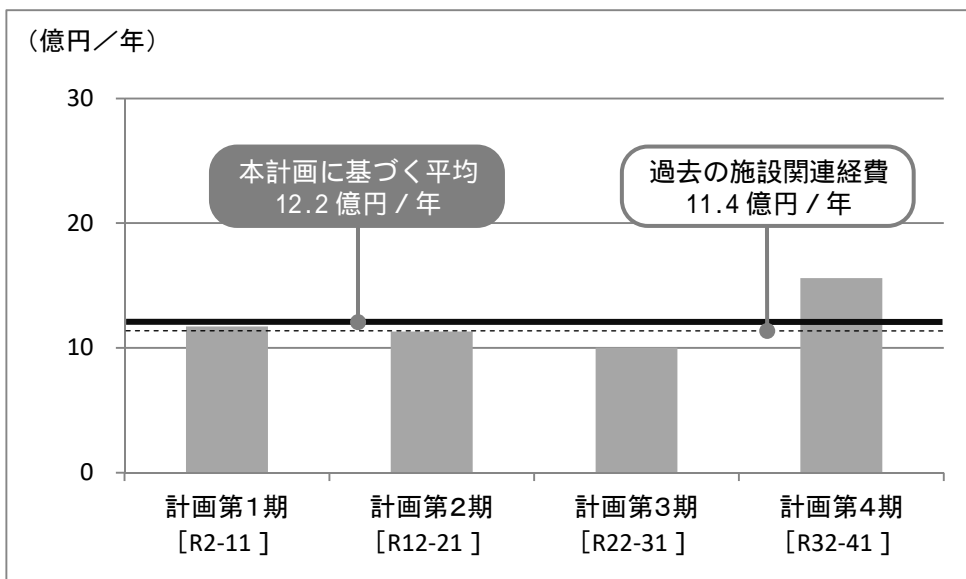
また、令和11（2029）年度までに集中していた長寿命化改修を均等に分散させ、10年間ごとの概算費用を平準化させることが可能となります。

維持・更新コストの圧縮・平準化

【「長寿命化計画策定に係る解説書」に基づく長寿命化型のコスト】



【本計画に基づく長寿命化型のコスト】



## 6-4 学校施設別の整備方針

学校施設の長寿命化にあたっては、市全体だけでなく、学校施設ごとの運営状況・活用状況や、構造躯体の健全性、躯体以外の劣化状況、整備方針等を把握する必要があることから、ここでは学校施設別の整備方針について整理します。

学校施設別の整備方針の対象と対応ページ

	学校名	ページ		学校名	ページ
小 - 1	小山第一小学校	60	小 - 2 0	豊田北小学校	98
小 - 2	小山第二小学校	62	小 - 2 1	穂積小学校	100
小 - 3	小山第三小学校	64	小 - 2 2	中小学校	102
小 - 4	小山城南小学校	66	小 - 2 3	羽川小学校	104
小 - 5	旭小学校	68	小 - 2 4	羽川西小学校	106
小 - 6	小山城北小学校	70	小 - 2 5	萱橋小学校	108
小 - 7	若木小学校	72	中 - 1	小山中学校	110
小 - 8	東城南小学校	74	中 - 2	小山第二中学校	112
小 - 9	小山城東小学校	76	中 - 3	小山第三中学校	114
小 - 1 0	大谷東小学校	78	中 - 4	小山城南中学校	116
小 - 1 1	大谷南小学校	80	中 - 5	大谷中学校	118
小 - 1 2	大谷北小学校	82	中 - 6	間々田中学校	120
小 - 1 3	間々田小学校	84	中 - 7	乙女中学校	122
小 - 1 4	乙女小学校	86	中 - 8	豊田中学校	124
小 - 1 5	間々田東小学校	88	中 - 9	美田中学校	126
小 - 1 6	下生井小学校	90	中 - 1 0	桑中学校	128
小 - 1 7	網戸小学校	92	義 - 1	絹義務教育学校(東校舎)	130
小 - 1 8	寒川小学校	94	義 - 2	絹義務教育学校(西校舎)	132
小 - 1 9	豊田南小学校	96	—	—	—

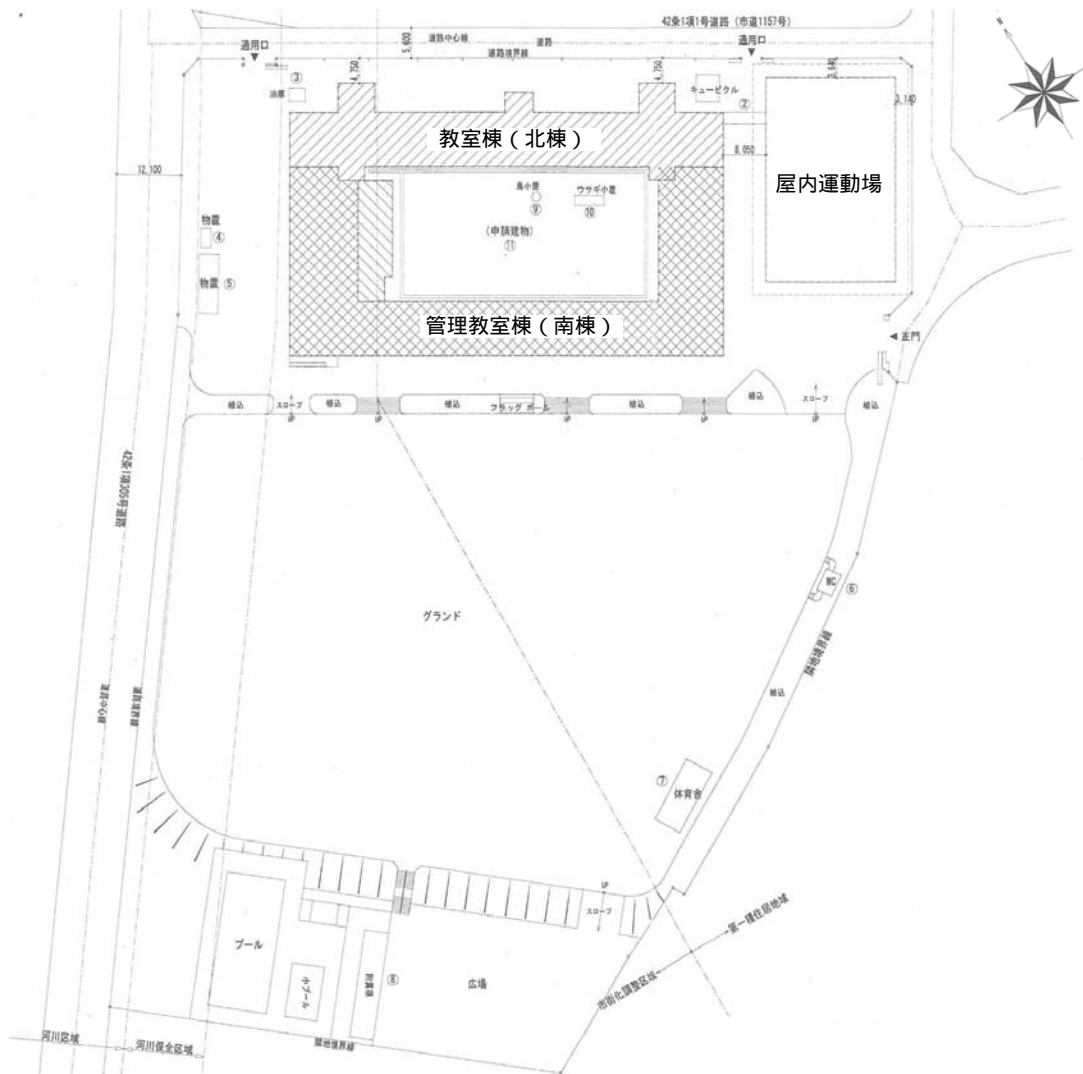
小一 1 小山第一小学校

学校施設の運営状況・活用状況等



所在地	宮本町 1-3-1	
設置年度	明治 6 年	
児童数	295 人	
学級数	16 学級	
敷地面積	建物敷地	8,815 m <sup>2</sup>
	運動敷地	13,407 m <sup>2</sup>
	計	22,222 m <sup>2</sup>

配置図





### 構造躯体の健全性

建物の種類	建物名	構造	階数	延床面積	建築年度		築年数	耐震安全性		
					西暦	和暦		基準	診断	補強
校舎	管理教室棟（北棟）	RC	4	3,323	1969	S44	51	旧	済	済
	教室棟（南棟）	RC	4	3,074	1968	S43	52	旧	済	済
体育館	屋内運動場	RC	3	1,355	1976	S51	44	旧	済	済

構造：S = 鉄骨造、RC = 鉄筋コンクリート造、W = 木造

### 躯体以外の劣化状況

建物の種類	建物の名称	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
校舎	管理教室棟（北棟）	C	A	B	B	B	79
	教室棟（南棟）	B	B	B	B	B	75
体育館	屋内運動場	B	B	A	B	B	84

### 整備方針

建物の種類	建物の名称	築年数のグループ	整備方針
校舎	管理教室棟（北棟）	A（50年以上）	大規模改造[R2-11]
	教室棟（南棟）	A（50年以上）	大規模改造[R2-11]
体育館	屋内運動場	B（40～45年未満）	長寿命化改修[R2-11]

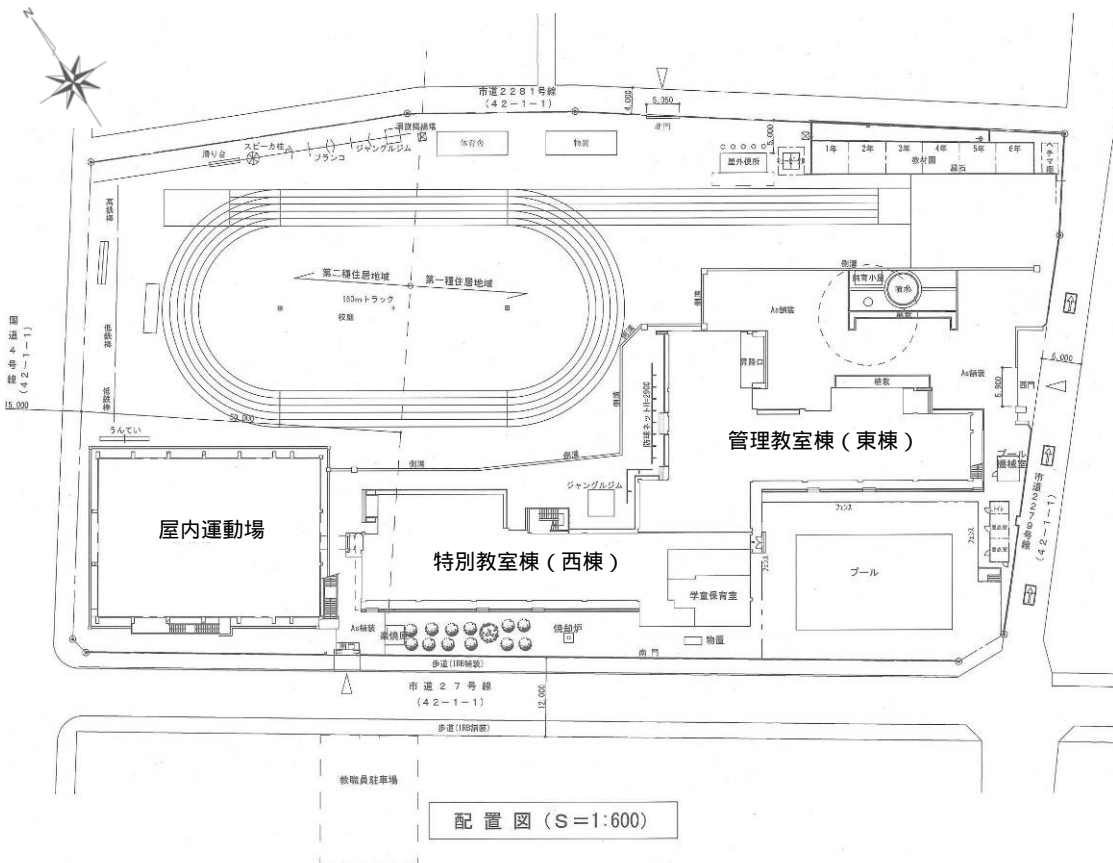
小一2 小山第二小学校

学校施設の運営状況・活用状況等



所在地	宮本町 2-9-20	
設置年度	明治 37 年	
児童数	167 人	
学級数	8 学級	
敷地面積	建物敷地	4,460 m <sup>2</sup>
	運動敷地	5,944 m <sup>2</sup>
	計	10,404 m <sup>2</sup>

配置図



### 構造躯体の健全性

建物の種類	建物名	構造	階数	延床面積	建築年度		築年数	耐震安全性		
					西暦	和暦		基準	診断	補強
校舎	管理教室棟（東棟）	RC	3	2,155	1973	S48	47	旧	済	済
	特別教室棟（西棟）	RC	3	1,475	1974	S49	46	旧	済	済
体育館	屋内運動場	RC	3	939	1978	S53	42	旧	済	済

構造：S = 鉄骨造、RC = 鉄筋コンクリート造、W = 木造

### 躯体以外の劣化状況

建物の種類	建物の名称	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度
校舎	管理教室棟（東棟）	A	B	B	B	B	77
	特別教室棟（西棟）	A	B	B	B	B	77
体育館	屋内運動場	A	A	A	B	B	94

### 整備方針

建物の種類	建物の名称	築年数のグループ	整備方針	
校舎	管理教室棟（東棟）	A（45～50年未満）		<b>大規模改造[R2-11]</b> <b>大規模改造[R2-11]</b> <b>長寿命化改修[R2-11]</b>
	特別教室棟（西棟）	A（45～50年未満）		
体育館	屋内運動場	B（40～45年未満）		

小一3 小山第三小学校

学校施設の運営状況・活用状況等



所在地	神鳥谷 2-9-20	
設置年度	昭和 56 年	
児童数	284 人	
学級数	15 学級	
敷地面積	建物敷地	9,305 m <sup>2</sup>
	運動敷地	13,200 m <sup>2</sup>
	計	22,505 m <sup>2</sup>

配置図



### 構造躯体の健全性

建物の種類	建物名	構造	階数	延床面積	建築年度		築年数	耐震安全性		
					西暦	和暦		基準	診断	補強
校舎	普通教室棟（南棟）	RC	3	1,788	1981	S56	39	旧	済	不要
	管理教室棟（北棟）	RC	3	1,576	1981	S56	39	旧	済	不要
体育館	屋内運動場	S	2	833	1981	S56	39	旧	済	不要

構造：S = 鉄骨造、RC = 鉄筋コンクリート造、W = 木造

### 躯体以外の劣化状況

建物の種類	建物の名称	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
校舎	普通教室棟（南棟）	A	B	B	B	B	77
	管理教室棟（北棟）	A	B	B	B	B	77
体育館	屋内運動場	A	A	A	B	B	94

### 整備方針

建物の種類	建物の名称	築年数のグループ	整備方針
校舎	普通教室棟（南棟）	B（35～40年未満）	長寿命化改修[R2-11]
	管理教室棟（北棟）	B（35～40年未満）	長寿命化改修[R2-11]
体育館	屋内運動場	B（35～40年未満）	長寿命化改修[R2-11]

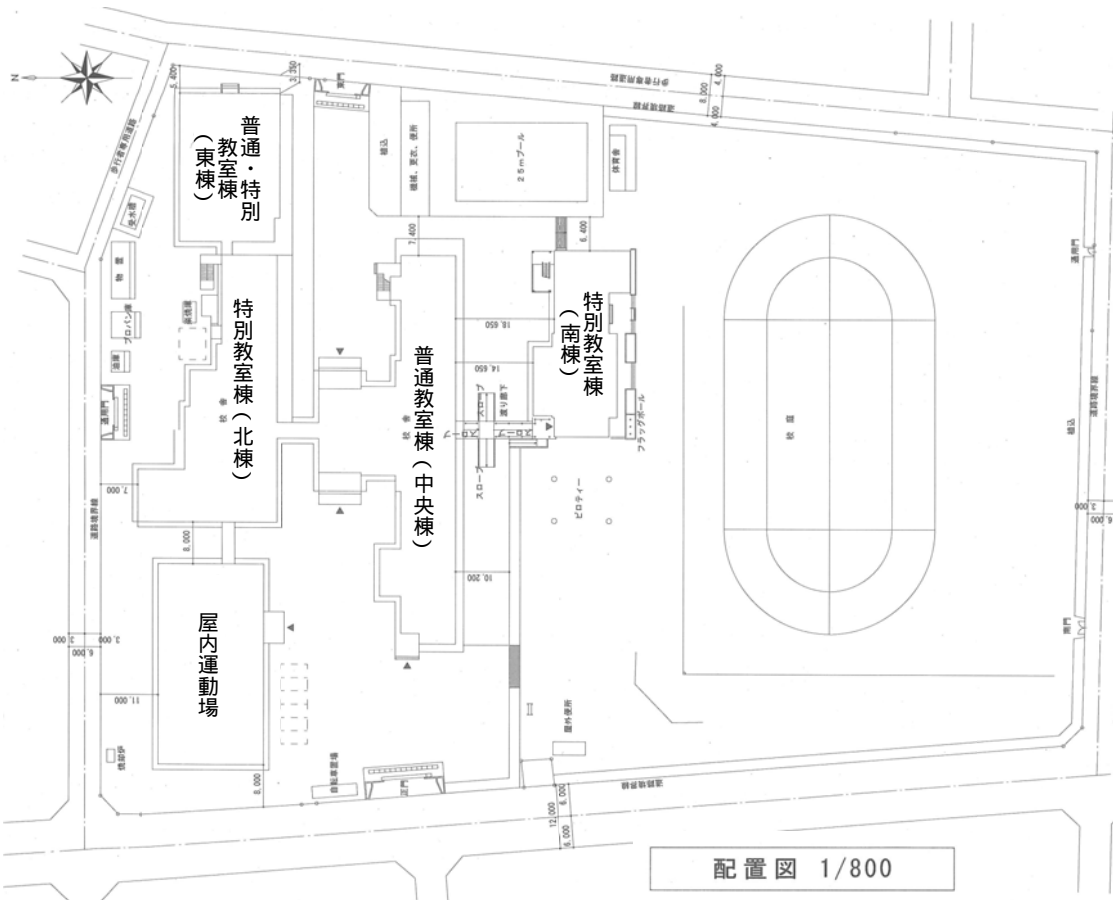
小一4 小山城南小学校

学校施設の運営状況・活用状況等



所在地	西城南 5-29-1	
設置年度	昭和 57 年	
児童数	645 人	
学級数	24 学級	
敷地面積	建物敷地	12,193 m <sup>2</sup>
	運動敷地	11,586 m <sup>2</sup>
	計	23,779 m <sup>2</sup>

配置図



### 構造躯体の健全性

建物の種類	建物名	構造	階数	延床面積	建築年度		築年数	耐震安全性		
					西暦	和暦		基準	診断	補強
校舎	特別教室棟（北棟）	RC	2	1,575	1982	S57	38	新	-	-
	普通・特別教室棟（東棟）	RC	2	898	1993	H5	27	新	-	-
	普通教室棟（中央棟）	RC	2	1,575	1982	S57	38	新	-	-
	特別教室棟（南棟）	RC	2	1,102	2001	H13	19	新	-	-
体育館	屋内運動場	S	2	828	1982	S57	38	新	-	-

構造：S = 鉄骨造、RC = 鉄筋コンクリート造、W = 木造

### 躯体以外の劣化状況

建物の種類	建物の名称	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
校舎	特別教室棟（北棟）	A	B	B	B	B	77
	普通・特別教室棟（東棟）	A	B	B	B	B	77
	普通教室棟（中央棟）	A	A	A	B	B	94
	特別教室棟（南棟）	A	A	A	B	B	94
体育館	屋内運動場	B	A	A	B	B	92

### 整備方針

建物の種類	建物の名称	築年数のグループ
校舎	特別教室棟（北棟）	B（35～40年未満）
	普通・特別教室棟（東棟）	C（25～30年未満）
	普通教室棟（中央棟）	B（35～40年未満）
	特別教室棟（南棟）	D（15～20年未満）
体育館	屋内運動場	B（35～40年未満）

整備方針
長寿命化改修[R2-11]
長寿命化改修[R12-21]
長寿命化改修[R2-11]
長寿命化改修[R22-31]
長寿命化改修[R2-11]

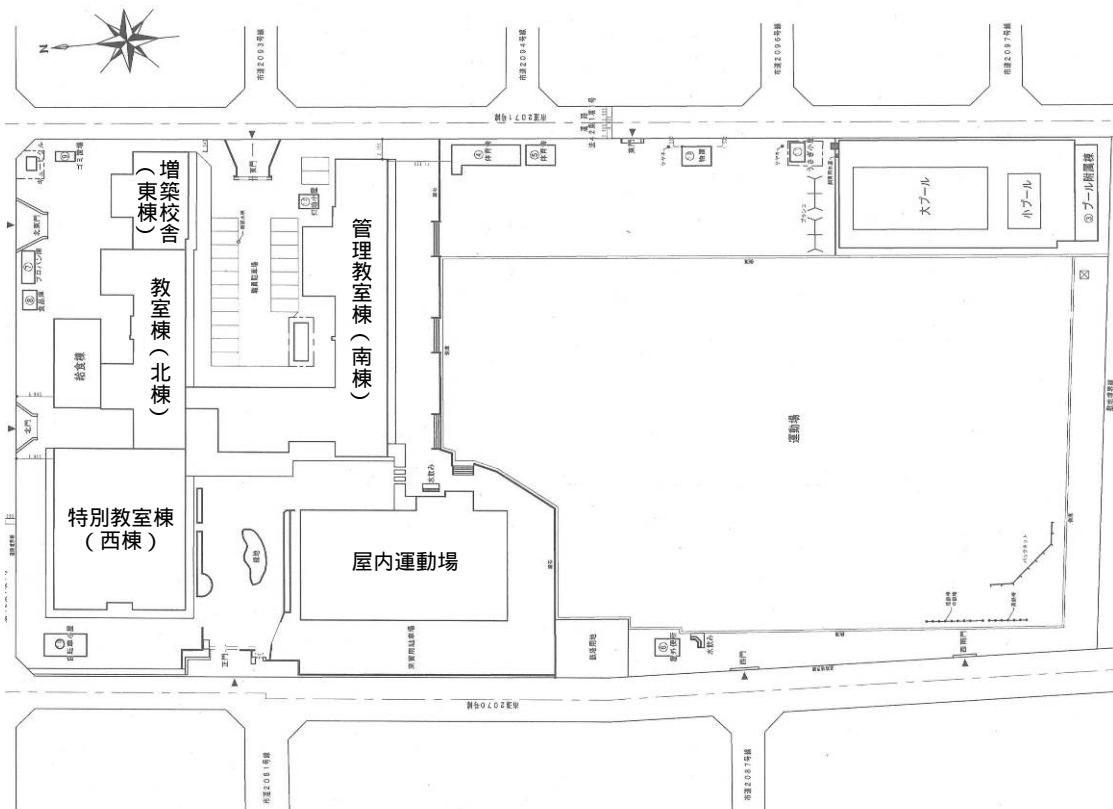
小一5 旭小学校

学校施設の運営状況・活用状況等



所在地	駅南町 5-6-69	
設置年度	昭和 48 年	
児童数	404 人	
学級数	16 学級	
敷地面積	建物敷地	8,838 m <sup>2</sup>
	運動敷地	10,994 m <sup>2</sup>
	計	19,8329 m <sup>2</sup>

配置図





### 構造躯体の健全性

建物の種類	建物名	構造	階数	延床面積	建築年度		築年数	耐震安全性		
					西暦	和暦		基準	診断	補強
校舎	教室棟（北棟）	RC	3	1,323	1972	S47	48	旧	済	済
	特別教室棟（西棟）	RC	2	1,403	1972	S47	48	旧	済	済
	管理教室棟（南棟）	RC	3	2,315	1973	S48	47	旧	済	済
	増築校舎（東棟）	RC	3	598	2008	H20	12	新	-	-
体育館	屋内運動場	S	2	848	1979	S54	41	旧	済	済

構造：S = 鉄骨造、RC = 鉄筋コンクリート造、W = 木造

### 躯体以外の劣化状況

建物の種類	建物の名称	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
校舎	教室棟（北棟）	B	B	B	B	B	75
	特別教室棟（西棟）	B	B	B	B	B	75
	管理教室棟（南棟）	C	B	B	B	B	72
	増築校舎（東棟）	B	A	A	B	B	92
体育館	屋内運動場	B	A	B	B	A	85

### 整備方針

建物の種類	建物の名称	築年数のグループ
校舎	教室棟（北棟）	A（45～50年未満）
	特別教室棟（西棟）	A（45～50年未満）
	管理教室棟（南棟）	A（45～50年未満）
	増築校舎（東棟）	E（10～15年未満）
体育館	屋内運動場	B（40～45年未満）

整備方針
大規模改造[R2-11]
大規模改造[R2-11]
大規模改造[R2-11]
長寿命化改修[R32-41]
長寿命化改修[R2-11]

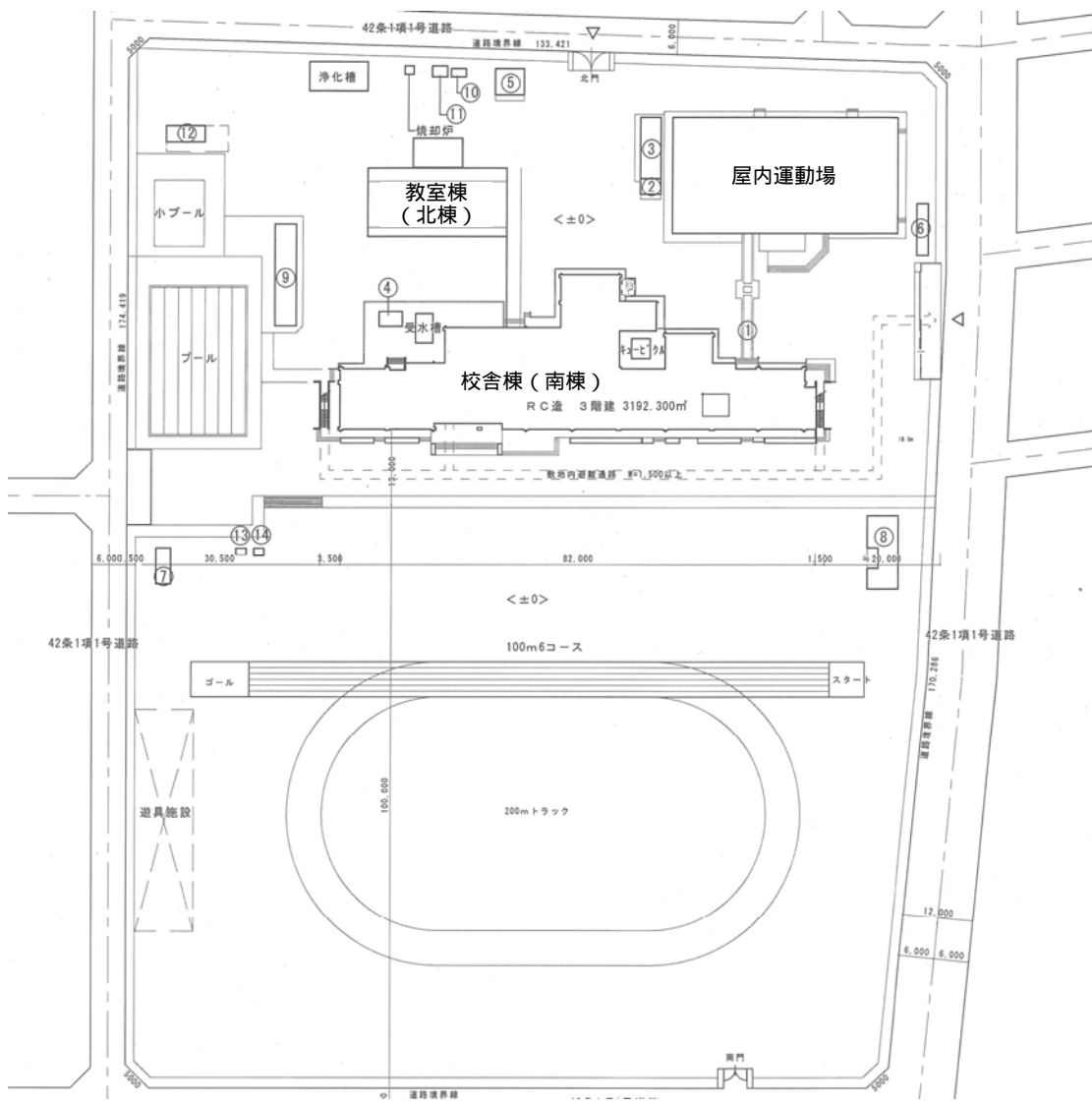
小一6 小山城北小学校

学校施設の運営状況・活用状況等



所在地	城北 5-18-1	
設置年度	昭和 58 年	
児童数	386 人	
学級数	16 学級	
敷地面積	建物敷地	10,950 m <sup>2</sup>
	運動敷地	13,658 m <sup>2</sup>
	計	24,608 m <sup>2</sup>

配置図



### 構造躯体の健全性

建物の種類	建物名	構造	階数	延床面積	建築年度		築年数	耐震安全性		
					西暦	和暦		基準	診断	補強
校舎	校舎棟（南棟）	RC	3	3,192	1983	S58	37	新	-	-
	教室棟（北棟）	S	1	354	1983	S58	37	新	-	-
体育館	屋内運動場	S	2	834	1983	S58	37	新	-	-

構造：S = 鉄骨造、RC = 鉄筋コンクリート造、W = 木造

### 躯体以外の劣化状況

建物の種類	建物の名称	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
校舎	校舎棟（南棟）	B	B	C	B	B	62
	教室棟（北棟）	B	B	C	B	B	62
体育館	屋内運動場	B	A	A	B	B	92

### 整備方針

建物の種類	建物の名称	築年数のグループ
校舎	校舎棟（南棟）	B（35～40年未満）
	教室棟（北棟）	-
体育館	屋内運動場	B（35～40年未満）

教室棟（北棟）は面積が500㎡以下のため対象外

整備方針
長寿命化改修[R2-11]
-
長寿命化改修[R2-11]

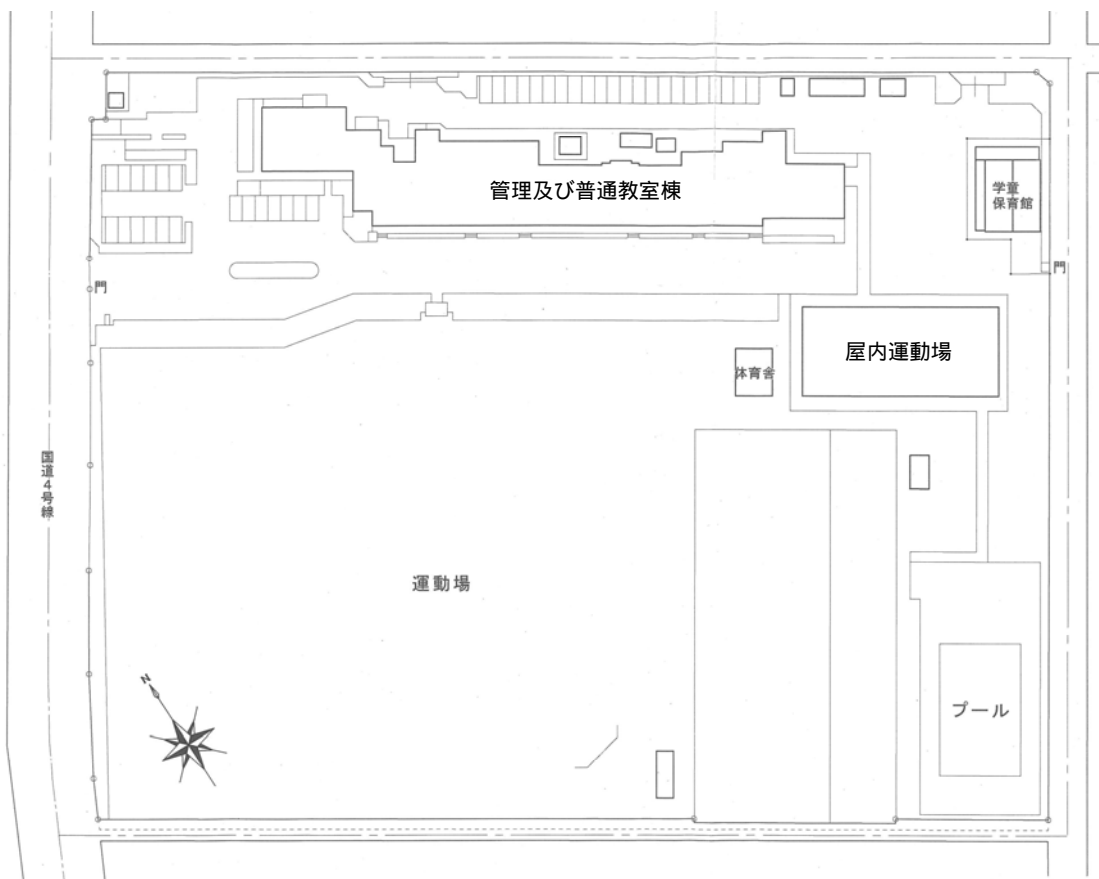
小一七 若木小学校

学校施設の運営状況・活用状況等



所在地	若木町 2-6-44	
設置年度	昭和 59 年	
児童数	355 人	
学級数	15 学級	
敷地面積	建物敷地	9,413 m <sup>2</sup>
	運動敷地	23,230 m <sup>2</sup>
	計	32,643 m <sup>2</sup>

配置図



### 構造躯体の健全性

建物の種類	建物名	構造	階数	延床面積	建築年度		築年数	耐震安全性		
					西暦	和暦		基準	診断	補強
校舎	管理及び普通教室棟	RC	3	3,702	1984	S59	36	新	-	-
体育館	屋内運動場	S	2	795	1962	S37	58	旧	済	済

構造：S = 鉄骨造、RC = 鉄筋コンクリート造、W = 木造

### 躯体以外の劣化状況

建物の種類	建物の名称	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
校舎	管理及び普通教室棟	B	B	B	B	B	75
体育館	屋内運動場	B	B	B	B	B	75

### 整備方針

建物の種類	建物の名称	築年数のグループ	整備方針
校舎	管理及び普通教室棟	B (35 ~ 40 年未満)	長寿命化改修[R2-11]
体育館	屋内運動場	A (50 年以上)	大規模改造[R2-11]

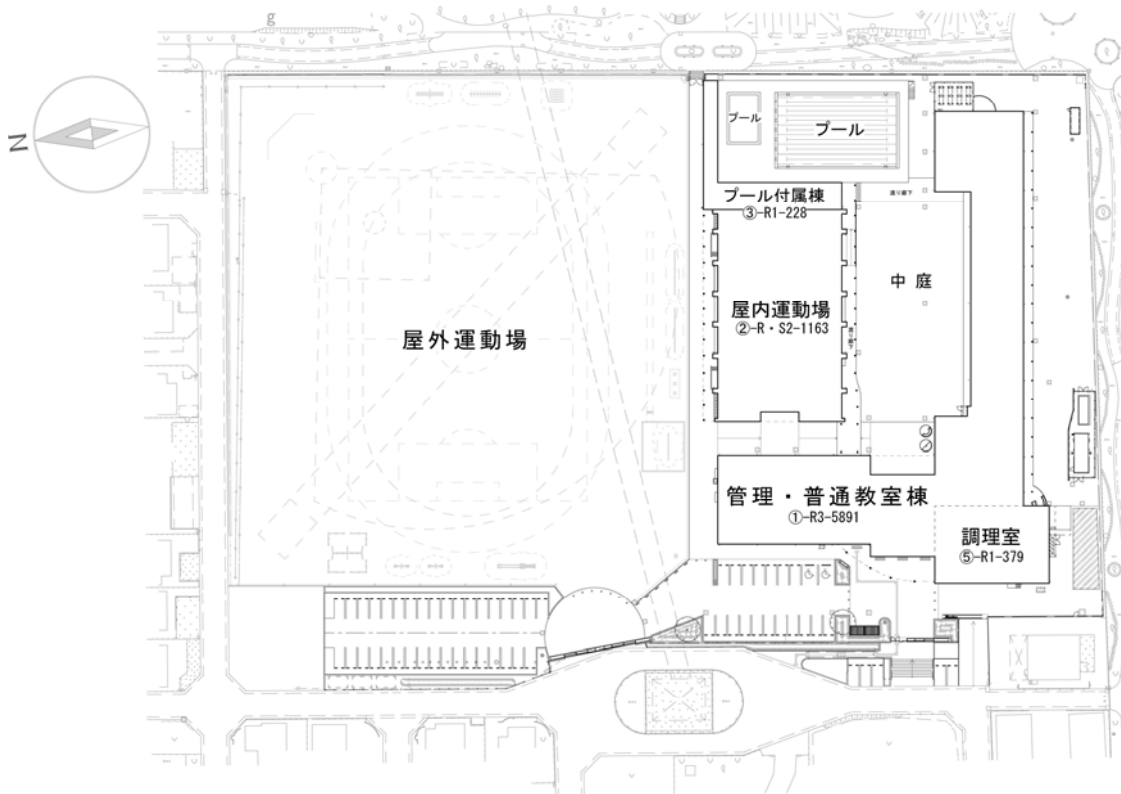
小一 8 東城南小学校

学校施設の運営状況・活用状況等



所在地	東城南 3-9-5	
設置年度	平成 31 年	
児童数	575 人	
学級数	18 学級	
敷地面積	建物敷地	22,471 m <sup>2</sup>
	運動敷地	10,120 m <sup>2</sup>
	計	32,591 m <sup>2</sup>

配置図



### 構造躯体の健全性

建物の種類	建物名	構造	階数	延床面積	建築年度		築年数	耐震安全性		
					西暦	和暦		基準	診断	補強
校舎	管理・普通教室棟	RC	3	5,891	2019	H31	1	新	-	-
体育館	屋内運動場	S	2	1,163	2019	H31	1	新	-	-

構造：S = 鉄骨造、RC = 鉄筋コンクリート造、W = 木造

### 躯体以外の劣化状況

建物の種類	建物の名称	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
校舎	管理・普通教室棟	A	A	A	A	A	100
体育館	屋内運動場	A	A	A	A	A	100

劣化状況の調査は実施していないが、新設校のため、すべてA評価と判定

### 整備方針

建物の種類	建物の名称	築年数のグループ	整備方針
校舎	管理・普通教室棟	F (5年未満)	-
体育館	屋内運動場	F (5年未満)	-

築年数が5年未満のため、10年間ごとの整備計画等の見直し時に整備方針を検討

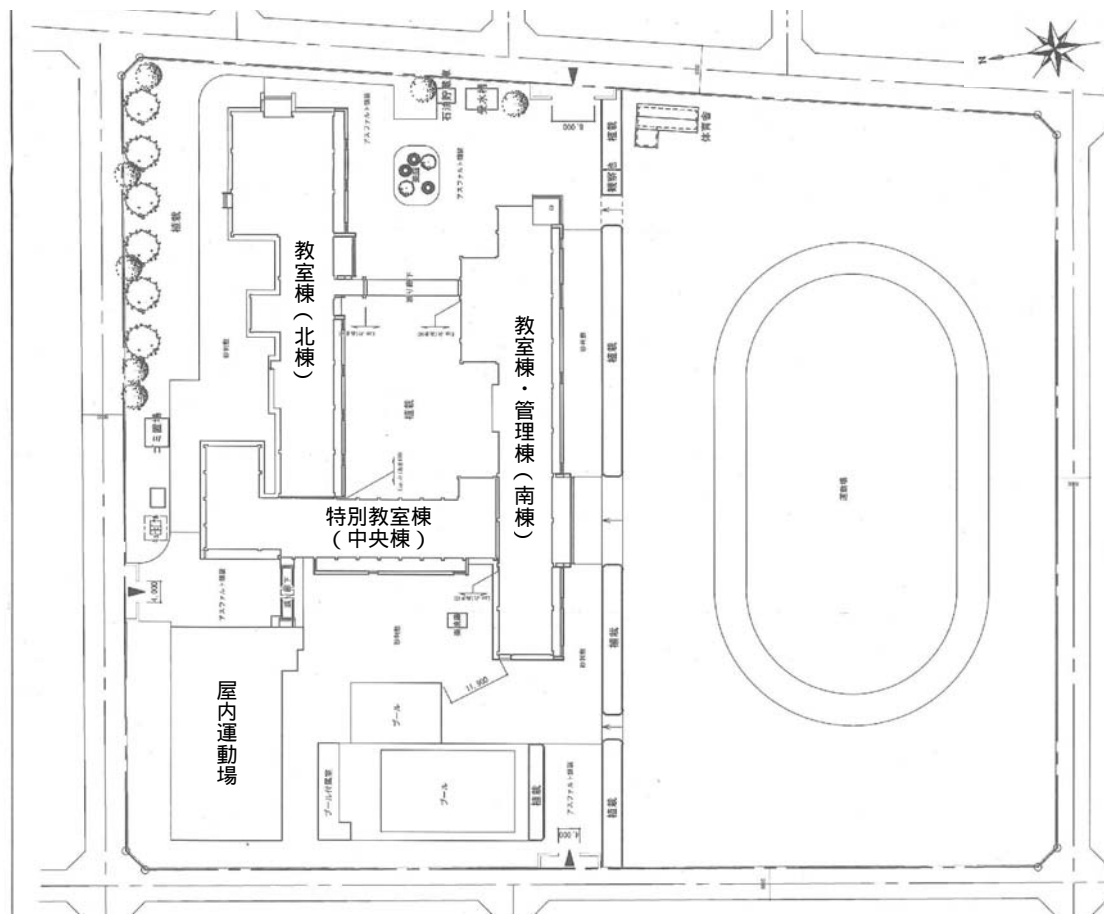
小-9 小山城東小学校

学校施設の運営状況・活用状況等



所在地	城東 1-16-1	
設置年度	昭和 52 年	
児童数	745 人	
学級数	27 学級	
敷地面積	建物敷地	13,959 m <sup>2</sup>
	運動敷地	10,803 m <sup>2</sup>
	計	24,762 m <sup>2</sup>

配置図





### 構造躯体の健全性

建物の種類	建物名	構造	階数	延床面積	建築年度		築年数	耐震安全性		
					西暦	和暦		基準	診断	補強
校舎	教室棟・管理棟（南棟）	RC	3	2,800	1977	S52	43	旧	済	済
	特別教室棟（中央棟）	RC	3	1,444	1977	S52	43	旧	済	済
	教室棟（北棟）	RC	3	2,272	1977	S52	43	旧	済	済
体育館	屋内運動場	S	2	1,019	1979	S54	41	旧	済	済

構造：S = 鉄骨造、RC = 鉄筋コンクリート造、W = 木造

### 躯体以外の劣化状況

建物の種類	建物の名称	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
校舎	教室棟・管理棟（南棟）	C	B	B	B	B	72
	特別教室棟（中央棟）	C	B	B	B	B	72
	教室棟（北棟）	C	B	B	B	B	72
体育館	屋内運動場	B	B	B	B	B	75

### 整備方針

建物の種類	建物の名称	築年数のグループ	整備方針
校舎	教室棟・管理棟（南棟）	B（40～45年未満）	長寿命化改修[R2-11]
	特別教室棟（中央棟）	B（40～45年未満）	長寿命化改修[R2-11]
	教室棟（北棟）	B（40～45年未満）	長寿命化改修[R2-11]
体育館	屋内運動場	B（40～45年未満）	長寿命化改修[R2-11]

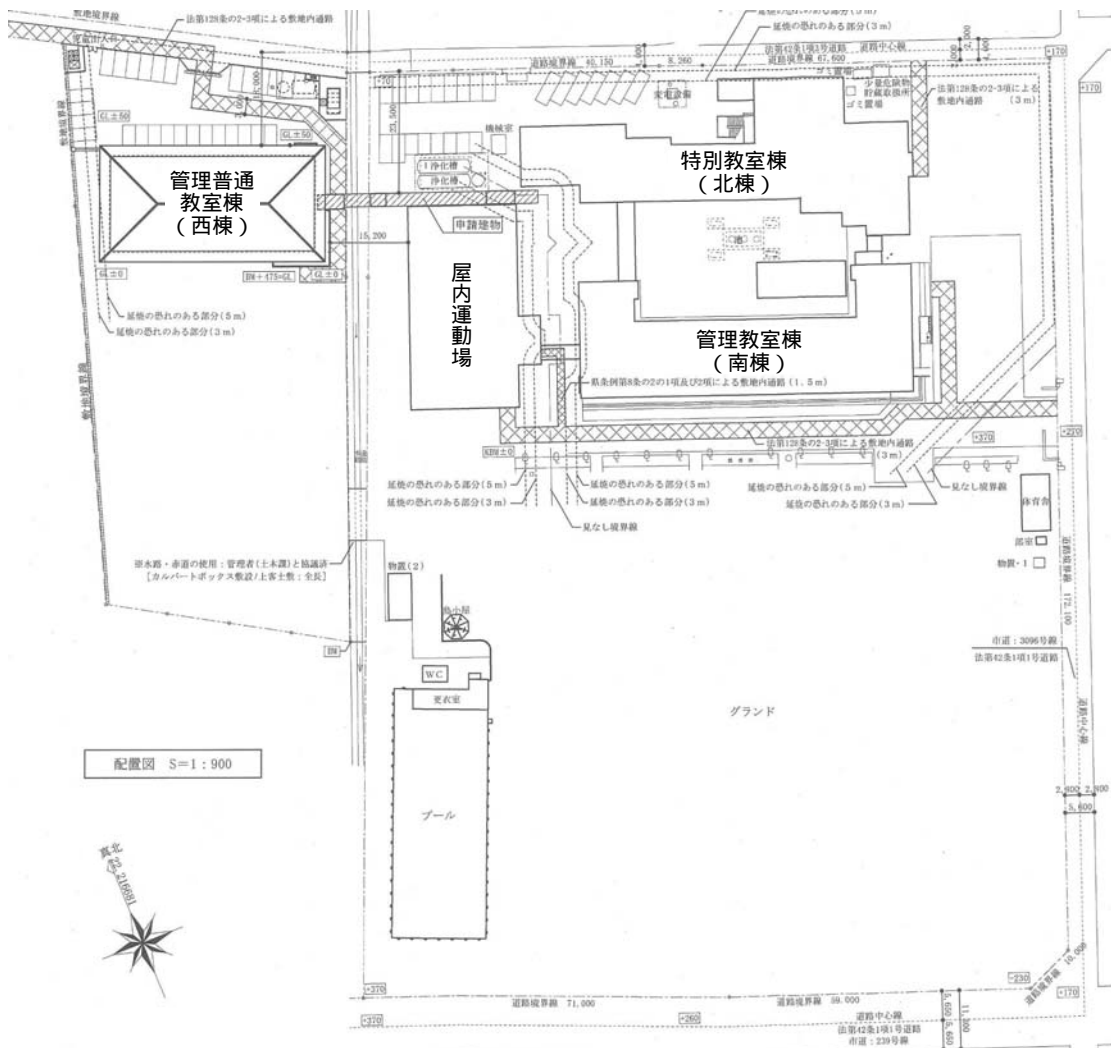
小-10 大谷東小学校

学校施設の運営状況・活用状況等



所在地	横倉新田 271	
設置年度	明治 15 年	
児童数	909 人	
学級数	33 学級	
敷地面積	建物敷地	19,608 m <sup>2</sup>
	運動敷地	16,357 m <sup>2</sup>
	計	35,965 m <sup>2</sup>

配置図



### 構造躯体の健全性

建物の種類	建物名	構造	階数	延床面積	建築年度		築年数	耐震安全性		
					西暦	和暦		基準	診断	補強
校舎	管理教室棟（南棟）	RC	3	3,223	2012	H24	8	新	-	-
	特別教室棟（北棟）	RC	3	3,050	1975	S50	45	旧	済	済
	管理普通教室棟（西棟）	RC	2	1,479	2016	H28	4	新	-	-
体育館	屋内運動場	S	2	849	1979	S54	41	旧	済	済

構造：S = 鉄骨造、RC = 鉄筋コンクリート造、W = 木造

### 躯体以外の劣化状況

建物の種類	建物の名称	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
校舎	管理教室棟（南棟）	B	A	B	B	B	82
	特別教室棟（北棟）	B	A	B	B	B	82
	管理普通教室棟（西棟）	B	A	B	B	B	82
体育館	屋内運動場	B	B	B	B	B	75

### 整備方針

建物の種類	建物の名称	築年数のグループ	整備方針	
校舎	管理教室棟（南棟）	E（5～10年未満）		長寿命化改修[R32-41] 大規模改造[R2-11] -
	特別教室棟（北棟）	A（45～50年未満）		
	管理普通教室棟（西棟）	F（5年未満）		
体育館	屋内運動場	B（40～45年未満）	長寿命化改修[R2-11]	

管理普通教室棟（西棟）については、築年数が5年未満のため、10年間ごとの整備計画等の見直し時に整備方針を検討

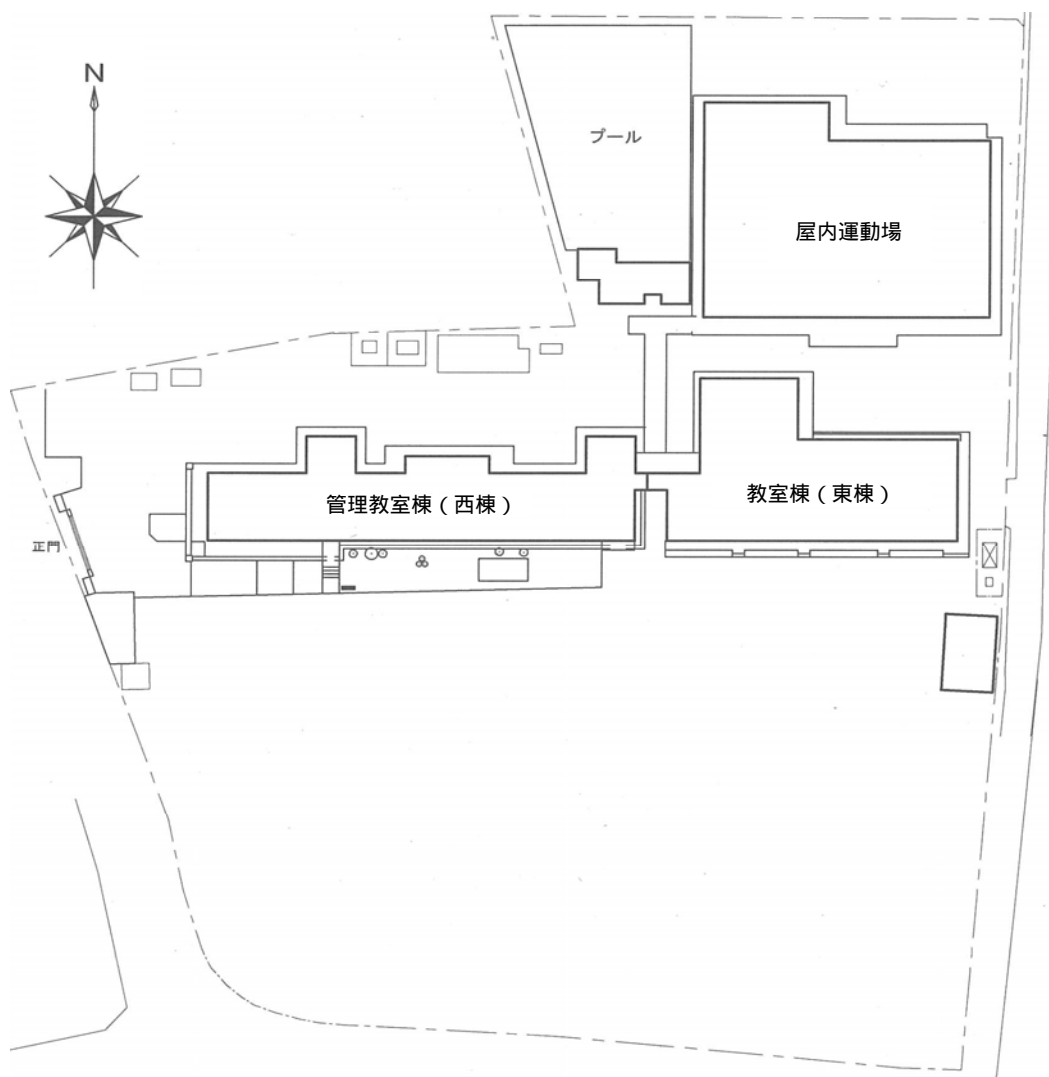
小-11 大谷南小学校

学校施設の運営状況・活用状況等



所在地	東野田 2147	
設置年度	明治 7 年	
児童数	93 人	
学級数	6 学級	
敷地面積	建物敷地	8,678 m <sup>2</sup>
	運動敷地	6,737 m <sup>2</sup>
	計	15,415 m <sup>2</sup>

配置図



### 構造躯体の健全性

建物の種類	建物名	構造	階数	延床面積	建築年度		築年数	耐震安全性		
					西暦	和暦		基準	診断	補強
校舎	管理教室棟（西棟）	RC	3	2,086	1970	S45	50	旧	済	済
	教室棟（東棟）	RC	3	1,014	1996	H8	24	新	-	-
体育館	屋内運動場	S	1	950	1997	H9	23	新	-	-

構造：S = 鉄骨造、RC = 鉄筋コンクリート造、W = 木造

### 躯体以外の劣化状況

建物の種類	建物の名称	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
校舎	管理教室棟（西棟）	B	B	B	B	B	75
	教室棟（東棟）	B	A	B	B	B	82
体育館	屋内運動場	A	B	B	B	B	77

### 整備方針

建物の種類	建物の名称	築年数のグループ	整備方針
校舎	管理教室棟（西棟）	A（50年以上）	大規模改造[R2-11]
	教室棟（東棟）	D（20～25年未満）	長寿命化改修[R22-31]
体育館	屋内運動場	D（20～25年未満）	長寿命化改修[R22-31]

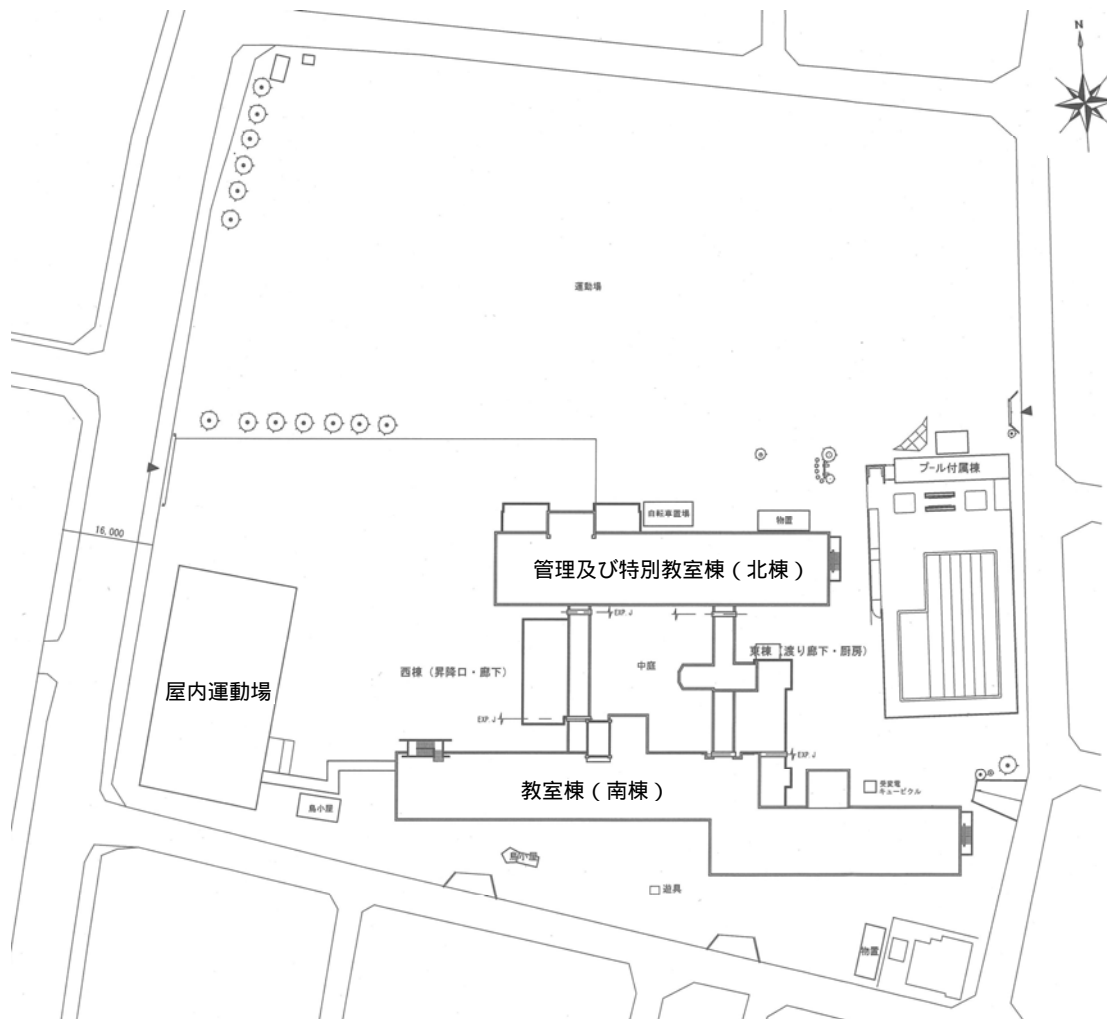
## 小-12 大谷北小学校

## 学校施設の運営状況・活用状況等



所在地	犬塚 5-6-10	
設置年度	明治 13 年	
児童数	809 人	
学級数	29 学級	
敷地面積	建物敷地	8,128 m <sup>2</sup>
	運動敷地	9,260 m <sup>2</sup>
	計	17,388 m <sup>2</sup>

配置図



### 構造躯体の健全性

建物の種類	建物名	構造	階数	延床面積	建築年度		築年数	耐震安全性		
					西暦	和暦		基準	診断	補強
校舎	教室棟（南棟）	RC	3	3,438	1972	S47	48	旧	済	済
	管理及び特別教室棟（北棟）	RC	4	2,817	1972	S47	48	旧	済	済
体育館	屋内運動場	S	2	833	1978	S53	42	旧	済	済

構造：S = 鉄骨造、RC = 鉄筋コンクリート造、W = 木造

### 躯体以外の劣化状況

建物の種類	建物の名称	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
校舎	教室棟（南棟）	B	B	B	B	B	75
	管理及び特別教室棟（北棟）	B	A	B	B	B	82
体育館	屋内運動場	B	B	B	B	B	75

### 整備方針

建物の種類	建物の名称	築年数のグループ	整備方針	
校舎	教室棟（南棟）	A（45～50年未満）		大規模改造[R2-11] 大規模改造[R2-11] 長寿命化改修[R2-11]
	管理及び特別教室棟（北棟）	A（45～50年未満）		
体育館	屋内運動場	B（40～45年未満）		

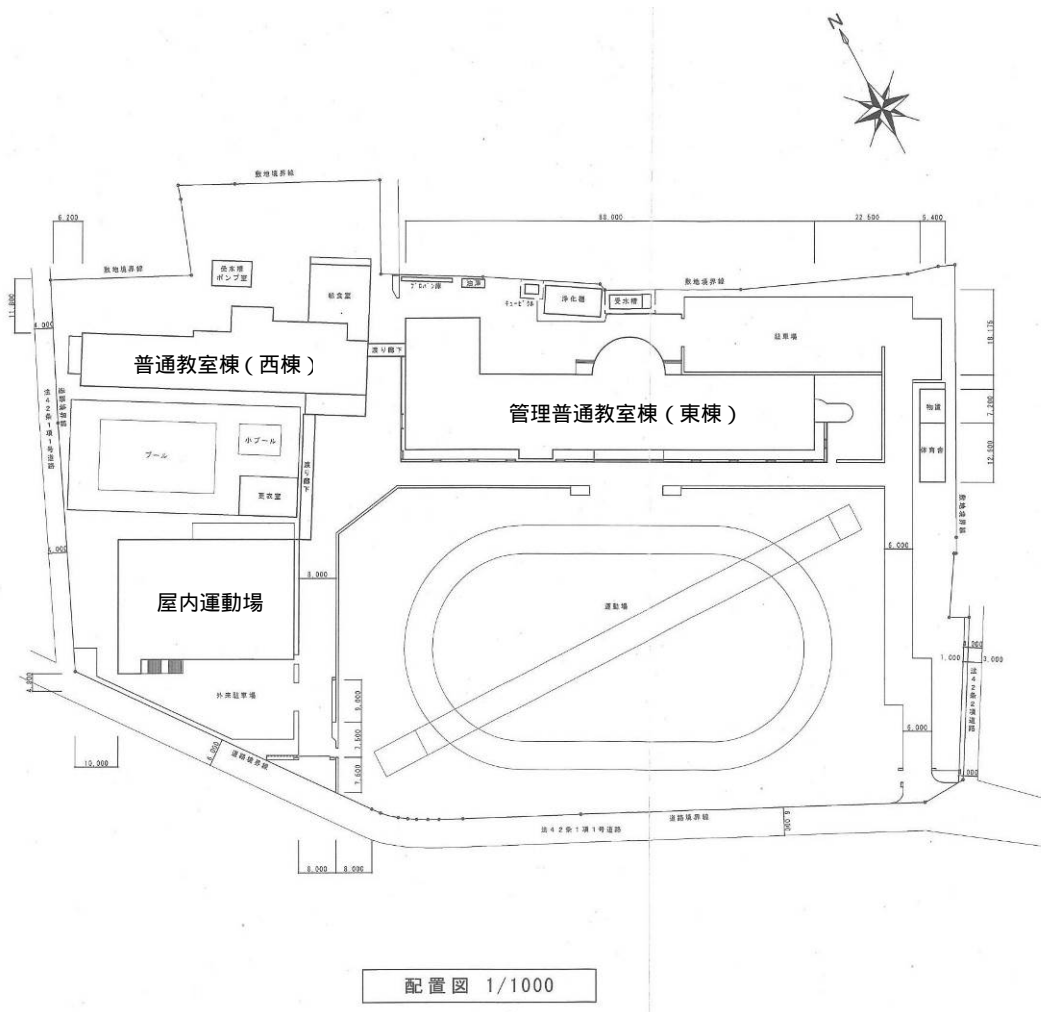
小-13 間々田小学校

学校施設の運営状況・活用状況等



所在地	間々田 1512	
設置年度	明治 5 年	
児童数	513 人	
学級数	22 学級	
敷地面積	建物敷地	13,773 m <sup>2</sup>
	運動敷地	7,091 m <sup>2</sup>
	計	20,864 m <sup>2</sup>

配置図





### 構造躯体の健全性

建物の種類	建物名	構造	階数	延床面積	建築年度		築年数	耐震安全性		
					西暦	和暦		基準	診断	補強
校舎	管理普通教室棟（東棟）	RC	3	4,228	1994	H6	26	新	-	-
	普通教室棟（西棟）	RC	3	1,979	1980	S55	40	旧	済	済
体育館	屋内運動場	RC	3	1,110	1982	S57	38	新	-	-

構造：S = 鉄骨造、RC = 鉄筋コンクリート造、W = 木造

### 躯体以外の劣化状況

建物の種類	建物の名称	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
校舎	管理普通教室棟（東棟）	B	A	B	B	B	82
	普通教室棟（西棟）	B	C	C	B	B	52
体育館	屋内運動場	B	B	B	B	B	75

### 整備方針

建物の種類	建物の名称	築年数のグループ	整備方針
校舎	管理普通教室棟（東棟）	C（25～30年未満）	長寿命化改修[R12-21]
	普通教室棟（西棟）	B（40～45年未満）	長寿命化改修[R2-11]
体育館	屋内運動場	B（35～40年未満）	長寿命化改修[R2-11]

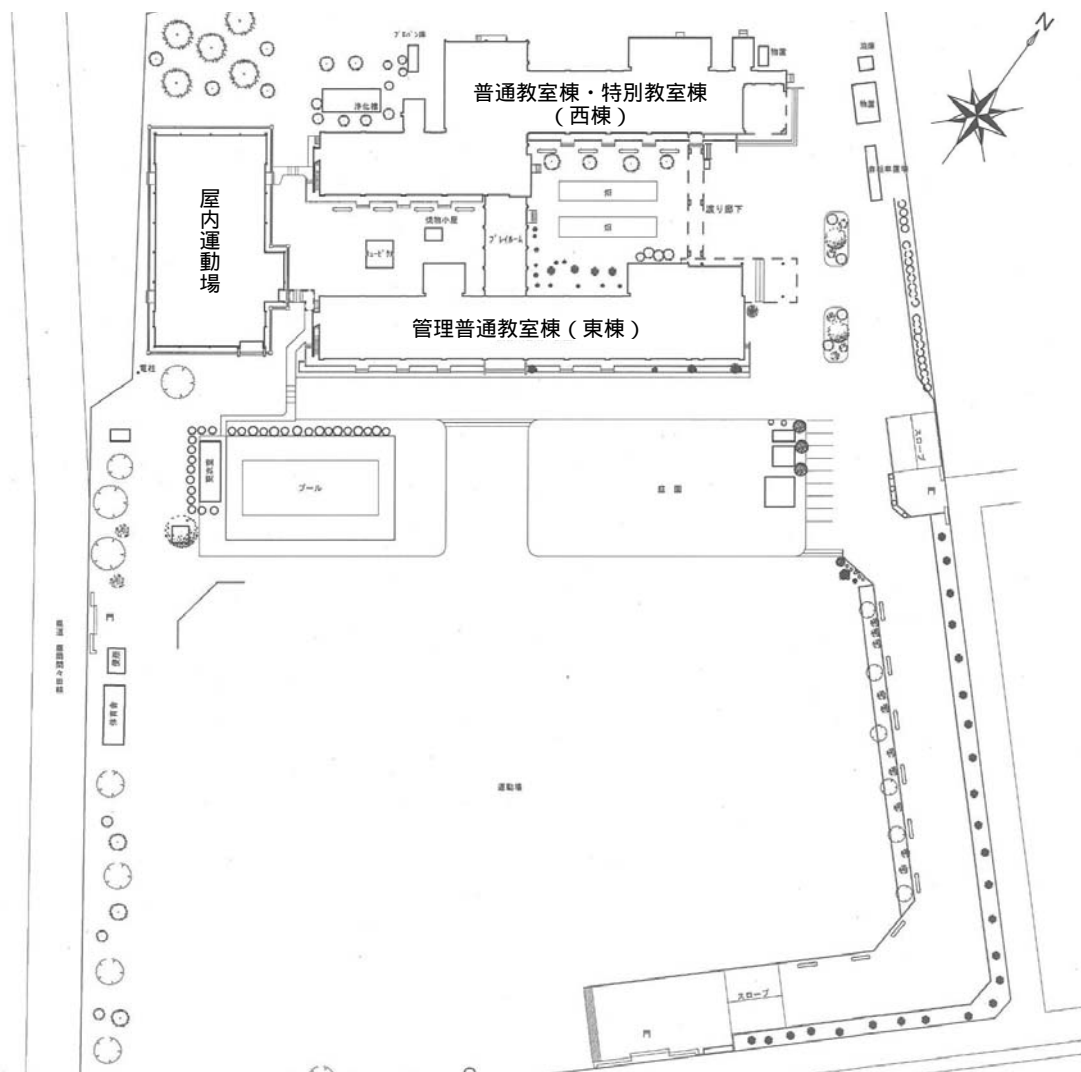
小-14 乙女小学校

学校施設の運営状況・活用状況等



所在地	乙女 1954	
設置年度	昭和 50 年	
児童数	355 人	
学級数	15 学級	
敷地面積	建物敷地	11,732 m <sup>2</sup>
	運動敷地	17,995 m <sup>2</sup>
	計	29,727 m <sup>2</sup>

配置図



### 構造躯体の健全性

建物の種類	建物名	構造	階数	延床面積	建築年度		築年数	耐震安全性		
					西暦	和暦		基準	診断	補強
校舎	管理普通教室棟（東棟）	RC	2	2,328	1975	S50	45	旧	済	済
	普通教室棟・特別教室棟（西棟）	RC	3	3,509	1975	S50	45	旧	済	済
体育館	屋内運動場	S	2	840	1979	S54	41	旧	済	済

構造：S = 鉄骨造、RC = 鉄筋コンクリート造、W = 木造

### 躯体以外の劣化状況

建物の種類	建物の名称	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
校舎	管理普通教室棟（東棟）	C	C	C	B	C	45
	普通教室棟・特別教室棟（西棟）	C	C	C	B	C	45
体育館	屋内運動場	C	C	C	B	C	45

### 整備方針

建物の種類	建物の名称	築年数のグループ	整備方針
校舎	管理普通教室棟（東棟）	A（45～50年未満）	-
	普通教室棟・特別教室棟（西棟）	A（45～50年未満）	-
体育館	屋内運動場	B（40～45年未満）	-

乙女中学区の学校適正配置により統合を進めているため、計画決定次第、整備内容を追記

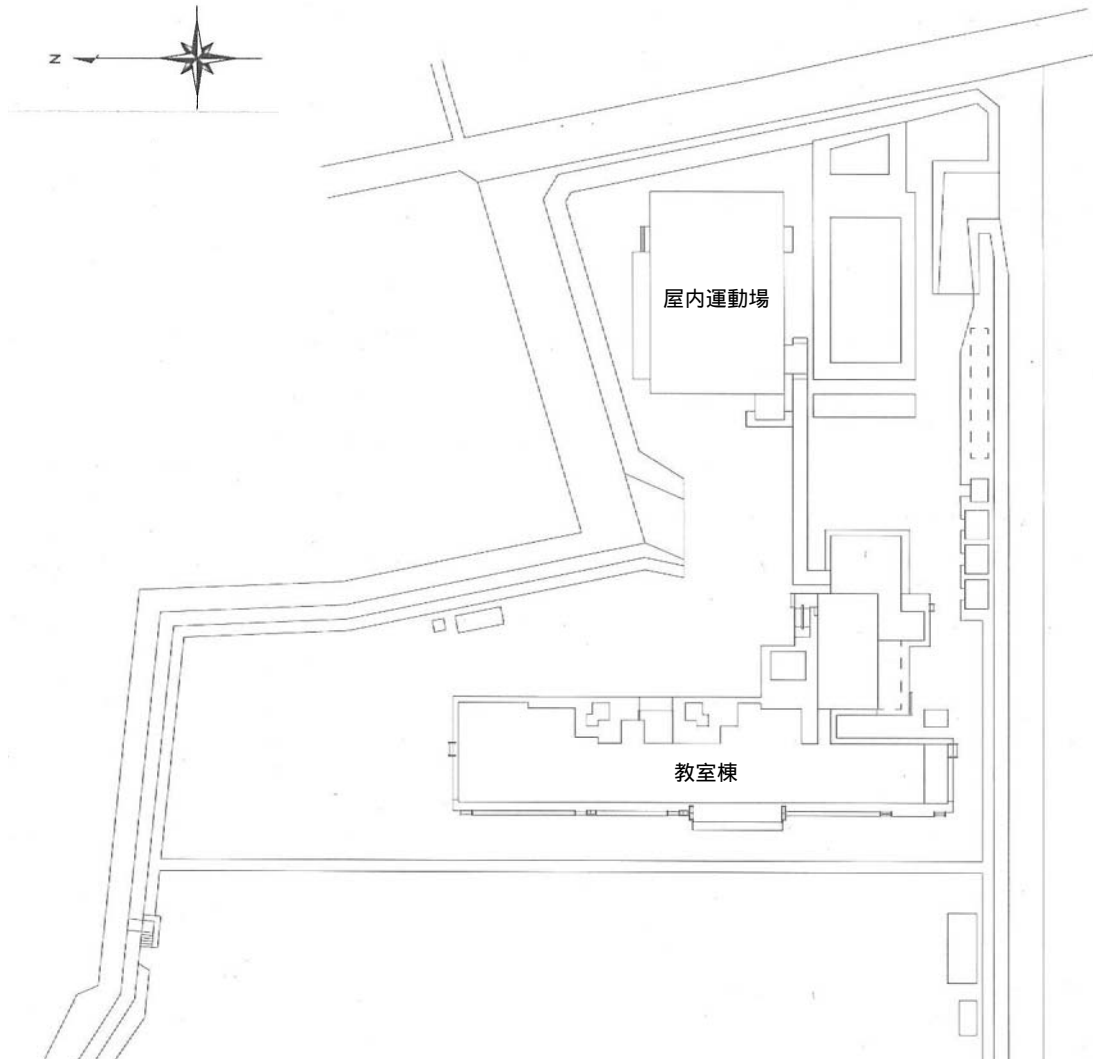
## 小一15 間々田東小学校

## 学校施設の運営状況・活用状況等



所在地	間々田 57-2	
設置年度	昭和 59 年	
児童数	599 人	
学級数	23 学級	
敷地面積	建物敷地	10,621 m <sup>2</sup>
	運動敷地	16,012 m <sup>2</sup>
	計	26,633 m <sup>2</sup>

配置図



### 構造躯体の健全性

建物の種類	建物名	構造	階数	延床面積	建築年度		築年数	耐震安全性		
					西暦	和暦		基準	診断	補強
校舎	教室棟	RC	3	3,700	1984	S59	36	新	-	-
体育館	屋内運動場	S	2	894	1984	S59	36	新	-	-

構造：S = 鉄骨造、RC = 鉄筋コンクリート造、W = 木造

### 躯体以外の劣化状況

建物の種類	建物の名称	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
校舎	教室棟	B	B	B	B	B	75
体育館	屋内運動場	B	B	B	B	B	75

### 整備方針

建物の種類	建物の名称	築年数のグループ	整備方針
校舎	教室棟	B (35 ~ 40 年未満)	長寿命化改修[R2-11]
体育館	屋内運動場	B (35 ~ 40 年未満)	長寿命化改修[R2-11]

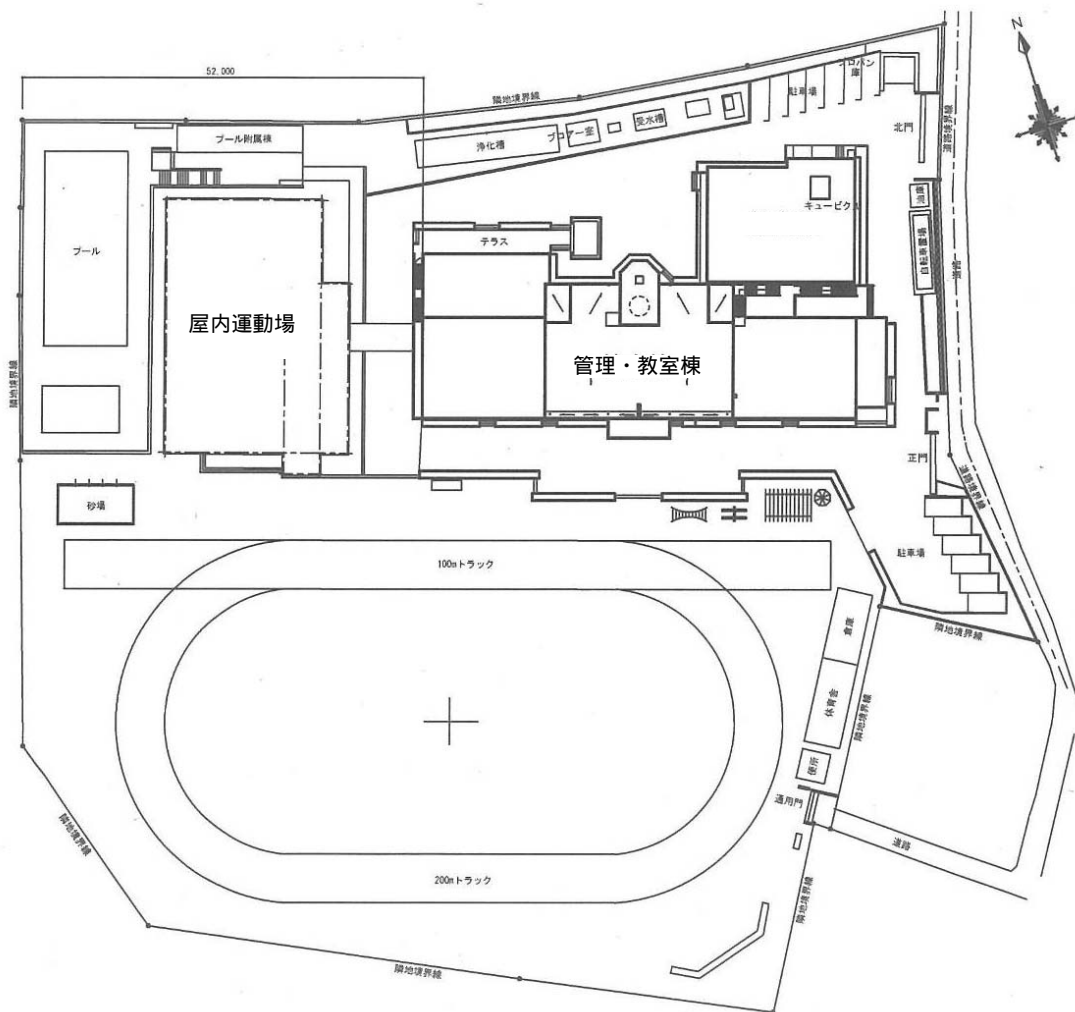
小-16 下生井小学校

学校施設の運営状況・活用状況等



所在地	下生井 1546	
設置年度	明治6年	
児童数	30人	
学級数	6学級	
敷地面積	建物敷地	6,677 m <sup>2</sup>
	運動敷地	5,838 m <sup>2</sup>
	計	12,515 m <sup>2</sup>

配置図



### 構造躯体の健全性

建物の種類	建物名	構造	階数	延床面積	建築年度		築年数	耐震安全性		
					西暦	和暦		基準	診断	補強
校舎	管理・教室棟	RC	3	2,082	1986	S61	34	新	-	-
体育館	屋内運動場	S	2	779	1986	S61	34	新	-	-

構造：S = 鉄骨造、RC = 鉄筋コンクリート造、W = 木造

### 躯体以外の劣化状況

建物の種類	建物の名称	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
校舎	管理・教室棟	B	A	B	B	B	82
体育館	屋内運動場	B	B	B	B	B	75

### 整備方針

建物の種類	建物の名称	築年数のグループ	整備方針
校舎	管理・教室棟	C (30～35年未満)	-
体育館	屋内運動場	C (30～35年未満)	-

乙女中学区の学校適正配置により統合を進めているため、計画決定次第、整備内容を追記

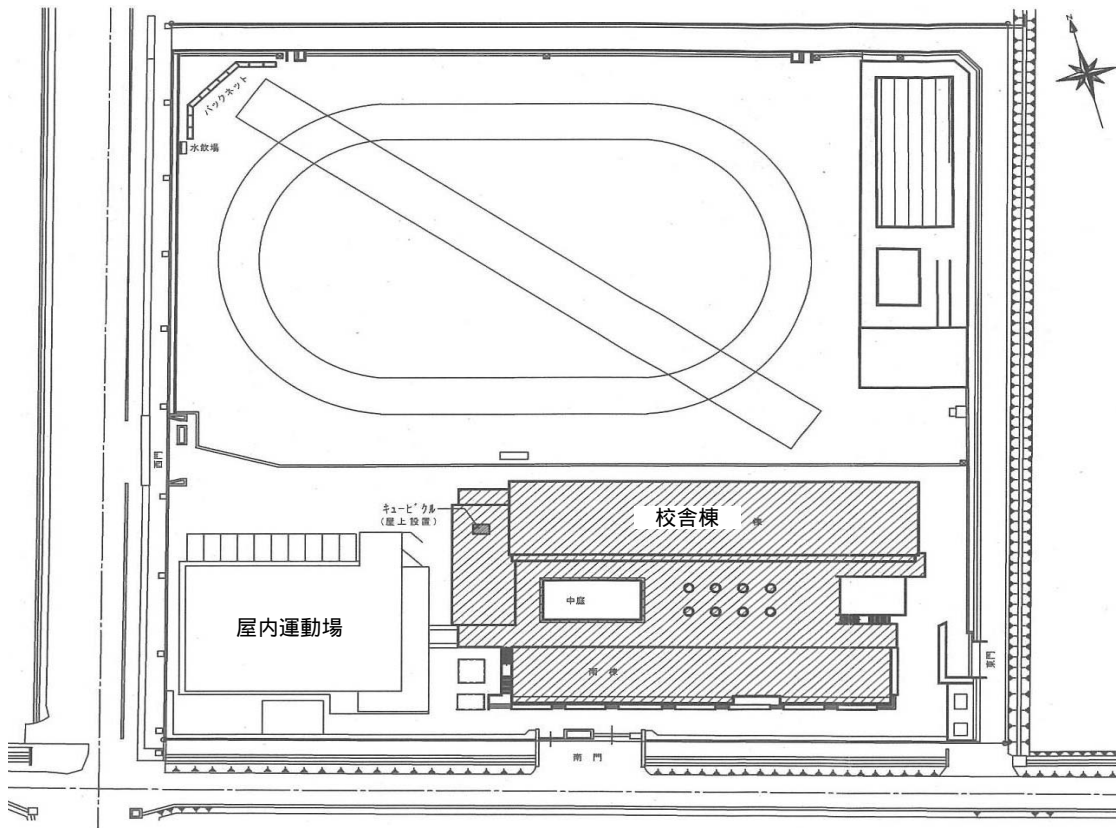
小-17 網戸小学校

学校施設の運営状況・活用状況等



所在地	網戸 1514	
設置年度	明治 6 年	
児童数	45 人	
学級数	6 学級	
敷地面積	建物敷地	5,546 m <sup>2</sup>
	運動敷地	8,685 m <sup>2</sup>
	計	14,231 m <sup>2</sup>

配置図





### 構造躯体の健全性

建物の種類	建物名	構造	階数	延床面積	建築年度		築年数	耐震安全性		
					西暦	和暦		基準	診断	補強
校舎	校舎棟	RC	2	2,088	1984	S59	36	新	-	-
体育館	屋内運動場	S	2	799	1984	S59	36	新	-	-

構造：S = 鉄骨造、RC = 鉄筋コンクリート造、W = 木造

### 躯体以外の劣化状況

建物の種類	建物の名称	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
校舎	校舎棟	B	A	A	B	B	92
体育館	屋内運動場	B	B	A	B	B	84

### 整備方針

建物の種類	建物の名称	築年数のグループ	整備方針
校舎	校舎棟	B (35～40年未満)	-
体育館	屋内運動場	B (35～40年未満)	-

乙女中学区の学校適正配置により統合を進めているため、計画決定次第、整備内容を追記

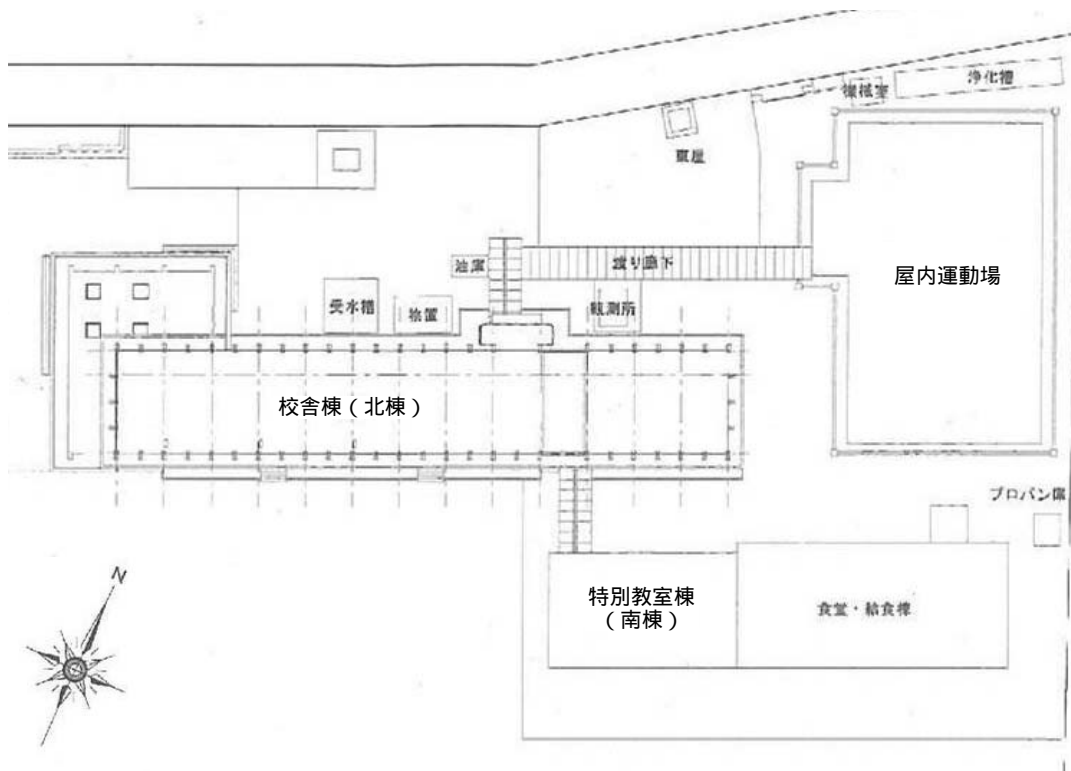
小-18 寒川小学校

学校施設の運営状況・活用状況等



所在地	中里 861	
設置年度	明治 6 年	
児童数	64 人	
学級数	6 学級	
敷地面積	建物敷地	4,762 m <sup>2</sup>
	運動敷地	11,103 m <sup>2</sup>
	計	15,865 m <sup>2</sup>

配置図



### 構造躯体の健全性

建物の種類	建物名	構造	階数	延床面積	建築年度		築年数	耐震安全性		
					西暦	和暦		基準	診断	補強
校舎	教室棟（北棟）	RC	3	1,889	1970	S45	50	旧	済	済
	特別教室棟（南棟）	S	2	345	1990	H2	30	新	-	-
体育館	屋内運動場	S	2	630	1978	S53	42	旧	済	済

構造：S = 鉄骨造、RC = 鉄筋コンクリート造、W = 木造

### 躯体以外の劣化状況

建物の種類	建物の名称	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
校舎	教室棟（北棟）	C	B	B	B	B	72
	特別教室棟（南棟）	C	C	A	B	B	71
体育館	屋内運動場	B	B	B	B	B	75

### 整備方針

建物の種類	建物の名称	築年数のグループ	整備方針	
校舎	教室棟（北棟）	A（50年以上）		-
	特別教室棟（南棟）	-		-
体育館	屋内運動場	B（40～45年未満）		-

美田中学区の学校適正配置の検討対象校のため、計画を進めた後、整備方針を追記  
 特別教室棟（南棟）については、面積が500㎡以下のため部位修繕対象

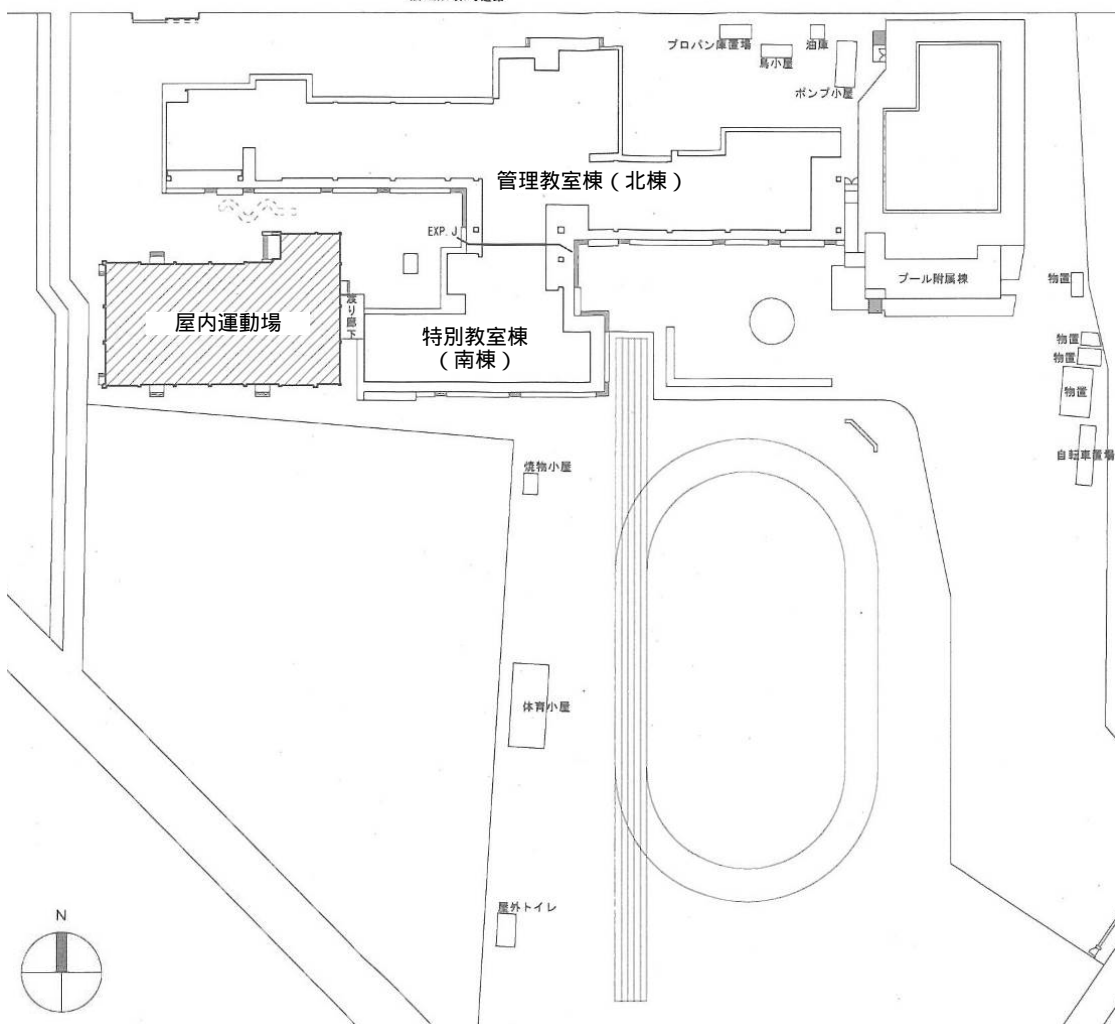
小-19 豊田南小学校

学校施設の運営状況・活用状況等



所在地	松沼 668	
設置年度	明治 7 年	
児童数	169 人	
学級数	9 学級	
敷地面積	建物敷地	6,366 m <sup>2</sup>
	運動敷地	9,733 m <sup>2</sup>
	計	16,099 m <sup>2</sup>

配置図



### 構造躯体の健全性

建物の種類	建物名	構造	階数	延床面積	建築年度		築年数	耐震安全性		
					西暦	和暦		基準	診断	補強
校舎	管理教室棟（北棟）	RC	3	3,422	1976	S51	44	旧	済	済
	特別教室棟（南棟）	RC	3	1,312	1976	S51	44	旧	済	不要
体育館	屋内運動場	S	2	738	1979	S54	41	旧	済	済

構造：S = 鉄骨造、RC = 鉄筋コンクリート造、W = 木造

### 躯体以外の劣化状況

建物の種類	建物の名称	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
校舎	管理教室棟（北棟）	C	B	B	B	B	72
	特別教室棟（南棟）	B	B	B	B	B	75
体育館	屋内運動場	B	B	B	B	B	75

### 整備方針

建物の種類	建物の名称	築年数のグループ	整備方針
校舎	管理教室棟（北棟）	B（40～45年未満）	-
	特別教室棟（南棟）	B（40～45年未満）	-
体育館	屋内運動場	B（40～45年未満）	-

豊田北小と統合し、豊田地区新設小を建設予定

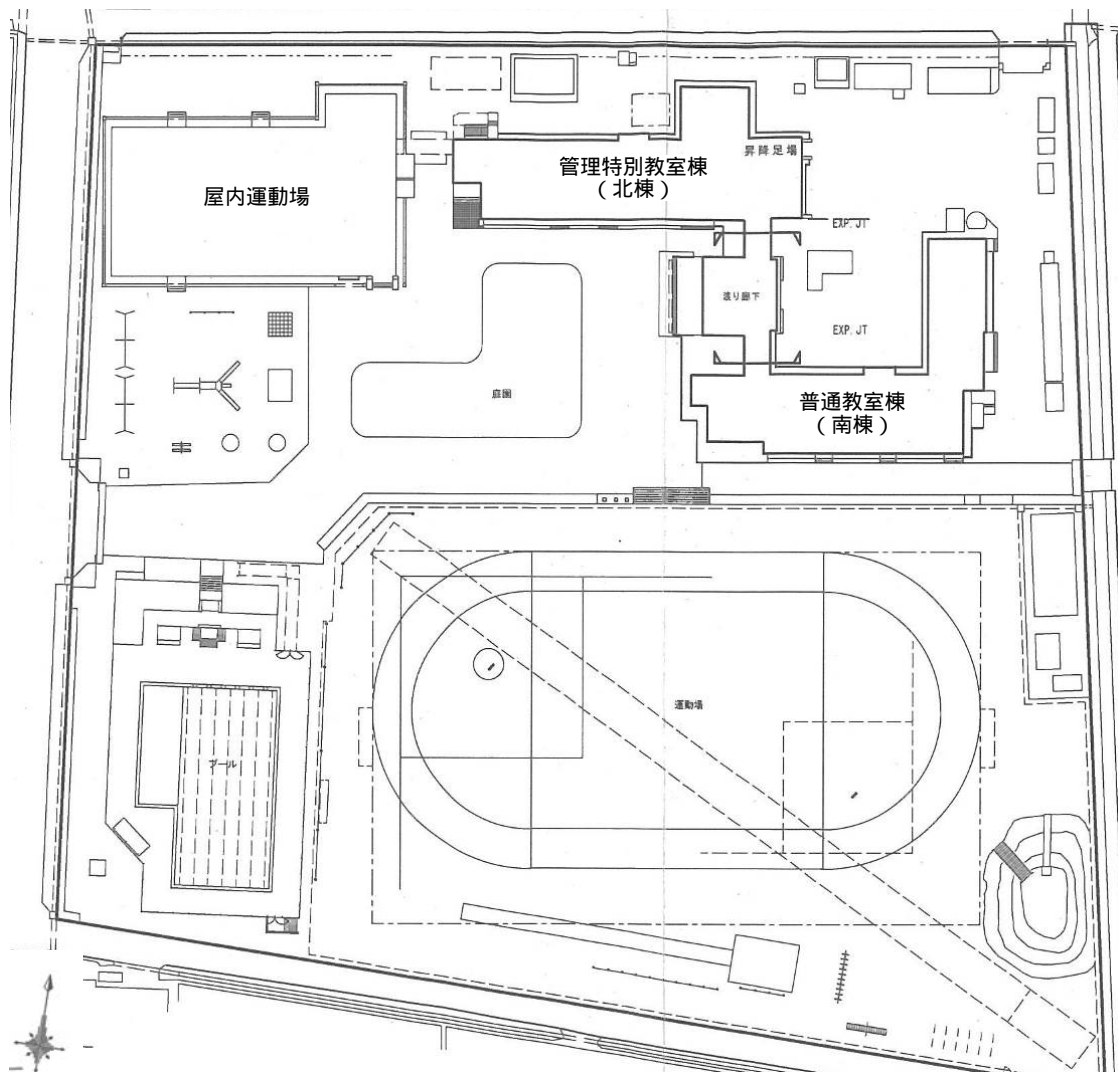
小一20 豊田北小学校

学校施設の運営状況・活用状況等



所在地	大本 808	
設置年度	明治 6 年	
児童数	122 人	
学級数	7 学級	
敷地面積	建物敷地	6,944 m <sup>2</sup>
	運動敷地	7,906 m <sup>2</sup>
	計	14,850 m <sup>2</sup>

配置図



### 構造躯体の健全性

建物の種類	建物名	構造	階数	延床面積	建築年度		築年数	耐震安全性		
					西暦	和暦		基準	診断	補強
校舎	管理特別教室棟（北棟）	RC	3	1,353	1973	S48	47	旧	済	済
	普通教室棟（南棟）	RC	3	1,292	1974	S49	46	旧	済	済
体育館	屋内運動場	S	2	734	1979	S54	41	旧	済	済

構造：S = 鉄骨造、RC = 鉄筋コンクリート造、W = 木造

### 躯体以外の劣化状況

建物の種類	建物の名称	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
校舎	管理特別教室棟（北棟）	B	B	B	B	B	75
	普通教室棟（南棟）	B	B	B	B	B	75
体育館	屋内運動場	B	B	B	B	B	75

### 整備方針

建物の種類	建物の名称	築年数のグループ
校舎	管理特別教室棟（北棟）	A（45～50年未満）
	普通教室棟（南棟）	A（45～50年未満）
体育館	屋内運動場	B（40～45年未満）

整備方針
-
-
-

豊田南小と統合し、豊田地区新設小を建設予定

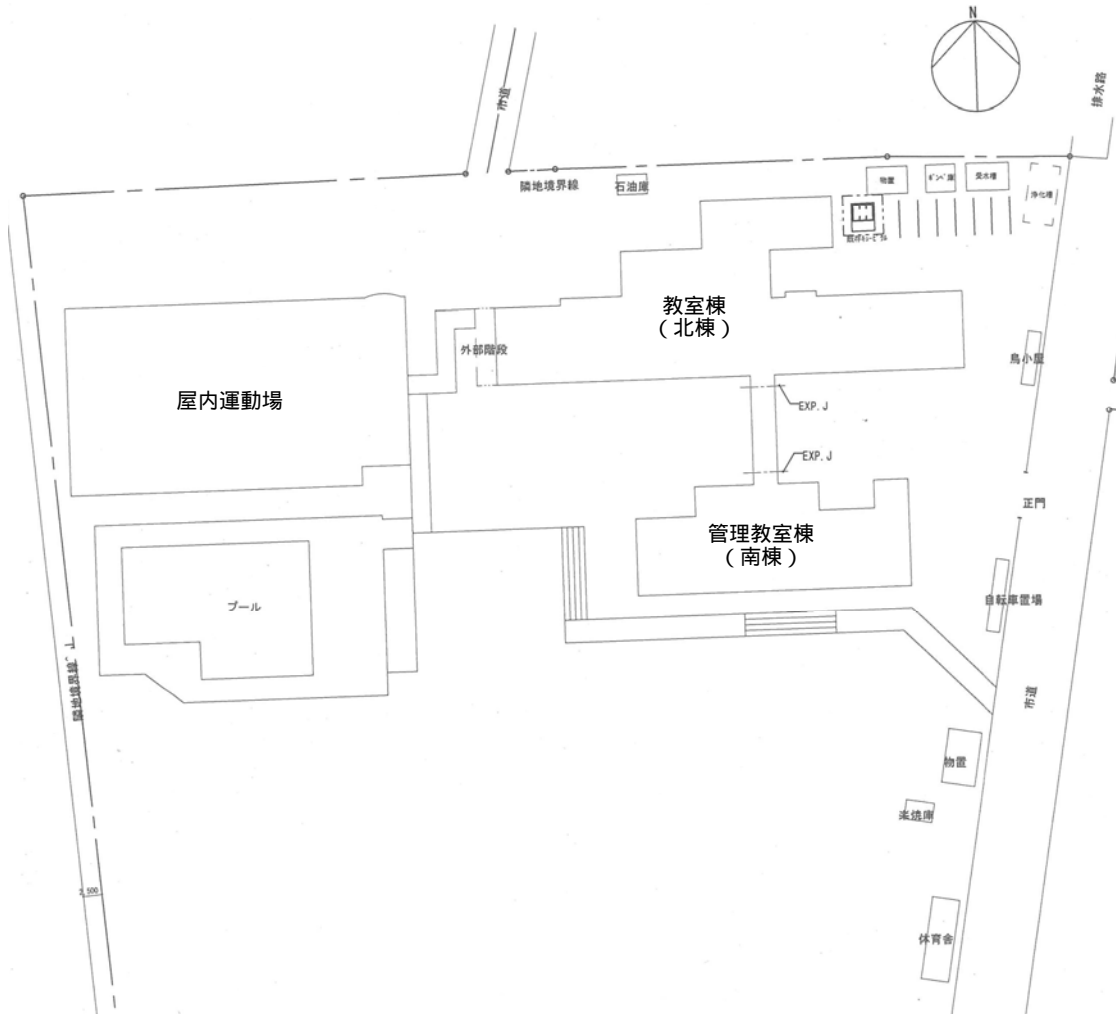
小-21 穂積小学校

学校施設の運営状況・活用状況等



所在地	萩島 27	
設置年度	明治 6 年	
児童数	106 人	
学級数	7 学級	
敷地面積	建物敷地	5,529 m <sup>2</sup>
	運動敷地	11,813 m <sup>2</sup>
	計	17,342 m <sup>2</sup>

配置図





### 構造躯体の健全性

建物の種類	建物名	構造	階数	延床面積	建築年度		築年数	耐震安全性		
					西暦	和暦		基準	診断	補強
校舎	管理教室棟（南棟）	RC	3	769	1978	S53	42	旧	済	不要
	教室棟（北棟）	RC	3	1,955	1978	S53	42	旧	済	済
体育館	屋内運動場	S	1	963	2000	H12	20	新	-	-

構造：S = 鉄骨造、RC = 鉄筋コンクリート造、W = 木造

### 躯体以外の劣化状況

建物の種類	建物の名称	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
校舎	管理教室棟（南棟）	B	B	B	B	B	75
	教室棟（北棟）	A	B	B	B	B	77
体育館	屋内運動場	A	B	B	B	C	73

### 整備方針

建物の種類	建物の名称	築年数のグループ	整備方針
校舎	管理教室棟（南棟）	B（40～45年未満）	-
	教室棟（北棟）	B（40～45年未満）	-
体育館	屋内運動場	D（20～25年未満）	-

美田中学区の学校適正配置の検討対象校のため、計画を進めた後、整備方針を追記

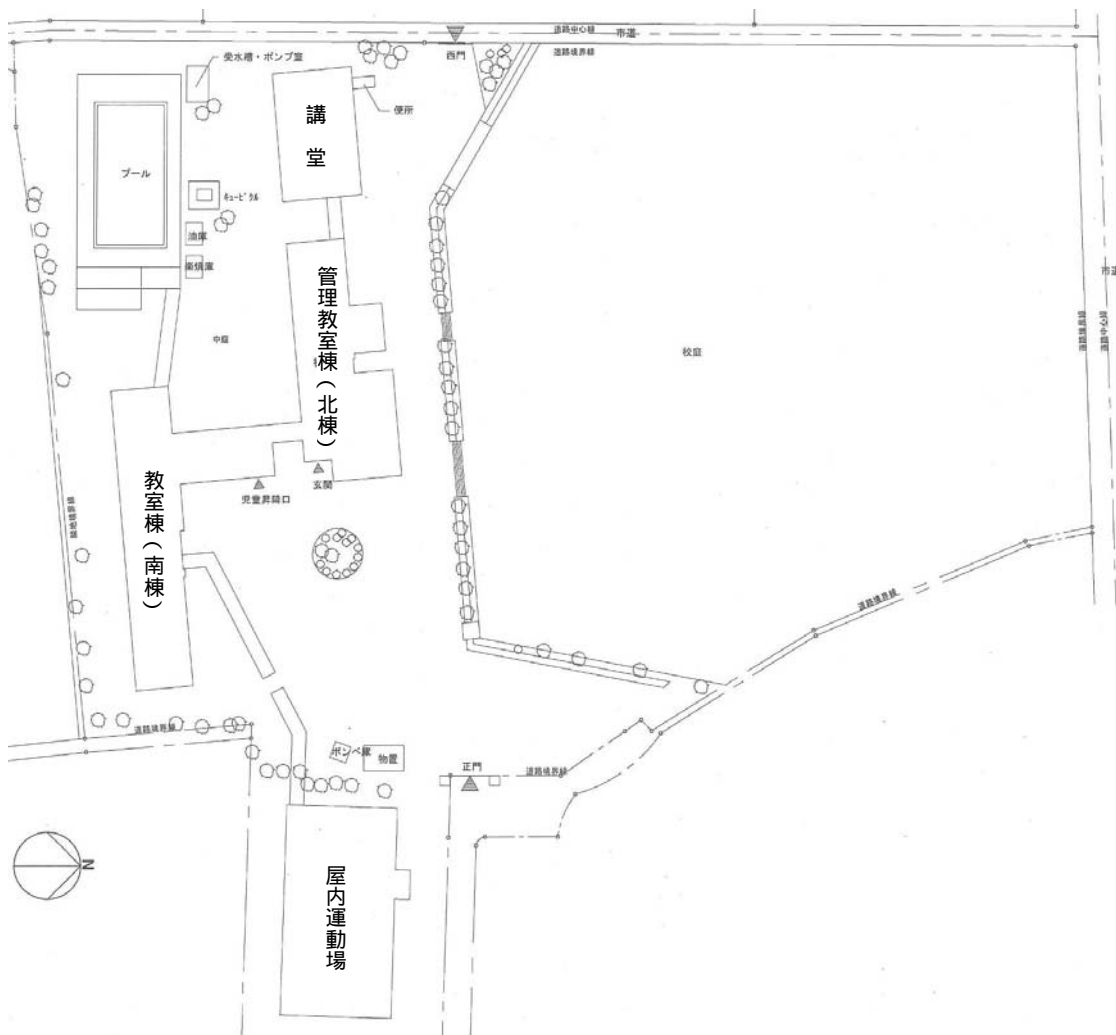
小一22 中小学校

学校施設の運営状況・活用状況等



所在地	南小林 109	
設置年度	明治 6 年	
児童数	83 人	
学級数	8 学級	
敷地面積	建物敷地	11,282 m <sup>2</sup>
	運動敷地	11,471 m <sup>2</sup>
	計	22,753 m <sup>2</sup>

配置図



### 構造躯体の健全性

建物の種類	建物名	構造	階数	延床面積	建築年度		築年数	耐震安全性		
					西暦	和暦		基準	診断	補強
校舎	管理教室棟（北棟）	RC	3	1,352	1978	S53	42	旧	済	済
	教室棟（南棟）	RC	3	1,575	1978	S53	42	旧	済	済
体育館	屋内運動場	S	2	820	1987	S62	33	新	-	-

構造：S = 鉄骨造、RC = 鉄筋コンクリート造、W = 木造

### 躯体以外の劣化状況

建物の種類	建物の名称	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
校舎	管理教室棟（北棟）	B	B	B	B	C	71
	教室棟（南棟）	B	B	B	B	B	75
体育館	屋内運動場	B	B	B	B	B	75

### 整備方針

建物の種類	建物の名称	築年数のグループ	整備方針	
校舎	管理教室棟（北棟）	B（40～45年未満）		-
	教室棟（南棟）	B（40～45年未満）		-
体育館	屋内運動場	C（30～35年未満）		-

美田中学区の学校適正配置の検討対象校のため、計画を進めた後、整備方針を追記

小-23 羽川小学校

学校施設の運営状況・活用状況等



所在地	羽川 125	
設置年度	明治 7 年	
児童数	603 人	
学級数	24 学級	
敷地面積	建物敷地	16,867 m <sup>2</sup>
	運動敷地	12,320 m <sup>2</sup>
	計	29,187 m <sup>2</sup>

配置図



既存建築物面積表

屋内運動場	847.94 m <sup>2</sup>
プール更衣室	56.26 m <sup>2</sup>
体育舎	39.83 m <sup>2</sup>
図書庫	39.83 m <sup>2</sup>
油庫	9.93 m <sup>2</sup>
薬庫	9.93 m <sup>2</sup>
屋外便所	13.67 m <sup>2</sup>
物置	8.30 m <sup>2</sup>
プロパン庫	15.57 m <sup>2</sup>
学童保育館	81.00 m <sup>2</sup>

### 構造躯体の健全性

建物の種類	建物名	構造	階数	延床面積	建築年度		築年数	耐震安全性		
					西暦	和暦		基準	診断	補強
校舎	校舎棟	RC	3	5,420	1982	S57	38	新	-	-
体育館	屋内運動場	S	2	848	1972	S47	48	旧	済	済

構造：S = 鉄骨造、RC = 鉄筋コンクリート造、W = 木造

### 躯体以外の劣化状況

建物の種類	建物の名称	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
校舎	校舎棟	A	B	B	B	B	77
体育館	屋内運動場	B	B	B	B	B	75

### 整備方針

建物の種類	建物の名称	築年数のグループ	整備方針
校舎	校舎棟	B (35 ~ 40 年未満)	長寿命化改修[R2-11]
体育館	屋内運動場	A (45 ~ 50 年未満)	大規模改造[R2-11]

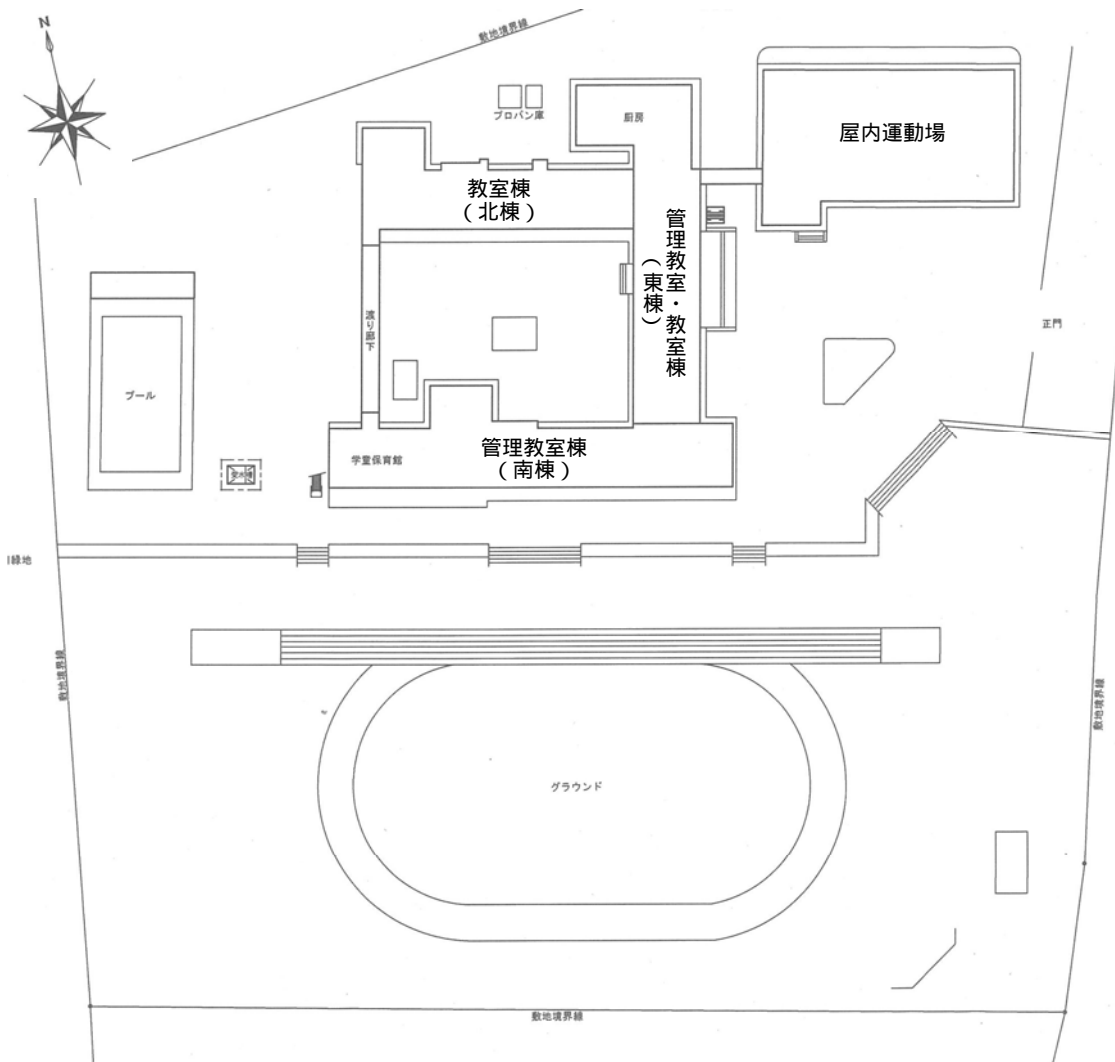
小一24 羽川西小学校

学校施設の運営状況・活用状況等



所在地	黒本 771-2	
設置年度	昭和 52 年	
児童数	165 人	
学級数	9 学級	
敷地面積	建物敷地	14,813 m <sup>2</sup>
	運動敷地	16,002 m <sup>2</sup>
	計	30,815 m <sup>2</sup>

配置図



### 構造躯体の健全性

建物の種類	建物名	構造	階数	延床面積	建築年度		築年数	耐震安全性		
					西暦	和暦		基準	診断	補強
校舎	管理教室棟（南棟）	RC	3	2,146	1977	S52	43	旧	済	済
	教室棟（北棟）	RC	3	1,634	1977	S52	43	旧	済	済
	管理教室・教室棟（東棟）	RC	3	1,069	1977	S52	43	旧	済	済
体育館	屋内運動場	S	2	1,019	1979	S54	41	旧	済	済

構造：S = 鉄骨造、RC = 鉄筋コンクリート造、W = 木造

### 躯体以外の劣化状況

建物の種類	建物の名称	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
校舎	管理教室棟（南棟）	A	B	A	B	B	86
	教室棟（北棟）	A	B	A	B	B	86
	管理教室・教室棟（東棟）	A	B	A	B	B	86
体育館	屋内運動場	B	B	B	B	B	75

### 整備方針

建物の種類	建物の名称	築年数のグループ	整備方針
校舎	管理教室棟（南棟）	B（40～45年未満）	長寿命化改修[R2-11]
	教室棟（北棟）	B（40～45年未満）	
	管理教室・教室棟（東棟）	B（40～45年未満）	
体育館	屋内運動場	B（40～45年未満）	

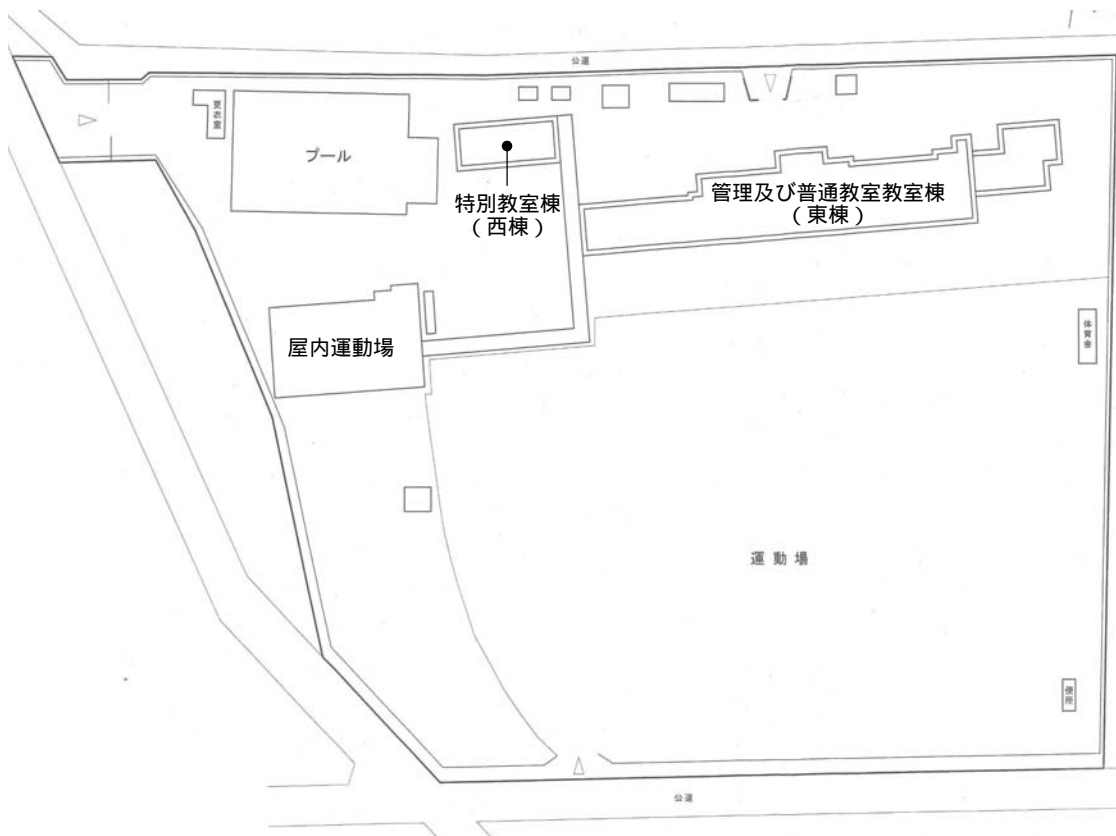
小-25 萱橋小学校

学校施設の運営状況・活用状況等



所在地	萱橋 1169-1	
設置年度	明治7年	
児童数	134人	
学級数	8学級	
敷地面積	建物敷地	10,360 m <sup>2</sup>
	運動敷地	12,750 m <sup>2</sup>
	計	23,110 m <sup>2</sup>

配置図





### 構造躯体の健全性

建物の種類	建物名	構造	階数	延床面積	建築年度		築年数	耐震安全性		
					西暦	和暦		基準	診断	補強
校舎	管理及び普通教室棟（東棟）	RC	3	3,075	1983	S58	37	新	-	-
	特別教室棟（西棟）	S	1	196	1978	S53	42	旧	未	未
体育館	屋内運動場	S	2	626	1975	S50	45	旧	済	済

構造：S = 鉄骨造、RC = 鉄筋コンクリート造、W = 木造

### 躯体以外の劣化状況

建物の種類	建物の名称	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
校舎	管理及び普通教室棟（東棟）	A	A	B	B	B	84
	特別教室棟（西棟）	B	B	B	B	B	75
体育館	屋内運動場	B	B	B	B	B	75

### 整備方針

建物の種類	建物の名称	築年数のグループ
校舎	管理及び普通教室棟（東棟）	B（35～40年未満）
	特別教室棟（西棟）	-
体育館	屋内運動場	A（45～50年未満）

整備方針
長寿命化改修[R2-11]
-
大規模改造[R2-11]

特別教室棟（西棟）については、面積が500㎡以下のため部位修繕対象

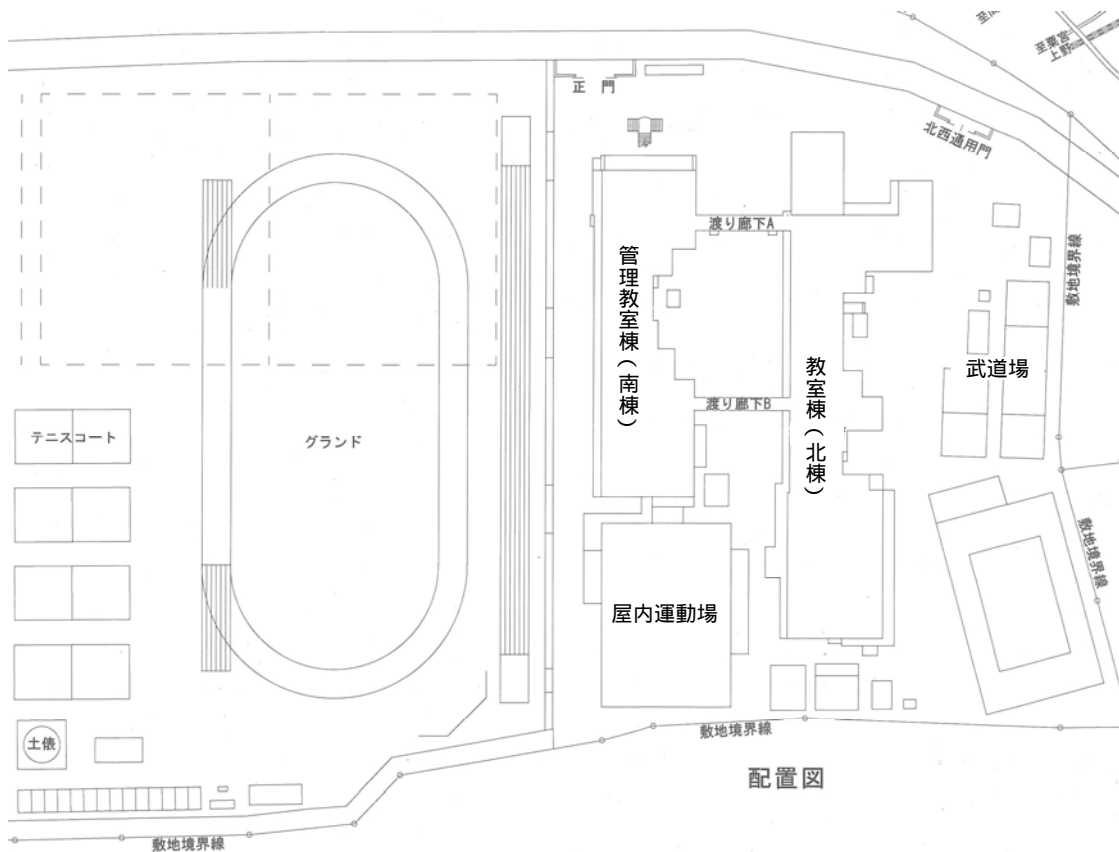
中一 1 小山中学校

学校施設の運営状況・活用状況等



所在地	渋井 779-1	
設置年度	昭和 22 年	
生徒数	471 人	
学級数	18 学級	
敷地面積	建物敷地	18,268 m <sup>2</sup>
	運動敷地	18,017 m <sup>2</sup>
	計	36,285 m <sup>2</sup>

配置図



配置図

### 構造躯体の健全性

建物の種類	建物名	構造	階数	延床面積	建築年度		築年数	耐震安全性		
					西暦	和暦		基準	診断	補強
校舎	教室棟（北棟）	RC	3	3,841	1981	S56	39	旧	済	不要
	管理教室棟（南棟）	RC	3	2,673	1981	S56	39	旧	済	不要
体育館	屋内運動場	S	2	1,215	1981	S56	39	旧	済	済
武道場	武道場	S	1	420	1998	H10	22	新	-	-

構造：S = 鉄骨造、RC = 鉄筋コンクリート造、W = 木造

### 躯体以外の劣化状況

建物の種類	建物の名称	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
校舎	教室棟（北棟）	B	B	B	B	B	75
	管理教室棟（南棟）	B	B	B	B	B	75
体育館	屋内運動場	C	B	B	B	B	72
武道場	武道場	A	A	A	B	B	94

### 整備方針

建物の種類	建物の名称	築年数のグループ
校舎	教室棟（北棟）	B（35～40年未満）
	管理教室棟（南棟）	B（35～40年未満）
体育館	屋内運動場	B（35～40年未満）
武道場	武道場	-

武道場については、面積が500m<sup>2</sup>以下のため部位修繕対象

整備方針
長寿命化改修[R2-11]
長寿命化改修[R2-11]
長寿命化改修[R2-11]
-

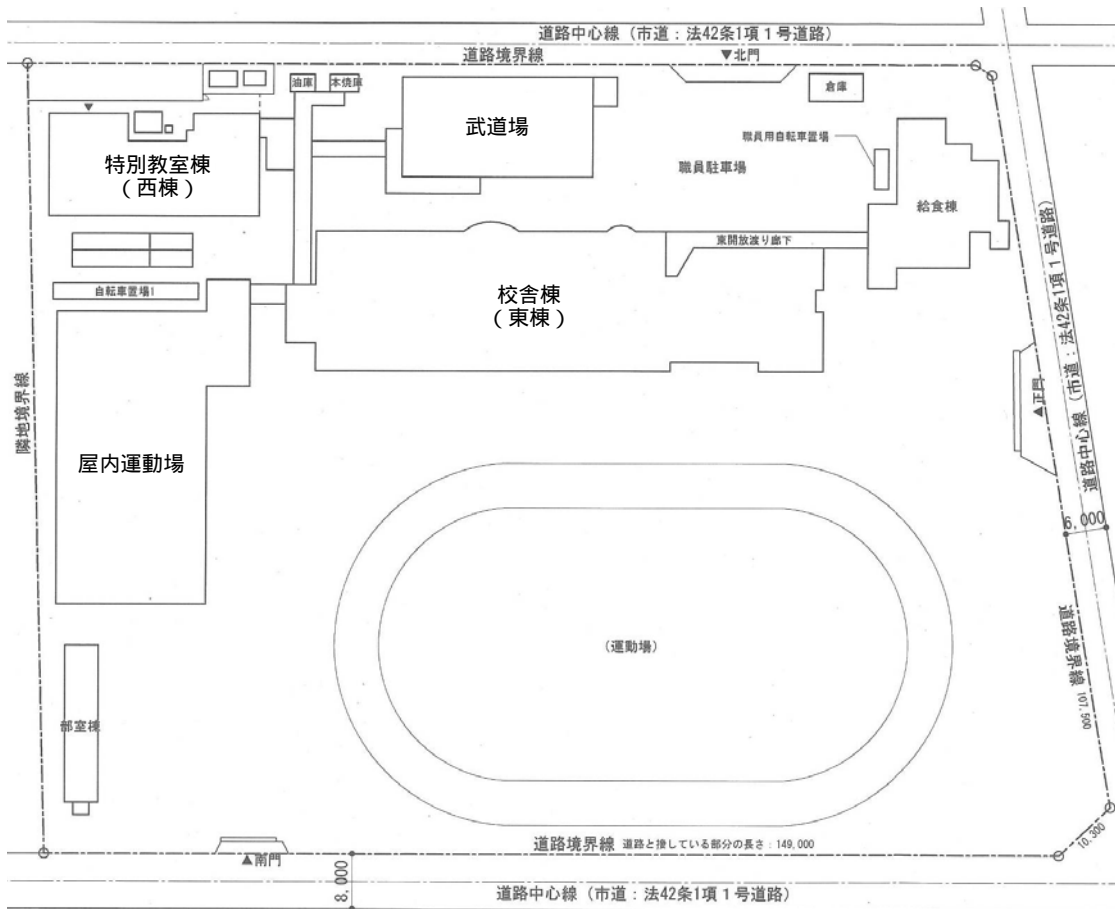
中一 2 小山第二中学校

学校施設の運営状況・活用状況等



所在地	天神町 1-6-36	
設置年度	昭和 30 年	
生徒数	332 人	
学級数	14 学級	
敷地面積	建物敷地	18,268 m <sup>2</sup>
	運動敷地	18,017 m <sup>2</sup>
	計	36,285 m <sup>2</sup>

配置図



### 構造躯体の健全性

建物の種類	建物名	構造	階数	延床面積	建築年度		築年数	耐震安全性		
					西暦	和暦		基準	診断	補強
校舎	校舎棟（東棟）	RC	4	4,197	1988	S63	32	新	-	-
	特別教室棟（西棟）	RC	4	1,643	1975	S50	45	旧	済	不要
体育館	屋内運動場	S	2	1,080	1968	S43	52	旧	済	済
武道場	武道場	S	2	461	1998	H10	22	新	-	-

構造：S = 鉄骨造、RC = 鉄筋コンクリート造、W = 木造

### 躯体以外の劣化状況

建物の種類	建物の名称	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
校舎	校舎棟（東棟）	B	A	B	B	B	82
	特別教室棟（西棟）	B	C	B	B	B	65
体育館	屋内運動場	C	A	B	B	B	79
武道場	武道場	A	A	A	B	B	94

### 整備方針

建物の種類	建物の名称	築年数のグループ
校舎	校舎棟（東棟）	C（30～35年未満）
	特別教室棟（西棟）	C（30～35年未満）
体育館	屋内運動場	A（50年以上）
武道場	武道場	-

武道場については、面積が500m<sup>2</sup>以下のため部位修繕対象

整備方針
長寿命化改修[R12-21]
長寿命化改修[R12-21]
大規模改造[R2-11]
-

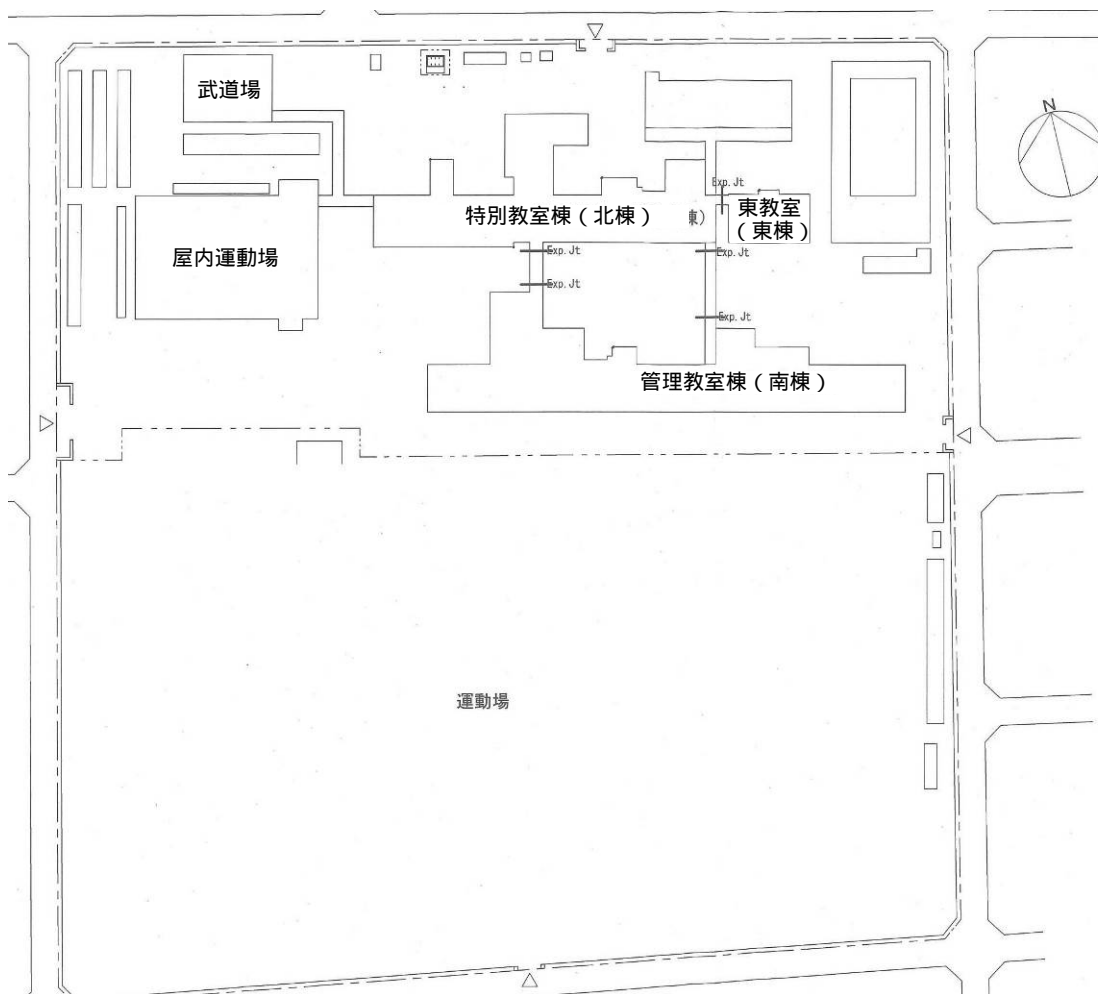
## 中一 3 小山第三中学校

## 学校施設の運営状況・活用状況等



所在地	犬塚 3-29-1	
設置年度	昭和 55 年	
生徒数	783 人	
学級数	28 学級	
敷地面積	建物敷地	18,000 m <sup>2</sup>
	運動敷地	22,271 m <sup>2</sup>
	計	40,271 m <sup>2</sup>

## 配置図



### 構造躯体の健全性

建物の種類	建物名	構造	階数	延床面積	建築年度		築年数	耐震安全性		
					西暦	和暦		基準	診断	補強
校舎	管理教室棟（南棟）	RC	3	3,920	1980	S55	40	旧	済	済
	特別教室棟（北棟）	RC	3	2,323	1980	S55	40	旧	済	済
	東教室（東棟）	RC	2	404	1992	H4	28	新	-	-
	技術教室棟	RC	1	353	1980	S55	40	旧	未	未
体育館	屋内運動場	S	2	1,222	1980	S55	40	旧	済	済
武道場	武道場	S	1	300	1984	S59	36	新	-	-
武道場	柔道場	S	1	240	2014	H26	6	新	-	-

構造：S = 鉄骨造、RC = 鉄筋コンクリート造、W = 木造

### 躯体以外の劣化状況

建物の種類	建物の名称	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
校舎	管理教室棟（南棟）	B	B	B	B	B	75
	特別教室棟（北棟）	C	B	B	B	B	72
	東教室（東棟）	A	A	B	B	B	84
	技術教室棟	B	B	B	B	B	75
体育館	屋内運動場	B	B	B	B	B	75
武道場	武道場	B	B	B	B	B	75
	柔道場	B	B	B	B	B	75

### 整備方針

建物の種類	建物の名称	築年数のグループ	整備方針
校舎	管理教室棟（南棟）	B（40～45年未満）	長寿命化改修[R2-11]
	特別教室棟（北棟）	B（40～45年未満）	長寿命化改修[R2-11]
	東教室（東棟）	-	-
	技術教室棟	-	-
体育館	屋内運動場	B（40～45年未満）	長寿命化改修[R2-11]
武道場	武道場	-	-
武道場	柔道場	-	-

東教室（東棟） 技術教室棟、武道場、柔道場については、面積が500㎡以下のため部位修繕対象

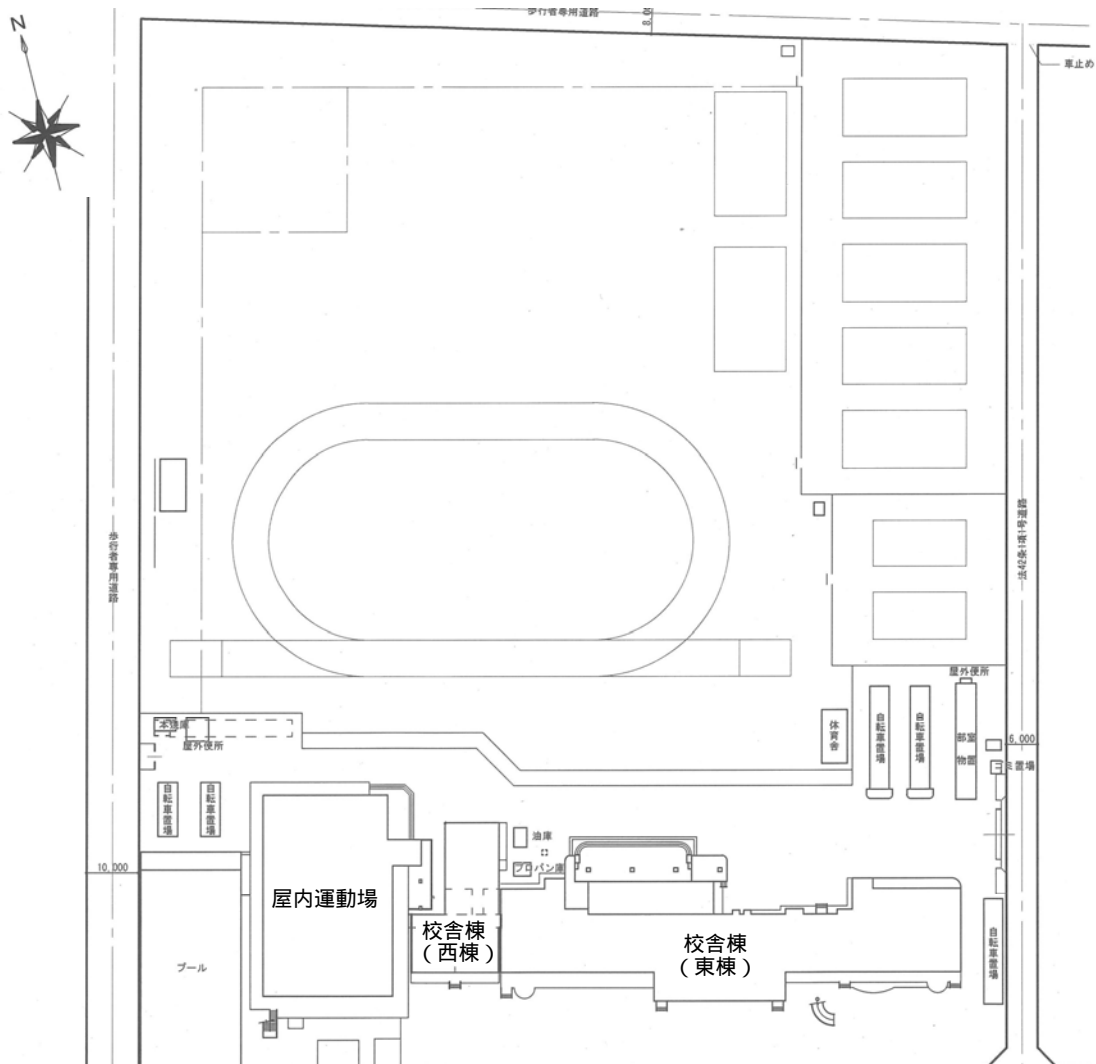
中一4 小山城南中学校

学校施設の運営状況・活用状況等



所在地	東城南 1-22-9	
設置年度	昭和 62 年	
生徒数	740 人	
学級数	26 学級	
敷地面積	建物敷地	10867 m <sup>2</sup>
	運動敷地	22647 m <sup>2</sup>
	計	33514 m <sup>2</sup>

配置図





### 構造躯体の健全性

建物の種類	建物名	構造	階数	延床面積	建築年度		築年数	耐震安全性		
					西暦	和暦		基準	診断	補強
校舎	校舎棟（東棟）	RC	4	5,444	1987	S62	33	新	-	-
	校舎棟（西棟）	RC	3	861	2005	H17	15	新	-	-
体育館	屋内運動場	RC	3	2,059	1987	S62	33	新	-	-

構造：S = 鉄骨造、RC = 鉄筋コンクリート造、W = 木造

### 躯体以外の劣化状況

建物の種類	建物の名称	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
校舎	校舎棟（東棟）	A	A	A	B	B	94
	校舎棟（西棟）	A	A	A	B	B	94
体育館	屋内運動場	B	B	B	B	B	75

### 整備方針

建物の種類	建物の名称	築年数のグループ	整備方針
校舎	校舎棟（東棟）	C（30～35年未満）	長寿命化改修[R12-21]
	校舎棟（西棟）	D（15～20年未満）	長寿命化改修[R22-31]
体育館	屋内運動場	C（30～35年未満）	長寿命化改修[R12-21]

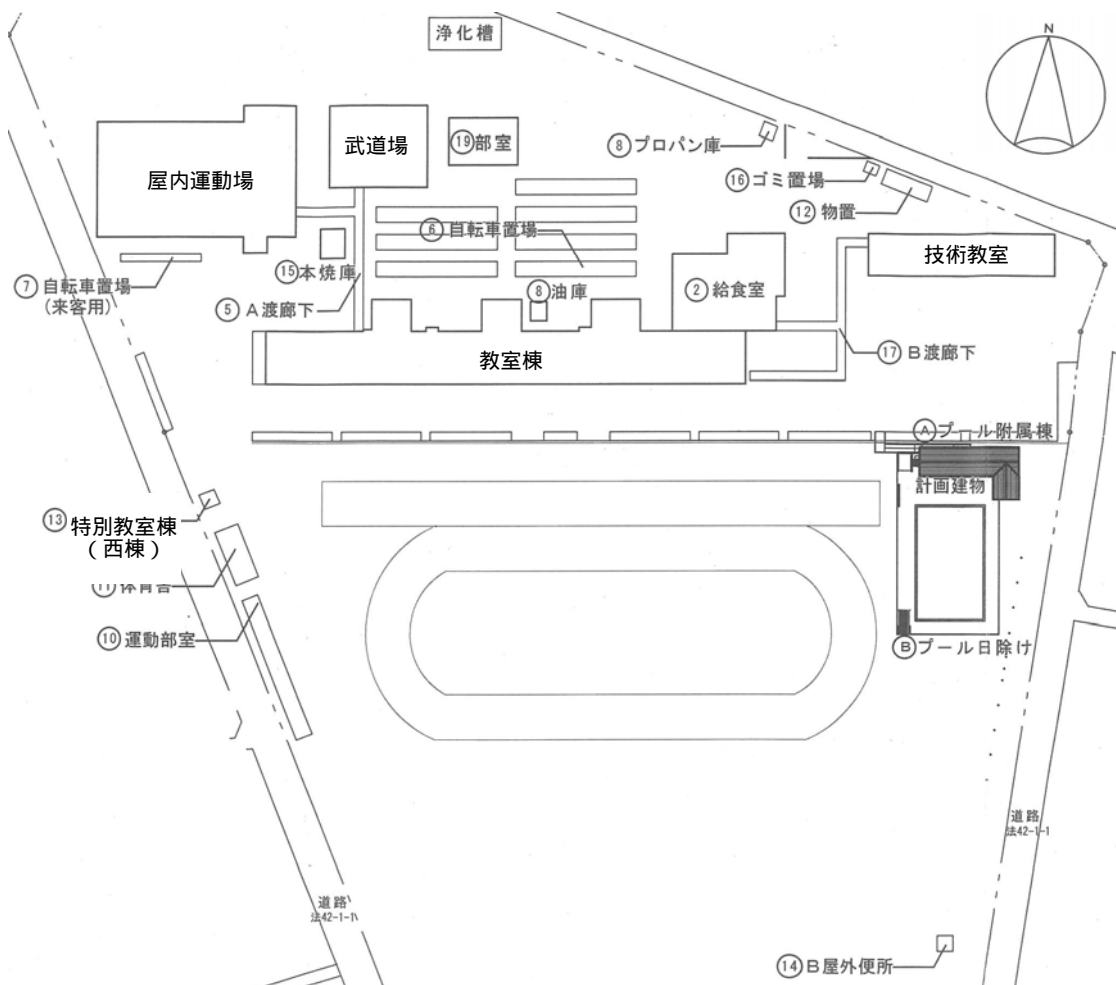
中一5 大谷中学校

学校施設の運営状況・活用状況等



所在地	横倉新田 97	
設置年度	昭和 22 年	
生徒数	546 人	
学級数	21 学級	
敷地面積	建物敷地	16,567 m <sup>2</sup>
	運動敷地	30,152 m <sup>2</sup>
	計	46,719 m <sup>2</sup>

配置図



### 構造躯体の健全性

建物の種類	建物名	構造	階数	延床面積	建築年度		築年数	耐震安全性		
					西暦	和暦		基準	診断	補強
校舎	教室棟	RC	3	5,320	1985	S60	35	新	-	-
	技術教室	S	1	394	1977	S52	43	旧	未	未
体育館	屋内運動場	S	2	1,039	1980	S55	40	旧	済	済
武道場	武道場	S	1	330	1985	S60	35	新	-	-

構造：S = 鉄骨造、RC = 鉄筋コンクリート造、W = 木造

### 躯体以外の劣化状況

建物の種類	建物の名称	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
校舎	教室棟	A	A	B	B	B	84
	技術教室	C	A	A	B	B	89
体育館	屋内運動場	B	A	A	B	B	92
武道場	武道場	B	A	A	B	B	92

### 整備方針

建物の種類	建物の名称	築年数のグループ
校舎	教室棟	B (35 ~ 40 年未満)
	技術教室	-
体育館	屋内運動場	B (40 ~ 45 年未満)
武道場	武道場	-

技術教室、武道場については、面積が500㎡以下のため部位修繕対象

整備方針
長寿命化改修[R2-11]
-
長寿命化改修[R2-11]
-

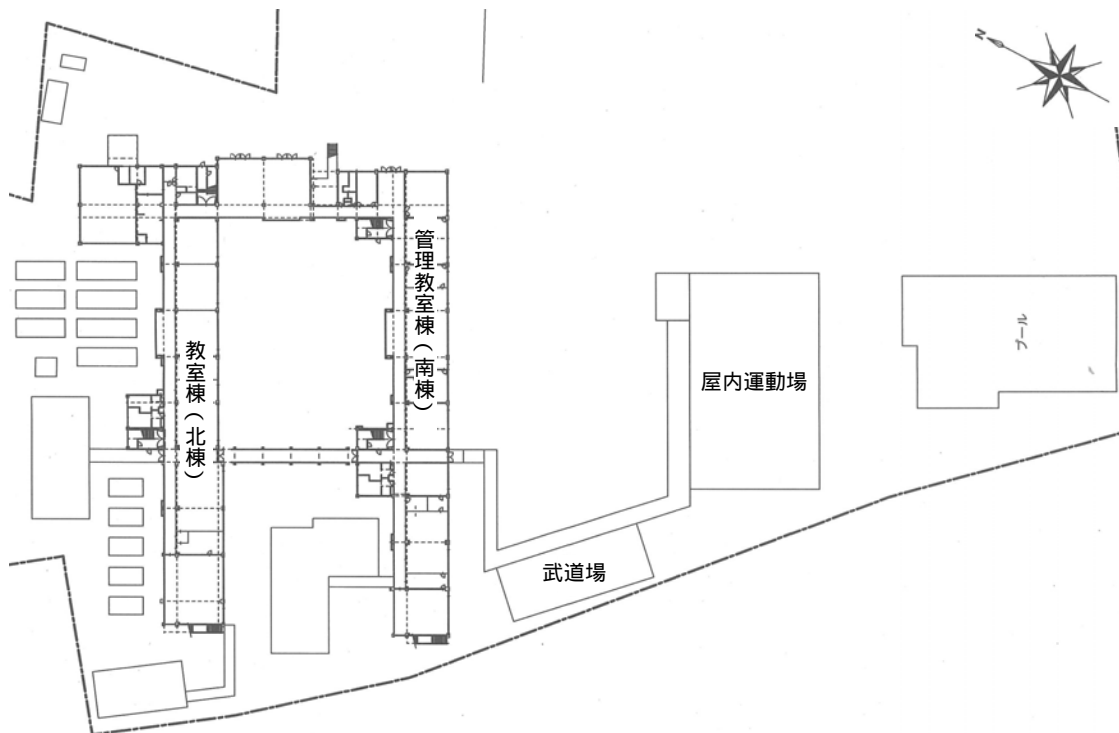
## 中一6 間々田中学校

## 学校施設の運営状況・活用状況等



所在地	間々田 2364	
設置年度	昭和 22 年	
生徒数	490 人	
学級数	18 学級	
敷地面積	建物敷地	17,302 m <sup>2</sup>
	運動敷地	22,921 m <sup>2</sup>
	計	40,223 m <sup>2</sup>

配置図



### 構造躯体の健全性

建物の種類	建物名	構造	階数	延床面積	建築年度		築年数	耐震安全性		
					西暦	和暦		基準	診断	補強
校舎	教室棟（北棟）	RC	3	3,600	1980	S55	40	旧	済	済
	管理教室棟（南棟）	RC	3	3,720	1980	S55	40	旧	済	済
体育館	屋内運動場	SRC	2	1,053	1969	S44	51	旧	済	済
武道場	武道場	RC	1	439	1999	H11	21	新	-	-

構造：S = 鉄骨造、RC = 鉄筋コンクリート造、W = 木造

### 躯体以外の劣化状況

建物の種類	建物の名称	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
校舎	教室棟（北棟）	A	B	B	B	B	77
	管理教室棟（南棟）	A	B	B	B	B	77
体育館	屋内運動場	A	B	B	B	B	77
武道場	武道場	A	A	A	B	B	94

### 整備方針

建物の種類	建物の名称	築年数のグループ
校舎	教室棟（北棟）	B（40～45年未満）
	管理教室棟（南棟）	B（40～45年未満）
体育館	屋内運動場	A（50年以上）
武道場	武道場	-

武道場については、面積が500㎡以下のため部位修繕対象

整備方針
長寿命化改修[R2-11]
長寿命化改修[R2-11]
大規模改造[R2-11]
-

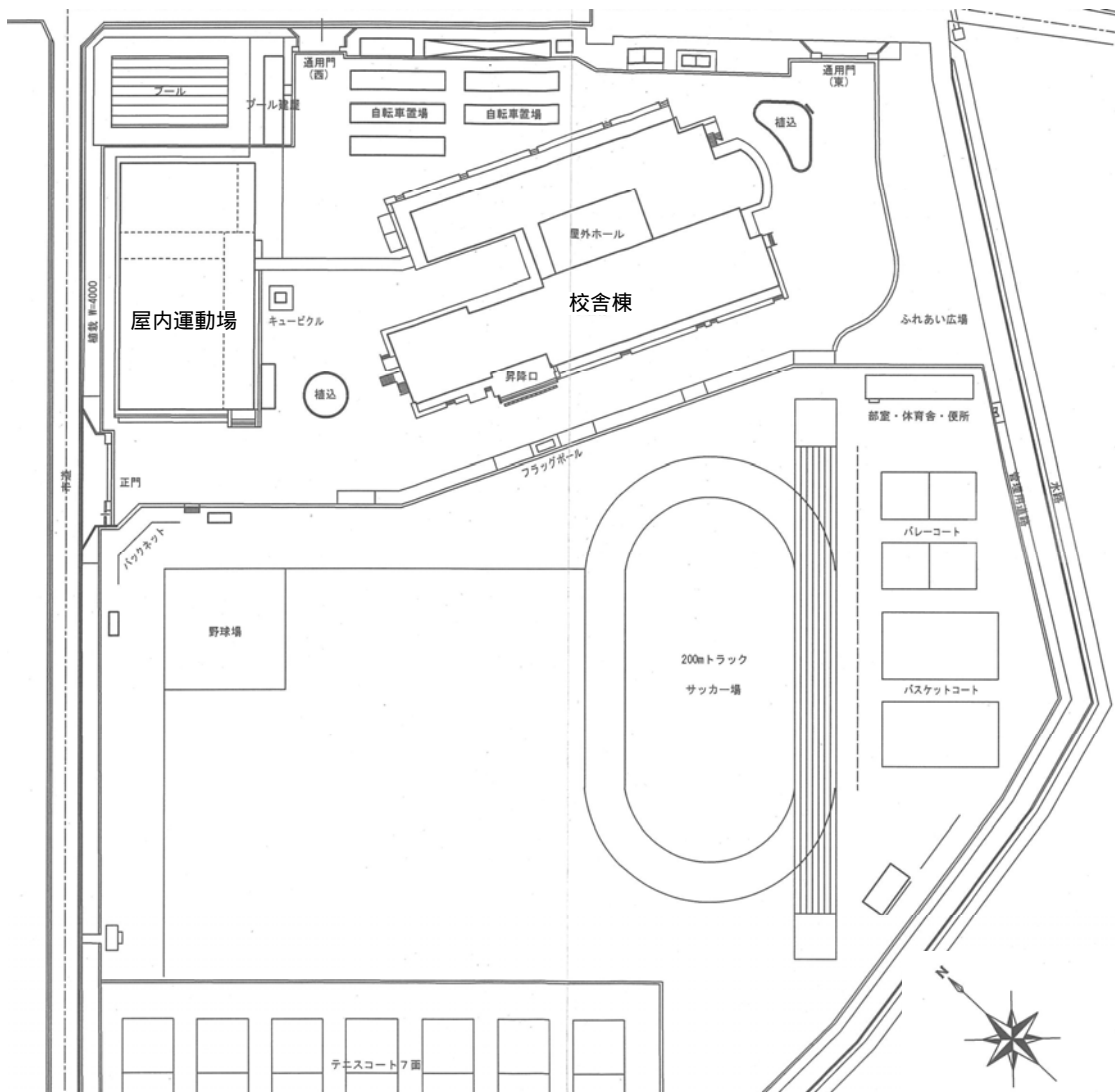
中一七 乙女中学校

学校施設の運営状況・活用状況等



所在地	乙女1731	
設置年度	昭和63年	
生徒数	253人	
学級数	11学級	
敷地面積	建物敷地	16,728 m <sup>2</sup>
	運動敷地	28,444 m <sup>2</sup>
	計	45,172 m <sup>2</sup>

配置図



### 構造躯体の健全性

建物の種類	建物名	構造	階数	延床面積	建築年度		築年数	耐震安全性		
					西暦	和暦		基準	診断	補強
校舎	校舎棟	RC	3	5,751	1988	S63	32	新	-	-
体育館	屋内運動場	S	2	1,859	1988	S63	32	新	-	-

構造：S = 鉄骨造、RC = 鉄筋コンクリート造、W = 木造

### 躯体以外の劣化状況

建物の種類	建物の名称	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
校舎	校舎棟	B	A	A	B	C	87
体育館	屋内運動場	B	B	B	B	C	71

### 整備方針

建物の種類	建物の名称	築年数のグループ	整備方針
校舎	校舎棟	C (30～35年未満)	長寿命化改修[R12-21]
体育館	屋内運動場	C (30～35年未満)	長寿命化改修[R12-21]

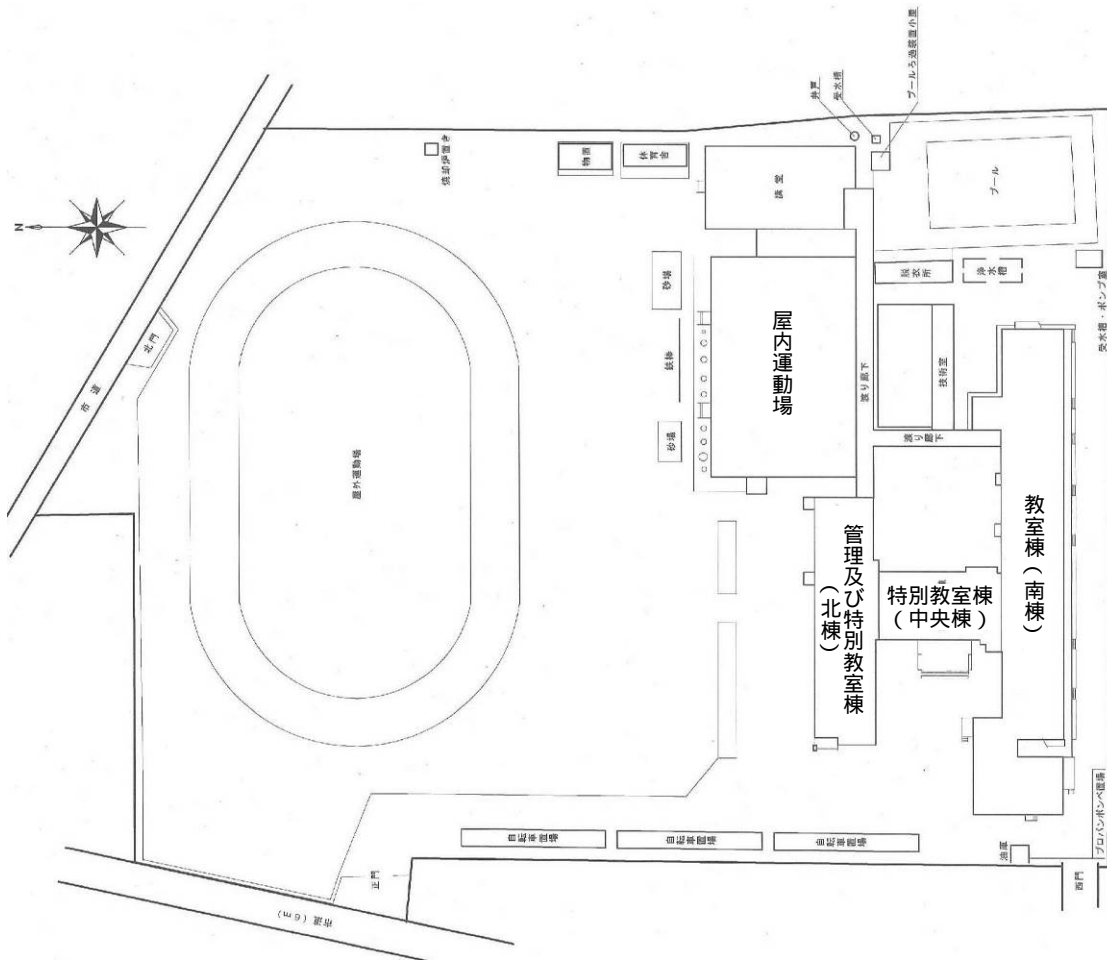
中一 8 豊田中学校

学校施設の運営状況・活用状況等



所在地	松沼 397	
設置年度	昭和 22 年	
生徒数	135 人	
学級数	8 学級	
敷地面積	建物敷地	9,419 m <sup>2</sup>
	運動敷地	11,782 m <sup>2</sup>
	計	21,201 m <sup>2</sup>

配置図





### 構造躯体の健全性

建物の種類	建物名	構造	階数	延床面積	建築年度		築年数	耐震安全性		
					西暦	和暦		基準	診断	補強
校舎	教室棟（南棟）	RC	3	2,088	1979	S54	41	旧	済	済
	管理及び特別教室棟（北棟）	RC	3	905	1980	S55	40	旧	済	不要
	特別教室棟（中央棟）	RC	3	698	1979	S54	41	旧	済	済
	技術室	W	1	182	1964	S39	56	旧	未	未
体育館	屋内運動場	S	2	974	1979	S54	41	旧	済	済
講堂	講堂	W	1	384	1957	S32	63	旧	未	未

構造：S = 鉄骨造、RC = 鉄筋コンクリート造、W = 木造

### 躯体以外の劣化状況

建物の種類	建物の名称	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
校舎	教室棟（南棟）	A	C	B	B	B	67
	管理及び特別教室棟（北棟）	A	C	B	B	B	67
	特別教室棟（中央棟）	A	C	B	B	B	67
	技術室	A	C	A	B	B	76
体育館	屋内運動場	B	B	B	B	B	75
その他	講堂	A	A	A	B	B	94

### 整備方針

建物の種類	建物の名称	築年数のグループ
校舎	教室棟（南棟）	B（40～45年未満）
	管理及び特別教室棟（北棟）	B（40～45年未満）
	特別教室棟（中央棟）	B（40～45年未満）
	技術室	-
体育館	屋内運動場	B（40～45年未満）
その他	講堂	-

技術室、講堂については、面積が500㎡以下のため部位修繕対象

整備方針
長寿命化改修[R2-11]
長寿命化改修[R2-11]
長寿命化改修[R2-11]
-
長寿命化改修[R2-11]
-

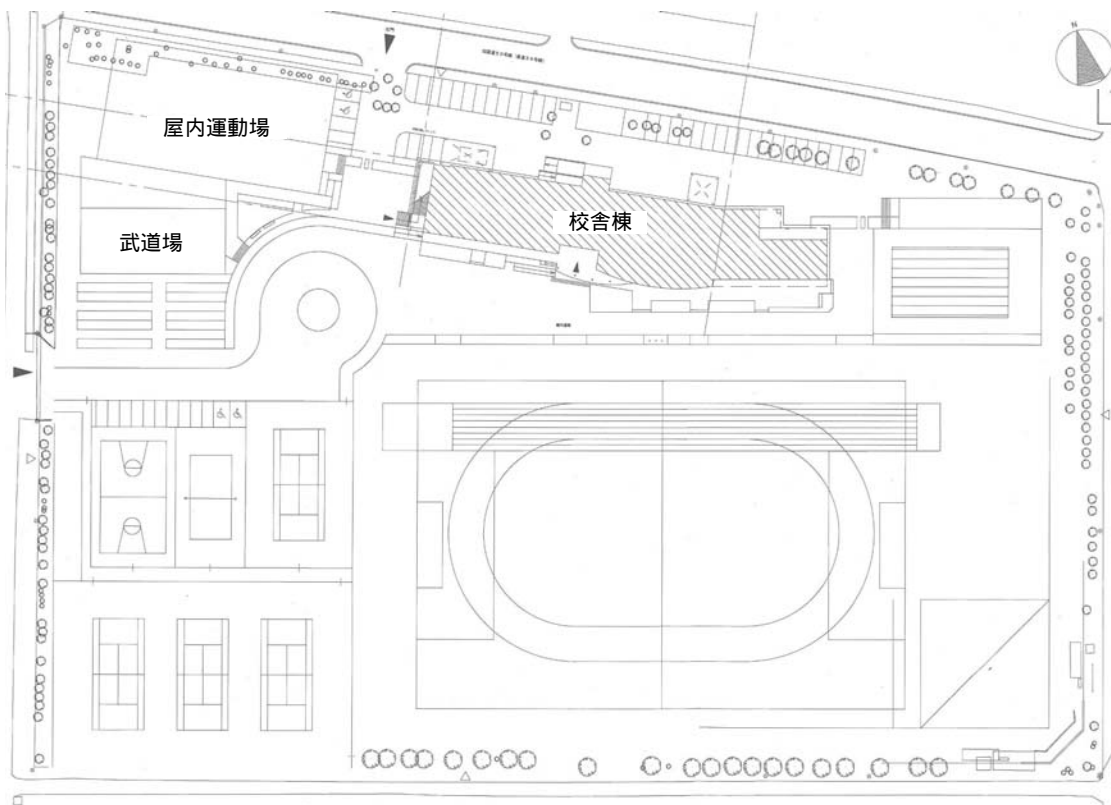
## 中-9 美田中学校

## 学校施設の運営状況・活用状況等



所在地	下国府塚 287	
設置年度	昭和 39 年	
生徒数	121 人	
学級数	8 学級	
敷地面積	建物敷地	13,433 m <sup>2</sup>
	運動敷地	19,382 m <sup>2</sup>
	計	32,815 m <sup>2</sup>

## 配置図



### 構造躯体の健全性

建物の種類	建物名	構造	階数	延床面積	建築年度		築年数	耐震安全性		
					西暦	和暦		基準	診断	補強
校舎	校舎棟	RC	4	4,574	2005	H17	15	新	-	-
体育館	屋内運動場	RC	2	1,406	2007	H19	13	新	-	-
武道場	武道場	S	1	359	2007	H19	13	新	-	-

構造：S = 鉄骨造、RC = 鉄筋コンクリート造、W = 木造

### 躯体以外の劣化状況

建物の種類	建物の名称	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
校舎	校舎棟	A	A	A	A	A	100
体育館	屋内運動場	A	A	A	A	A	100
武道場	武道場	A	A	A	A	A	100

### 整備方針

建物の種類	建物の名称	築年数のグループ
校舎	校舎棟	D (15 ~ 20 年未満)
体育館	屋内運動場	E (10 ~ 15 年未満)
武道場	武道場	-

整備方針
長寿命化改修[R22-31]
長寿命化改修[R32-41]
-

武道場については、面積が500㎡以下のため部位修繕対象

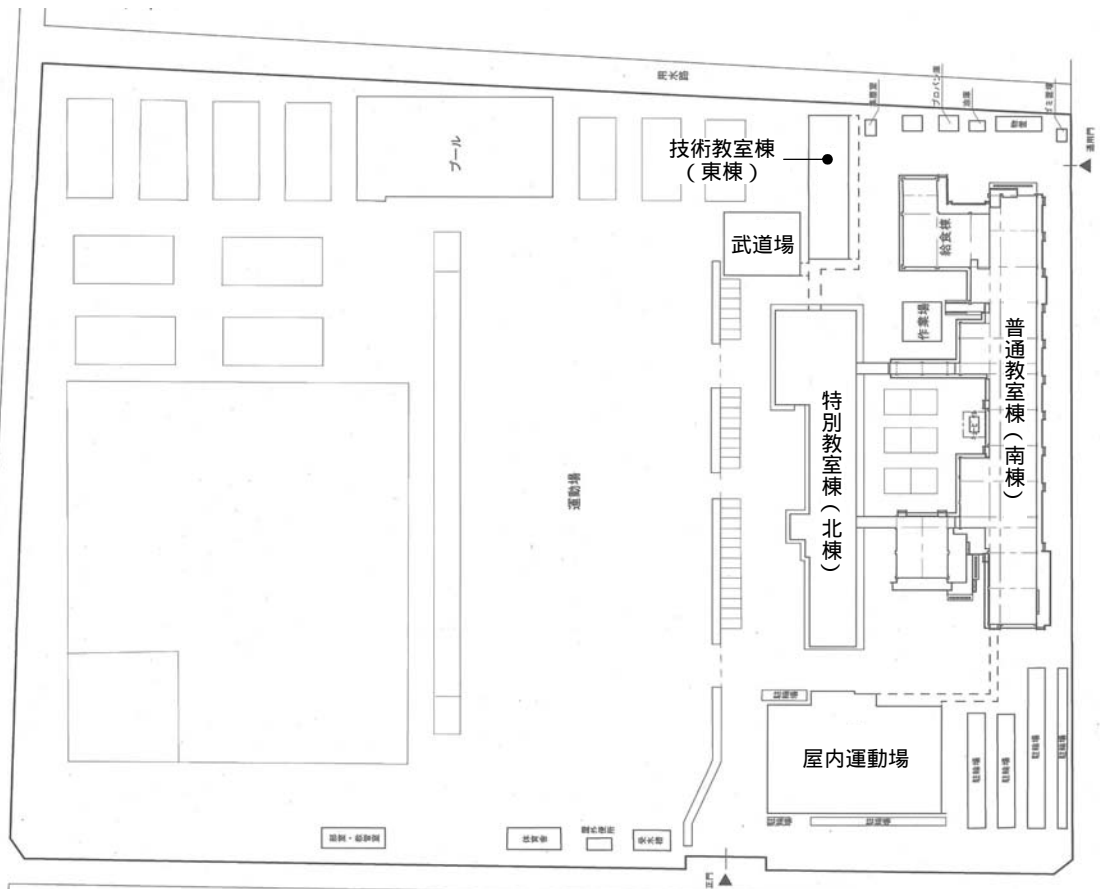
中-10 桑中学校

学校施設の運営状況・活用状況等



所在地	出井 1859	
設置年度	昭和 22 年	
生徒数	474 人	
学級数	19 学級	
敷地面積	建物敷地	15,665 m <sup>2</sup>
	運動敷地	29,204 m <sup>2</sup>
	計	44,869 m <sup>2</sup>

配置図



### 構造躯体の健全性

建物の種類	建物名	構造	階数	延床面積	建築年度		築年数	耐震安全性		
					西暦	和暦		基準	診断	補強
校舎	特別教室棟（北棟）	RC	3	2,994	1983	S58	37	新	-	-
	普通教室棟（南棟）	RC	3	3,989	1983	S58	37	新	-	-
	技術教室棟（東棟）	S	1	343	1983	S58	37	新	-	-
体育館	屋内運動場	S	2	1,181	1983	S58	37	新	-	-
武道場	武道場	S	1	270	1983	S58	37	新	-	-

構造：S = 鉄骨造、RC = 鉄筋コンクリート造、W = 木造

### 躯体以外の劣化状況

建物の種類	建物の名称	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
校舎	特別教室棟（北棟）	A	B	B	B	B	77
	普通教室棟（南棟）	A	B	B	B	B	77
	技術教室棟（東棟）	B	B	B	B	B	75
体育館	屋内運動場	A	B	A	B	B	86
武道場	武道場	A	B	B	B	B	77

### 整備方針

建物の種類	建物の名称	築年数のグループ	整備方針
校舎	特別教室棟（北棟）	B（35～40年未満）	長寿命化改修[R2-11]
	普通教室棟（南棟）	B（35～40年未満）	長寿命化改修[R2-11]
	技術教室棟（東棟）	-	-
体育館	屋内運動場	B（35～40年未満）	長寿命化改修[R2-11]
武道場	武道場	-	-

技術教室棟（東棟） 武道場については、面積が500㎡以下のため部位修繕対象

義一 絹義務教育学校（東校舎）

学校施設の運営状況・活用状況等



所在地	福良 2240-1	
設置年度	平成 29 年	
児童数	168 人	
学級数	6 学級	
敷地面積	建物敷地	19,166 m <sup>2</sup>
	運動敷地	22,488 m <sup>2</sup>
	計	41,654 m <sup>2</sup>

配置図



### 構造躯体の健全性

建物の種類	建物名	構造	階数	延床面積	建築年度		築年数	耐震安全性		
					西暦	和暦		基準	診断	補強
校舎	校舎棟	RC	2	2,195	1987	S62	33	新	-	-
体育館	屋内運動場	S	2	742	1979	S54	41	旧	済	

構造：S = 鉄骨造、RC = 鉄筋コンクリート造、W = 木造

### 躯体以外の劣化状況

建物の種類	建物の名称	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
校舎	校舎棟	A	A	A	A	A	100
体育館	屋内運動場	B	A	A	A	A	98

### 整備方針

建物の種類	建物の名称	築年数のグループ	整備方針
校舎	校舎棟	C (30 ~ 35 年未満)	
体育館	屋内運動場	B (40 ~ 45 年未満)	

長寿命化改修[R12-21]
長寿命化改修[R2-11]

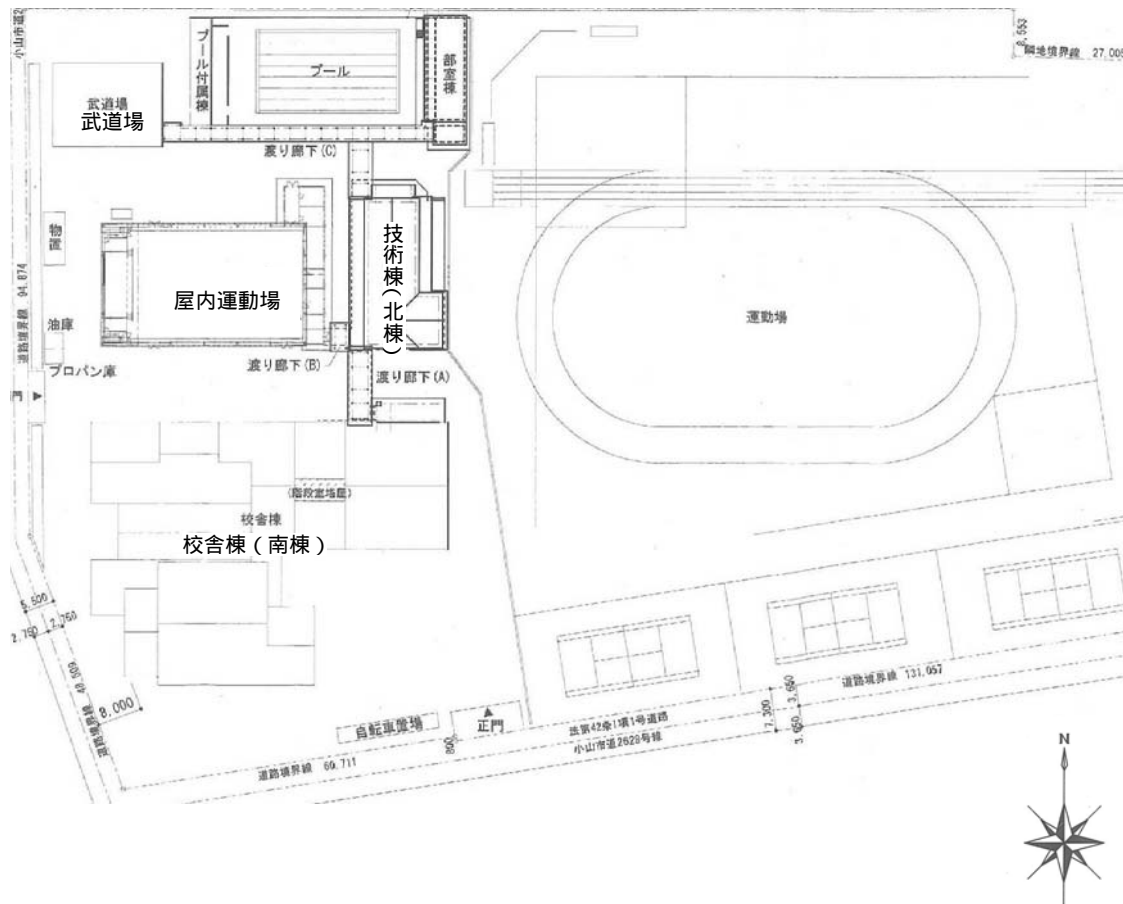
義一 2 絹義務教育学校（西校舎）

学校施設の運営状況・活用状況等



所在地	福良 2240-1	
設置年度	平成 29 年	
児童数	100 人	
学級数	5 学級	
敷地面積	建物敷地	19,166 m <sup>2</sup>
	運動敷地	22,488 m <sup>2</sup>
	計	41,654 m <sup>2</sup>

配置図





### 構造躯体の健全性

建物の種類	建物名	構造	階数	延床面積	建築年度		築年数	耐震安全性		
					西暦	和暦		基準	診断	補強
校舎	校舎棟（南棟）	RC	3	4,342	1993	H5	27	新	-	-
	技術棟（北棟）	RC	1	263	1993	H5	27	新	-	-
体育館	屋内運動場	S	2	931	1970	S45	50	旧	済	済
武道場	武道場	S	1	300	1984	S59	36	新	-	-

構造：S = 鉄骨造、RC = 鉄筋コンクリート造、W = 木造

### 躯体以外の劣化状況

建物の種類	建物の名称	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
校舎	校舎棟（南棟）	A	A	A	A	A	100
	技術棟（北棟）	A	A	A	A	A	100
体育館	屋内運動場	B	A	A	A	A	98
武道場	武道場	A	A	A	A	A	100

### 整備方針

建物の種類	建物の名称	築年数のグループ	整備方針
校舎	校舎棟（南棟）	C（25～30年未満）	長寿命化改修[R12-21]
	技術棟（北棟）	-	-
体育館	屋内運動場	A（50年以上）	大規模改造[R2-11]
武道場	武道場	-	-

技術棟（北棟） 武道場については、面積が500㎡以下のため部位修繕対象

## 7 長寿命化に向けた継続的運用方針

### 7-1 計画の推進・運用体制

#### 1) 計画の推進

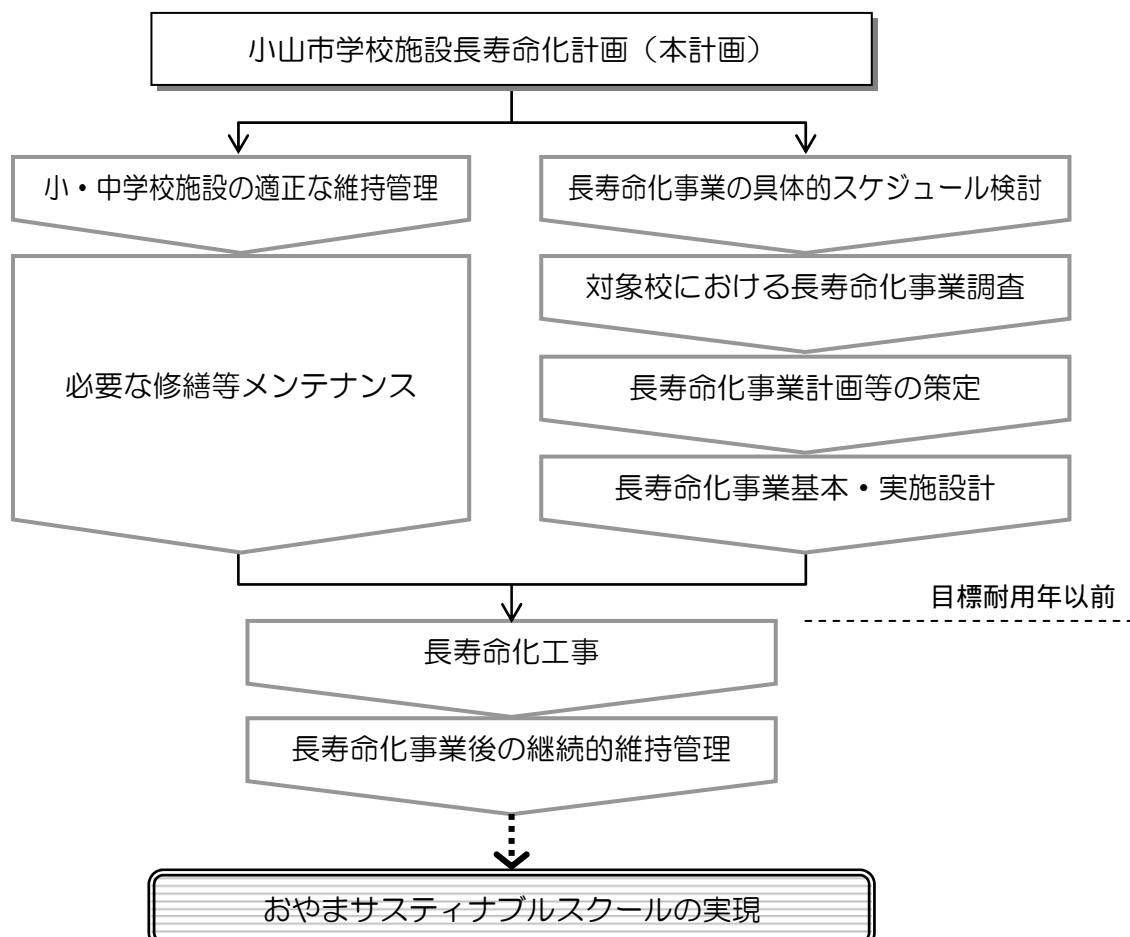
小山市においては、子どもたちにとって効果的かつ魅力的な教育環境づくりのため、学校適正配置等や小中一貫教育及び小中一貫校の推進に向けた検討などが進められてきました。

学校施設の長寿命化にあたっての基本的な方針等については、本計画で示したとおりですが、今後、各学校施設を対象に具体的な長寿命化事業を実施するためには、その対象となる学校施設の詳細な現状調査をはじめ、学校規模や地域との関わりなどを含め、総合的な調査・検討が必要となります。

そのため、予算や実施優先度等を鑑みながら、事業スケジュールについて検討することが必要であるばかりでなく、児童生徒や保護者、教職員及び関係機関等と連携・協力しながら、具体的な学校施設長寿命化事業調査の実施及び計画策定を行うことが求められます。

さらに、具体的な長寿命化の基本設計、実施設計を行い、改修工事を効率的・計画的に実施していく必要があります。工事にあたっては、現状調査では把握仕切れなかった躯体の欠陥が見つかる恐れがあること、既存建物を利用しながらの工程計画、工事中の児童生徒等の安全の確保、学習環境への配慮など、学校関係者等との十分な検討と多面的な配慮が求められます。

#### 長寿命化事業の推進イメージ



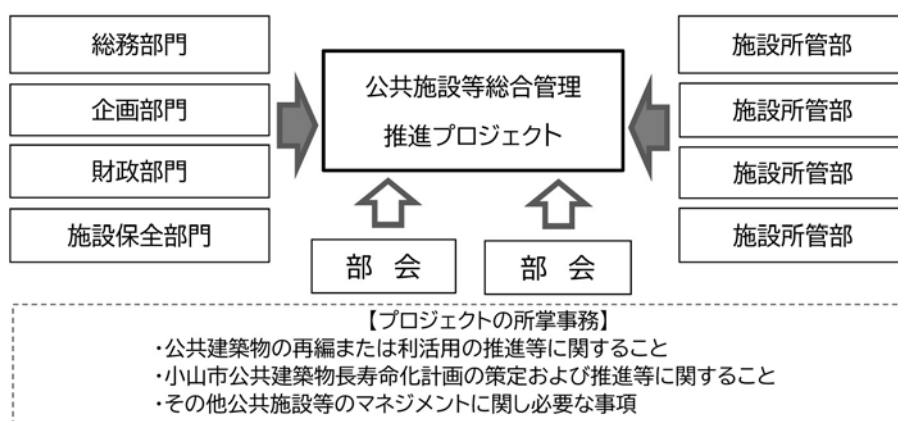
## 2) 運用体制

本計画は、学校施設を所管する教育委員会が中心となって推進していきますが、学校施設は、その量、規模ともに本市の公共施設の大きなウェイトを占める施設であることから、全庁横断的な推進体制である「公共施設等総合管理推進プロジェクト」との連携を図りつつ、関係各課との連携による協働体制のもと、計画推進に当たっていくことが必要不可欠です。

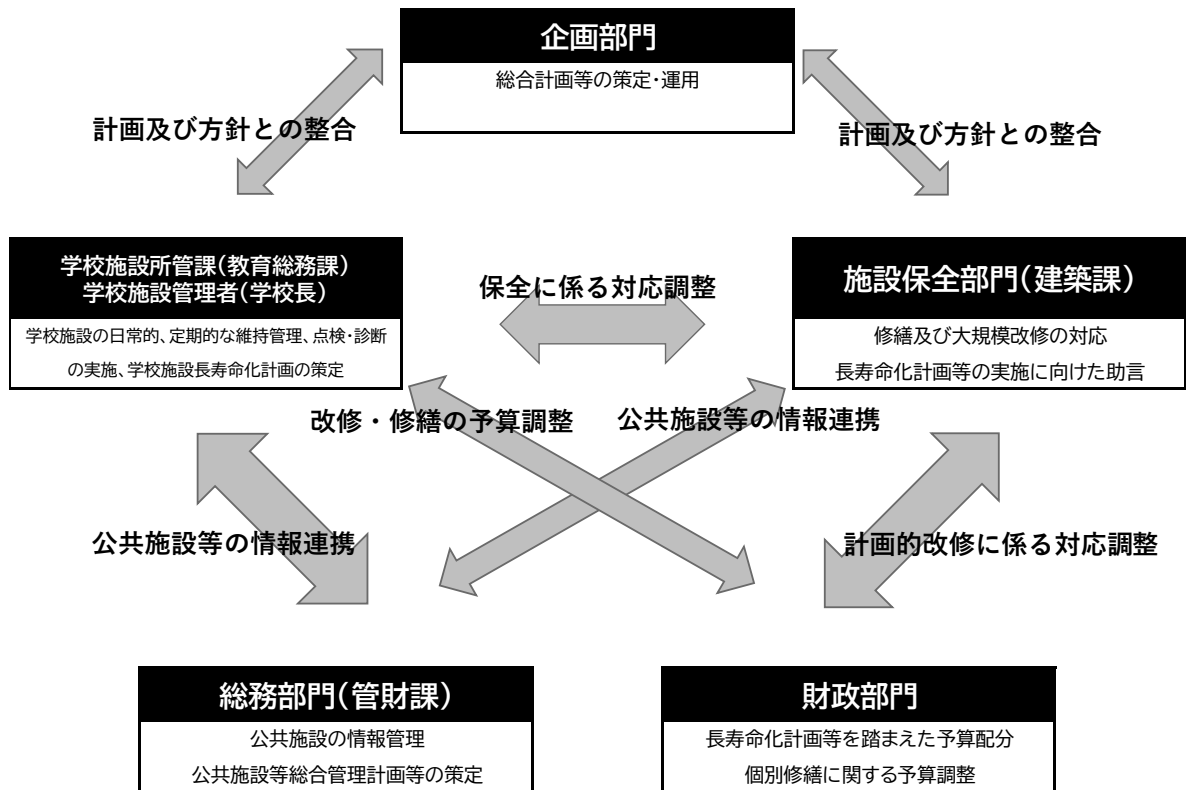
また、学校施設は「地域コミュニティの核となる」施設であることから、具体的な取組の実施にあたっては、地元住民や関係団体等との連携もまた重要となります。

一方、今後統廃合等により、特に閉校となる学校施設については、その跡地の利活用等についても検討していく必要があります。その場合には、民間事業者の参画を募るなど、効果的、経済的な手法の検討を行うものとしします。

参考：全庁横断的な推進体制（小山市公共施設等マネジメント推進計画）



学校施設を適正かつ効果的に維持保全していけるよう、各部門が相互に連携し、運用していきます。



## 7-2 適正な計画管理

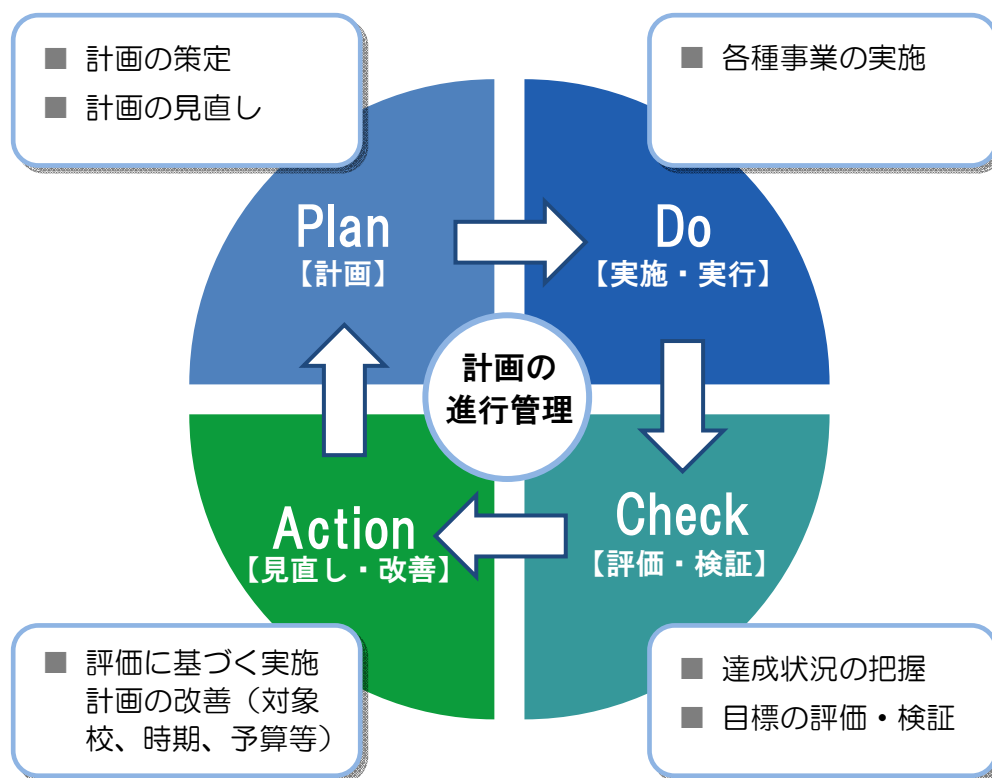
本計画はPDCAサイクルにより適正な計画管理をまいります。

今後は本計画に基づき学校施設の長寿命化を図っていくこととなりますが、既に老朽化が進んでいる学校施設が多く立地していることから、本実施計画通りに進捗しない場合も考えられます。

また、本計画の計画期間は40年間であり、必要に応じて、10年ごとに整備計画等の見直しを行うとしていますが、整備計画や計画全体の見直しの時期については、学校施設の老朽状況や統廃合、市の財政状況、国の動向など、学校を取り巻く環境の変化に合わせて、柔軟に対応する必要があります。

さらに、長寿命化改修をはじめ、一般的な維持補修にも、相当の事業費が必要となるため、財政的な裏付け等も加味しながら、適正な計画の管理を行うものとします。

PDCA サイクルによる適正な計画管理のイメージ



### 7-3 今後の課題

本計画の策定にあたっては、文部科学省の「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成29（2017）年）」を参考に劣化状況の調査を行い、躯体以外の劣化状況を把握し、評価を行うとともに、規模、築年数、学校適正配置、施設の一体性、財政状況等の様々な諸条件を総合的に鑑みながら、長寿命化の実施計画を策定したものです。

しかしながら、今後、年数の経過や災害の発生により、調査時点では把握できなかった新たな劣化等が発生する可能性や、本市を取り巻く社会経済情勢の変化により、財政状況に影響を与える可能性、児童生徒数の増減によって学校規模に影響を与える可能性があります。

そのため、計画の見直しにあたっては、劣化状況の変化や財政状況、学校規模等に合わせ、実施計画の見直しや学校適正配置による整備対象の再検討などを行う必要があります。

併せて、長寿命化改修や大規模改造の対象とならない部分的な劣化に対しては、通常の修繕・改修を行っていく必要があることから、別途、必要な予算を確保していく必要があります。





## 小山市学校施設長寿命化計画

令和2年3月

発行 小山市教育委員会教育総務課  
小山市中央町1丁目1番1号  
中央市民会館（文化センター）2階  
0285-22-9644